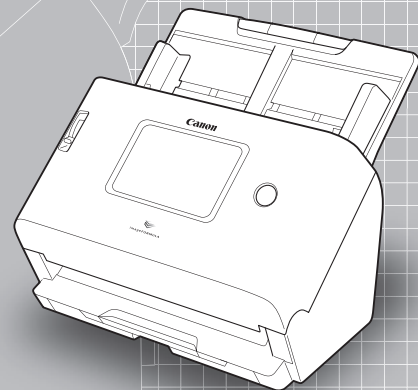


Canon

 **imageFORMULA**
DR-S350NW

ユーザーマニュアル

- ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



目次

はじめに.....	5	CaptureOnTouch でスキャンする.....	42
マニュアル内の表記について	6	CaptureOnTouch の起動と終了.....	42
お使いになる前に	7	スキャナーの選択	43
ソフトウェアの動作環境.....	7	画面の説明.....	44
安全にお使いいただくために	8	3ステップスキャン	45
設置する場所について.....	8	お気に入りスキャン	47
ACアダプターについて.....	8	スキャナーから CaptureOnTouch のジョブを選んでスキャン	
本機の移動について.....	9	する	53
日常の取り扱いについて.....	9	CaptureOnTouch でジョブを作成する.....	53
廃棄する場合について.....	10	スキャナーからジョブを選ぶ.....	54
本製品を修理のために送付するときは.....	10	スキャナーに登録されたジョブでスキャンする	
電波法に関する記載.....	10	(ユーザー向け).....	55
無線通信機能について.....	10	コンピューターから選んだジョブでスキャンする	
使用周波数帯が 5GHz 帯で使用する場合がございます.....	11	(ユーザー向け).....	55
セキュリティに関するご注意	11	タッチパネルから選んだジョブでスキャンする (ユーザー向け).....	57
本製品の使用限定.....	11	Mopria 対応デバイスでスキャンする	59
管理者パスワードに関するご注意	11	より詳細な設定でスキャンするには	60
電波干渉に関するご注意.....	12	長尺モードの設定	60
本機の特長	15	原稿の重送を検知する.....	60
各部の名称と機能.....	18	設定する.....	62
タッチパネル	21	Web メニューの操作方法	63
本機の使いかた	24	画面の説明.....	63
電源について	24	管理者設定を表示する.....	64
電源を入れる	24	設定メニューの操作方法	65
電源を切る	25	Web メニュー一覧.....	66
原稿について	26	管理者設定	66
原稿のセットのしかた.....	28	その他.....	66
複数枚の原稿を連続してスキャンする.....	28	設定メニュー一覧.....	67
原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンする (非分離給紙).....	30	スキャン設定	67
カードをセットする.....	30	デバイス設定	67
半折り原稿をセットする.....	32	ネットワーク設定	67
キャリアシートを使用してスキャンする.....	33	ジョブの表示方法	67
パスポートをセットする.....	34	COT Lite Web.....	67
スキャンする	36	バージョン情報.....	67
スマートデバイスでスキャンする.....	38	ヘルプ.....	67
Web メニューを表示する.....	38	目的別の設定一覧.....	68
CaptureOnTouch Lite Web でスキャンする.....	39	スキャナー本体の設定	69
		表示する言語を設定する.....	69

地域を設定する	70
明るさを設定する	72
ジョブの表示方法を設定する	73
ローラー使用枚数を確認する／リセットする	74
ローラー交換の時期を設定する	75
スキャン枚数を確認する／リセットする	76
日時を設定する	77
自動で電源が切れる設定にする	80
スキャナーの名前を設定する	81
ブザーを設定する	82
すべての設定を初期化する	83
工場出荷状態に戻す（ファクトリーリセットする）	84
設定をバックアップする（Web メニューのみ）	85
バックアップした設定を読み込む（Web メニューのみ）	85
機能を制限する	86
アイコンを管理する（Web メニューのみ）	87
本機をバージョンアップする（Web メニューのみ）	88
一般ユーザーが変更できる内容を制限する（Web メニューのみ）	88
スキャナーのログを取得する（Web メニューのみ）	89
ホーム画面の表示を設定する（Web メニューのみ）	89
一時的に重送検知を無効にする（設定メニューのみ）	90
一時的にパスポートモードにする（設定メニューのみ）	90
本機の情報を表示する	91
ネットワークの設定	93
IP アドレスを設定する	93
接続方法を設定する	97
ネットワーク経由で本機を検索する（mDNS を有効にする）	98
SNMP を使った管理をする（Web メニューのみ）	99
Wi-Fi を設定する（設定メニューのみ）	103
SSID を表示する（設定メニューのみ）	104
画像をメールで送信できるようにする（メールサーバーを設定する） （Web メニューのみ）	104
SFTP 接続のセキュリティを高める（秘密鍵を設定する）（Web メニューのみ）	105
ルート証明書を管理する（Web メニューのみ）	105
ネットワーク情報を表示する	108
接続テストを行う（設定メニューのみ）	109
セキュリティの設定	110
ログインするときに PIN コードを使う	110
SSL サーバー証明書をインストールする（Web メニューのみ）	113
管理者パスワードを設定する	114
Web メニューの設定	115

スキャナーのタッチパネルに表示する内容を変更する（Web メニューのみ）	115
CaptureOnTouch Lite Web の設定をする （Web メニューのみ）	116
COT Admin サーバー機能の設定	117
COT Admin サーバーを設定する	117
スキャン画像の送信後に自動的にログアウトする	119
自動的にログアウトする時間を設定する	120
スキャナーにジョブを登録する（管理者向け）	121
Web メニューでジョブを作成／編集／登録する	121
スキャンモードの設定項目	122
出力モードの設定項目	123
その他の設定項目	127
タッチパネルでジョブを作成／編集／登録する	128
スキャンモードの設定項目	129
出力モードの設定項目	130
その他の設定項目	133
IEEE 802.1X 機能を使用する（管理者向け）	134

メンテナンス 135

日常のお手入れ	135
本体の清掃	135
タッチパネルの清掃	135
本体内部の清掃	135
読み取りガラスとローラーの清掃	135
消耗品の交換	137
給紙トレイの取り外し	141
Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて	141

トラブルシューティング 143

困ったときには	143
スキャナー本体のトラブル	143
スキャン時のトラブル	149
Web メニューのトラブル	163
よくある質問	165
CaptureOnTouch の質問	165
スキャナードライバーの質問	166
スキャナー本体の質問	167
紙詰まりの処理	168
エラーメッセージ	170
ソフトウェアをアンインストールする	173
保証とアフターサービス	175
サービス&サポートのご案内	177

付録	178
仕様	178
交換部品	179
オプション	179
フラットベッドスキャナーユニットについて	179
外形寸法図	180
規制について	181
索引	183

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナーをお買い求めいただきありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

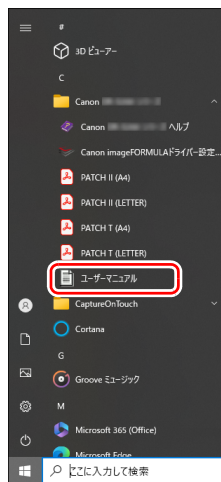
マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

- **安全にお使いいただくために**
本機をご使用になる前に必ずお読みになり、記載内容を守ってご使用ください。
- **セットアップガイド**
本機のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本機を使い始めるときにお読みください。
- **ユーザーマニュアル（本書）**
本機の操作方法が記載されたマニュアルです。

Windows

ユーザーマニュアル（電子マニュアル）は、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。



Mac

ユーザーマニュアル（電子マニュアル）は、以下の場所に登録されます。



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

お使いになる前に

ソフトウェアの動作環境

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

コンピューター

CPU：	Intel Core i3 2.13GHz 以上 Windows Intel Core i5 2.3GHz 以上 Mac
メモリー：	4GB 以上 Windows 16GB 以上 Mac
ハードディスク：	すべてのソフトウェアをインストールするために、 10GB 以上の空き容量
USB インターフェイス：	USB 3.2 Gen1x1/USB2.0
モニター：	解像度 1024×768 (XGA) 以上

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 10 (32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 11
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2022
- macOS 12
- macOS 13
- macOS 14

2024 年 8 月現在の環境です。

最新のソフトウェアサポート状況はキャノンホームページの製品ページをご参照ください。

その他

- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア
- .NET Framework 4.8 以降

! 重要

- USB インターフェイスは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インターフェイスにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インターフェイスが USB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インターフェイスカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターのシステム要件を満たしている場合でも、コンピューターの仕様・環境や読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- Windows 10 のタブレットモードでは、ソフトウェアの表示が乱れることがあります。

Windows で使用する場合の注意

- 本製品の ISIS ドライバーでのスキャンが可能なのは 32 ビット版アプリケーションに限られます。

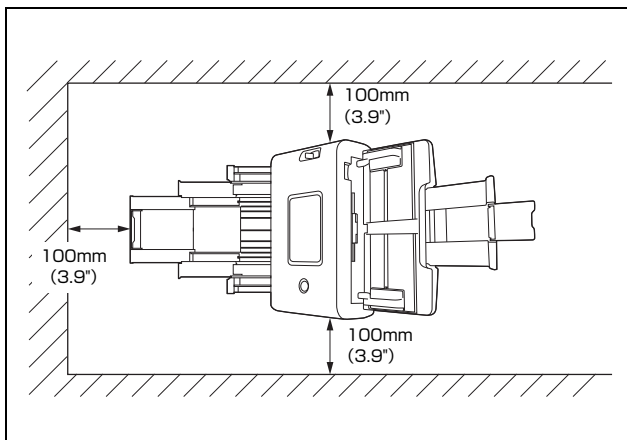
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

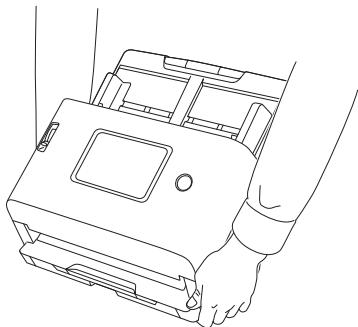
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 10℃～35℃
湿度 20% (RH)～80% (RH)
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。
- 排気口はふさがらないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

AC アダプターについて

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- AC アダプターおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。また、付属の AC アダプターを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機の移動について

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。
- 本機を移動する場合は、インターフェイスクーブルや AC アダプターを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。



日常の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足記線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイブルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプターのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っかかりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。

- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。廃棄する前に、「すべての設定を初期化する」(→ P.83) または「工場出荷状態に戻す (ファクトリーリセットする)」(→ P.84) を参照し、スキャナー内部のデータを消去してください。

本製品を修理のために送付するときは

本製品の修理を依頼するときは、指定された送付先に本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかりと固定していただくようお願いいたします。

電波法に関する記載

- 本機は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。日本国外では、その国や地域の法律または規制により、本機を使用した結果罰せられることがあります。その場合、当社としては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機能を搭載した装置です。本機の底面にある証明ラベルをはがしたり、本機を分解したり、内部の回路などを改造して使用することは、法律で禁止されており、お客様が罰せられることがあります。また、分解や改造によって発生するどのような損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。

無線通信機能について

DR-S350NW : 6130280 (無線モジュールモデル : ES204)

- 次の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。「本製品を分解、改造すること」、「本製品上の証明ラベルをはがすこと」。
- DR-S350NW には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されています。
- 本製品は屋外での使用を禁じております。
- 本製品の使用周波数帯は 2.4GHz 帯または 5GHz 帯です。

本機には無線通信機能が内蔵されています。無線通信機能で使用する電波により医療機器や各機器に影響を及ぼし重大な事故の原因となる恐れがあります。以下の場所では無線通信機能を使用しないでください。

- 心臓ペースメーカーをお使いの方は、無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器を使用されている人の近くでは無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。ご利用に関しては各医療機関へお問い合わせください。
- 病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が医療用電気機器の動作に影響を与える恐れがあります。医療機関内でのご使用に関しては各医療機関へお問い合わせください。
- 航空機内では無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が航空機内の精密機器へ影響を及ぼし、誤動作による重大事故の原因となる恐れがあります。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 無線通信機能を使用するときは、本機を身体から 20cm 以上離してください。
- 電波利用が制限されている場所 (医療施設など) では、その場所の指示に従い、無線通信機能を使用しないでください。電子機器や医療用機器、植込み型医療機器 (心臓ペースメーカーなど) に影響をおよぼす場合があります。これは電波利用機器としての一般的な特性であり、本機特有の特性ではありません。詳細は総務省のホームページを確認してください。(<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>)
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部位を外付けの NFC リーダーより 22cm 以内 に近づかないでください。

通信速度は、規格上の通信速度の表記であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、お客様が本機を使用する環境によって異なります。また、以下の使用環境の場合は、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりします。

- 本機と無線アクセスポイント / ルーターの距離が極端に離れている。
- 電波の干渉が発生するような機器 (電子レンジなど) の近くで本機を使用する。

使用周波数帯が 5GHz 帯で使用する場合がございます

この機器の使用周波数帯が 5GHz 帯の W53(52 ~ 64ch)または W56(100 ~ 140ch) の場合、無線アクセスポイントの DFS (Dynamic Frequency Selection) 機能が動作すると、W53 または W56 の通信は一度切断されます。DFS 機能によって、無線アクセスポイントが再起動した場合は、W53 または W56 以外のすべての通信も一度切断されます。

ラベルは、規格と、使用周波数帯 W52 (36 ~ 48ch)、W53 (52 ~ 64ch)、W56 (100 ~ 140ch) を示しています。

詳細は以下のとおりです。

チャンネルボンディング	使用できるチャンネル
20MHz	36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140
40MHz	38, 46, 54, 62, 102, 110, 118, 126, 134
80MHz	42, 58, 106, 122

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

管理者パスワードに関するご注意

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。

管理者パスワードを設定しておく、Web メニューやタッチパネルなどで設定の変更をするときにパスワードの入力が必要になります。

スキャナーに管理者パスワードが初期設定されていますが、任意のパスワードを設定することができます。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯が 2.4GHz 帯の場合、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お買い求めの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 - ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。



この表示は、2.4GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

使用可能な地域と制限事項

世界各地域の無線に関する法律に準拠するため、数種類の本製品が販売されています。製品ごとの使用可能地域は下記のとおりです。使用可能地域以外での使用はできませんので、ご注意ください。また、下記に記載されていない地域については、お客様相談窓口にお問い合わせください。

製品名称	商品コード	使用可能地域		無線 LAN 規格	対応チャンネル	最大無線出力値
DR-S350NW 100V	6897C001	日本		IEEE802.11a/b/g/n/ac	2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140 ch	2.4GHz : 11b/g : 10 dBm 11n : 9 dBm 5GHz : 11a W52, W53 : 10 dBm W56 : 9 dBm 11n/ac W52, W53 : 9 dBm W56 : 8 dBm
DR-S350NW 120V	6897C002	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ			2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 132, 136, 140 ch	
DR-S350NW 220V- 240V EU	6897C003	オーストリア、ベルギー、ブルガリア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、リヒテンシュタイン、イギリス、セルビア			2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140 ch	
DR-S350NW 220V- 240V MU	6897C009	CIS	ウクライナ、アルメニア、ベラルーシ、キルギス		2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64 ch	
		アフリカ	南アフリカ、エジプト、ケニア、モロッコ、ナミビア、ウガンダ、ガーナ、チュニジア、アルジェリア			
		中東	トルコ、UAE、バーレーン、イスラエル、イラク、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビア、ヨルダン、レバノン			
		南米	ブラジル、チリ、セントマーチン（蘭）、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー、パナマ、ベネズエラ、セントヴィンセント、ドミニカ、スリナム、ウルグアイ、コスタリカ			
		アジア	シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、フィリピン、ブルネイ、カンボジア、モルディブ、スリランカ、香港、インドネシア、パキスタン			

製品名称	商品コード	使用可能地域	無線 LAN 規格	対応チャンネル	最大無線出力値
DR-S350NW 220-240V CA	6897C004	オーストラリア、ニュージーランド	IEEE802.11a/b/g/n/ac	2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、132、136、140 ch	2.4GHz : 11b/g : 10 dBm 11n : 9 dBm
DR-S350NW 220-240V CN	6897C005	中国		2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36、40、44、48、52、56、60、64 ch	5GHz : 11a W52、W53 : 10 dBm W56 : 9 dBm
DR-S350NW 220-240V KR	6897C006	韓国		2.4GHz : 1 ~ 11 ch 5GHz : 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140 ch	11n/ac W52、W53 : 9 dBm W56 : 8 dBm
DR-S350NW 220-240V INDIA	6897C007	インド			
DR-S350NW 110V TW	6897C008	台湾			

本機の特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

スキャナー本体の特長

- **箱から出してすぐに使える CaptureOnTouch Lite Web 機能**
一般的なドキュメントスキャナーは、お使いになる前にコンピューターにスキャナードライバーとスキャンアプリをインストールしておく必要があります。DR-S350NW は、スキャナー本体の中にソフトウェアがインストールされており、コンピューターやスマートデバイスにアプリをインストールせずにスキャンできる CaptureOnTouch Lite Web 機能を搭載しています。
スキャナーを、コンピューターやスマートデバイスと同じネットワークにつなげるだけで、何もインストールせずにすぐにスキャンできます。ランチオフィスや出張先、コワーキングスペースなど、新しい働き方で簡単にスキャンできます。
- **多彩な接続モード**
お使いの環境に合わせ、USB、有線 LAN、Wi-Fi による接続が可能です。USB は、USB 3.2 Gen1x1/USB2.0 に対応します。
- **直感的な操作を実現するタッチパネル**
直感的な操作が可能で、万が一のエラー時も対処方法などがわかりやすく表示されるタッチパネルを搭載しています。
- **スキャナーへのスキャン設定登録**
よく使うスキャン / 送信先設定をスキャナーに登録できます。コンピューターやスマートデバイスがなくともスキャンから送信までを完了できます。登録されたジョブであっても、一時的に設定を変えてスキャンすることができます。
通常はモノクロでスキャンするジョブでも、カラーペンの書き込みがあったときだけカラーでスキャンしたり、原稿の束に封筒が混じっているときだけ超音波重送検知を OFF にしたりするなど、柔軟に運用できます。
- **送信前の画像確認**
スキャナーに登録されたジョブでスキャンしたとき、送信前にタッチパネルでスキャン画像を確認することができます。
- **セキュアな運用管理**
管理者以外のユーザーが設定を変更できないよう、制限することができます。機能ごとに、制限するかどうかを設定できます。

- **多彩な原稿をサポート**
名刺やレシートといった小さいサイズから A4 サイズの原稿、パスポート、長尺原稿、カードなど、幅広い種類の原稿をスキャンできます。また、「半折りモード」使用時には最大 A2 サイズまでの原稿もスキャンできます。また、長尺原稿にも対応しており、最大 5,588mm (220 インチ) までの原稿をスキャンできます。
- **フルオートモード**
CaptureOnTouch およびスキャナードライバーに、スキャン条件を自動的に決定する「フルオートモード」が用意されています。カラーモードや用紙サイズなどのスキャン条件が原稿に合わせて自動的に設定されます。
- **プリセット**
パスポートや写真入り文書に適した設定が、あらかじめプリセットとして用意されています。このほかにユーザーがお気に入りの設定を登録することもできます。
- **多様な送信先に対応**
メール、FTP など用途に合わせたデータ送信が可能です。メール機能で Teams や Slack にも直接データ送信できます。
- **環境にやさしい省エネ設計**
動作時最大 22W、スリープモード時 1.8W の省エネ設計です。
- **Mopria 認証 (ユニバーサルスキャン)**
Mopria 対応のデバイスや OS (ChromeOS や Android など) から簡単にスキャンできます。

検知機能

- **解像度の自動検知**
CaptureOnTouch およびスキャナードライバーの設定により、原稿の内容から解像度を自動的に決定することができます。ファイルサイズを最適化できます。
- **カラー原稿自動検知**
スキャンした原稿がカラー原稿か、グレーまたは白黒原稿かを自動検知します。
- **自動原稿サイズ検知**
スキャンした原稿のサイズを検知し、余白のない画像を生成します。

- **コンテンツ斜行補正**
印刷が傾いてしまった原稿であっても、まっすぐに補正します。
- **文字・線の太さ補正**
文字や線の太さを調整でき、線の細い文字のOCR処理精度を高められます。
- **超音波重送検知**
超音波センサーによって原稿の重なりを検知して搬送を停止します。
- **文字向き検知**
原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。
- **文字強調モード**
文字の視認性が低い原稿の視認性・OCR処理精度を高める機能が3種類搭載されています。
 - アドバンスドテキストエンハンスメントモード **Windows** : 背景が濃い原稿や、背景が均一でない原稿を読みやすくします。
 - アドバンスドテキストエンハンスメントIIモード: 背景が均一で文字、背景ともに薄い原稿の文字を読みやすくします。
 - アクティブスレッシュホールドモード: 薄い文字の原稿や汚れのある原稿など、様々な種類の原稿を一度にバッチ処理できます。
* 原稿によっては、有効に機能しない場合があります。

画像処理機能

- **色強調機能**
指定した特定の色（赤・青・緑）または有彩色を強調した白黒またはグレー画像を生成します。マーカーで書いたメモや薄い捺印を強調したい場合に便利です。特定の色を指定する場合に指定できるのは一色のみですが、有彩色を選択すると、原稿内の複数の色や、原稿ごとに異なる色が入っている場合でも対応できます。
- **カラードロップアウト機能**
指定した特定の色（赤・青・緑）または有彩色を排除した白黒またはグレー画像を生成します。罫線に色がついている帳票等をスキャンしたい場合に便利です。
- **写真入り文書モード**
写真と文字両方が記載されている文書をスキャンした際に、文字・写真どちらも高い再現性を維持できるモードです。
顔写真が貼られた申込書などを、きれいにスキャンできます。

- **半折りスキャン・表裏結合機能**
給紙口にセットできない原稿を半折りにして両面をスキャンし、スキャンした表裏の画像を1枚の画像に合成します。
また、画像の合成方法も設定できるため、原稿の表裏を結合することもできます。カードや横方向にセットしたはがきの表裏を結合し、見やすい1枚の画像にすることができます。
- **ノイズ軽減**
画像のノイズを軽減し、見やすく、またファイルサイズを抑えた画像を出力できます。
- **マルチストリーム **Windows****
用途に合わせて読み取り条件の異なる3つの画像を1回のスキャンで同時に出力できるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能はお使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。
- **バーコード検知 **Windows****
原稿内のバーコードを検知できます。また、CaptureOnTouchを使えば、原稿に含まれるバーコード/2Dコードを検知して、ファイルを分割することができます。
- **バッチコード検知 **Windows****
原稿内に挿入されたバッチコードシートを検知してバッチ区切りを行うことができます。
- **1200dpi 対応**
最大1200dpiの出力に対応しています。
* 1200dpiの画像は600dpiから生成します。

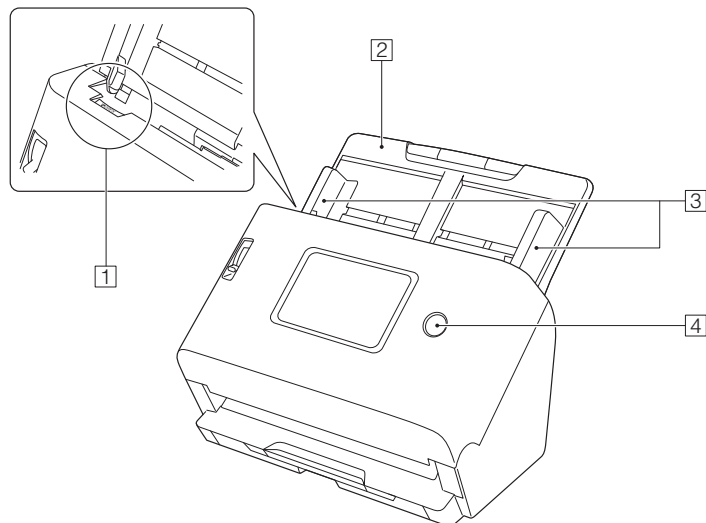
その他

- **自動スタート**
原稿を給紙口にセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。
- **スリープモード**
スキャンなどの操作をしないまま10分経過すると自動的にスリープモードに移行する省エネ設計です。
- **A4/LEGAL キャリアシート対応**
別売りのキャリアシート（A4またはLEGAL）を使用して、原稿を傷つせずにスキャンできます。
- **パスポート / 冊子対応**
別売りのキャリアシート（パスポート用）に対応。パスポートや冊子もスキャンできます。

-
- **データ消去機能**
ファクトリーリセットを行う (→ P.84) と、スキャナー内部のデータを全て消去し、工場出荷状態にリセットされます。
 - **COT Admin *Windows***
ジョブ/スキャナー/ユーザーの情報を集中管理するサーバーソフトウェアです。スキャナー本体でのユーザー認証機能や NFC を使ったログオン機能が使えるようになります。
COT Admin の詳細は、「COT Admin Server ユーザーマニュアル」を参照してください。
 - **Canon DR Scanner Management Tool (管理ツール) *Windows***
スキャナーを集中管理するサーバーソフトウェアです。消耗品やエラー状態、ファームウェアバージョンなどを一括して管理できます。USB 接続で使っているスキャナーであっても、コンピューターにエージェントソフトをインストールすることで管理できます。

各部の名称と機能

前面（排紙トレイを収納した状態）



1 OPEN レバー

前ユニットを開くときに手前に引きます。

2 給紙トレイ

原稿をセットします。

3 原稿ガイド

セットした原稿の両端に合わせることで、原稿がまっすぐ給紙されるようにします。

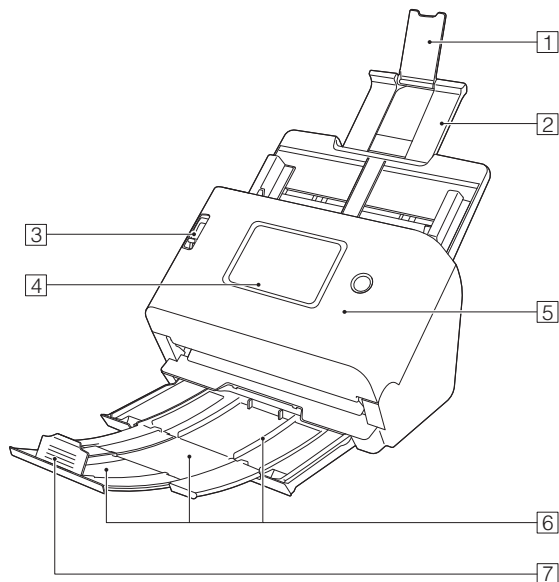
4 電源ボタン

押すとスキャナーの電源が入ります。このとき、電源ボタンは点灯します。スキャナーの電源を切るときは、このボタンを長押し（2 秒以上）してください。

電源ボタンは、スキャナーの状態に応じて次のように点灯または点滅します。

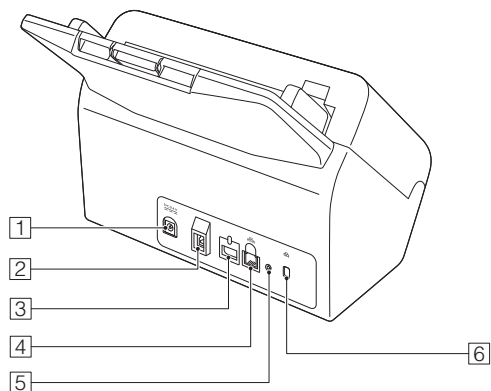
電源ボタンの表示	説明
点灯	• 電源オン • エラー（紙詰まり、前ユニット開、重送など）が発生
点滅（ゆっくり）	スリープモード
点滅（高速）	ファクトリーリセット中

前面（排紙トレイを引き出した状態）



- ① 給紙補助サポート**
長い紙をスキャナーにセットするときに開きます。
- ② 給紙サポート**
セットした原稿を支えるために、引き出して使用します。
- ③ 給紙切替レバー**
原稿の給紙方法を設定します。
複数枚の原稿を1枚ずつ分離させて給紙する場合は下側（通常給紙）にします。（→P.28）
複数枚綴りの伝票などを分離しないで給紙する場合は上側（非分離給紙）にします。（→P.30）
- ④ タッチパネル（→P.21）**
画面をタッチしてスキャナーの各種操作をします。
- ⑤ 前ユニット**
本体内部の清掃時やローラーの交換時に開きます。
- ⑥ 排紙トレイ**
スキャンするときに引き出します。スキャンされた原稿がここに排紙されます。
サイズが異なる原稿を一度にまとめてスキャンする場合、引き出したトレイを上方に持ち上げた状態で引き出すと、トレイの角度が固定され、排紙された原稿をトレイ上にそろえることができます。
- ⑦ 排紙ストッパー**
排紙された原稿が排紙トレイから飛び出すのを防ぎ、原稿の先端を揃えます。原稿の長さに合わせて、排紙トレイ上の任意の位置に動かすことができます。

背面



① 電源コネクター

同梱の AC アダプターを接続します。

② USB コネクター

同梱の USB ケーブルを接続します。

③ オプション用コネクター

オプション品（NFC リーダーなど）を購入した際に使用します。
本機の購入時はシールでふさがれています。オプション品の使用時にシールをはがしてお使いください。

④ LAN コネクター

RJ-45（10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）に対応したネットワークケーブルを接続します。

⑤ ファクトリーリセットボタン

すべての設定やファームウェアのバージョンを工場出荷状態にリセットする（ファクトリーリセットする）際に使用します。

⑥ 盗難防止用の穴（セキュリテースロット）

盗難防止用のキーチェーンなどを接続します。

タッチパネル

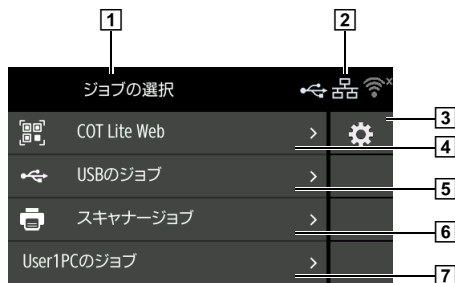
タッチパネルに表示される内容は、スキャナーの状態によって異なります。各画面の操作や詳細は「[設定メニューの操作方法](#)」(→ P.65)を参照してください。

代表的な表示例は以下のとおりです。

■ ホーム画面

画面の表示形式を設定できます。「[ジョブの表示方法を設定する](#)」(→ P.73)

リスト表示



アイコン表示



① タイトル部

操作画面のタイトルを表示します。

② 接続状態表示

本機とコンピューターとの接続状態を表示します。タップすると「接続切替」画面を表示します。(→ P.97)

本機とコンピューターの接続状態によって、表示されるアイコンが以下のように切り替わります。

接続状態	接続されています	接続されていません	使用できません	接続設定がオフ (→ P.97)
USB			表示なし	
有線LAN			表示なし	
Wi-Fi			表示なし	

ヒント

Wi-Fi 接続時に直前まで接続していたアクセスポイントに接続できなくなった場合、が表示されます。

「[ネットワークに自動接続できない。](#)」(→ P.148)を参照して、接続したいアクセスポイントとの通信をリトライしてください。

③ 設定ボタン

設定メニュー画面を表示します。(→ P.62)

④ COT Lite Web

タッチパネルに QR コードを表示します。スマートデバイスで読み取る Web メニューを表示できます。

⑤ USB のジョブ

スキャナーと USB 接続されているコンピューターの CaptureOnTouch に登録されているジョブを表示します。

このジョブを使ってスキャンする方法は「[スキャナーから CaptureOnTouch のジョブを選んでスキャンする](#)」(→ P.53)を参照してください。

⑥ スキャナージョブ

スキャナーに登録されたジョブを表示します。

スキャナーにジョブを登録する方法は「[スキャナーにジョブを登録する\(管理者向け\)](#)」(→ P.121) を参照してください。

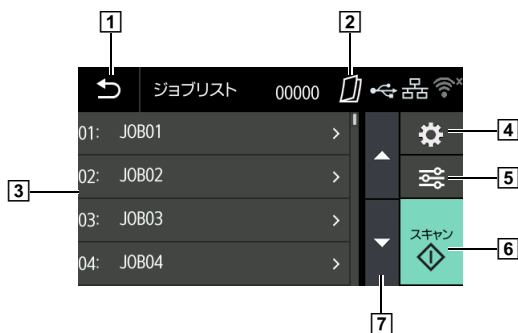
スキャナーに登録されたジョブを使ってスキャン登録する方法は「[スキャナーに登録されたジョブでスキャンする\(ユーザー向け\)](#)」(→ P.55) を参照してください。

⑦ <コンピューター名>のジョブ

スキャナーと有線 LAN または Wi-Fi で接続されているコンピューターの CaptureOnTouch に登録されているジョブを表示します。

このジョブを使ってスキャンする方法は「[スキャナーから CaptureOnTouch のジョブを選んでスキャンする](#)」(→ P.53) を参照してください。

■ ジョブリスト画面



① 戻るボタン

一つ前の画面に戻ります。

② 給紙方法表示部

原稿の給紙方法を表示します。

給紙方法は本体の給紙切り替えレバーで切り替えます。(→ P.28、P.30)

表示	説明
表示なし	通常給紙
	非分離給紙

③ リスト部

選択可能なメニュー項目やジョブ項目などを表示します。

④ 設定ボタン

設定メニュー画面を表示します。(→ P.62)

⑤ 編集ボタン

スキャナーに登録されているジョブを編集します。(→ P.55)

ホーム画面で「スキャナージョブ」を選んだときのみ、表示されます。

⑥ スキャンボタン

スキャンを開始します。

⑦ ▲▼ボタン

リストを上下にスクロールします。

画面の状態によっては他にも以下のアイコンが表示されます。

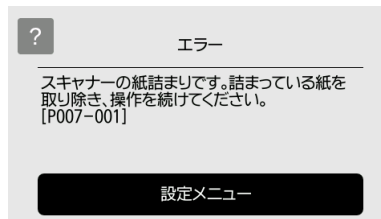


設定メニューに移動する前の画面を表示します。

■ メッセージ画面

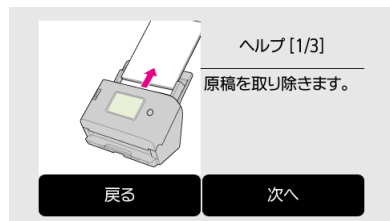
スキャナーの状態を表示します。

エラーが発生したときは、エラーの内容とエラーコードが表示されます。



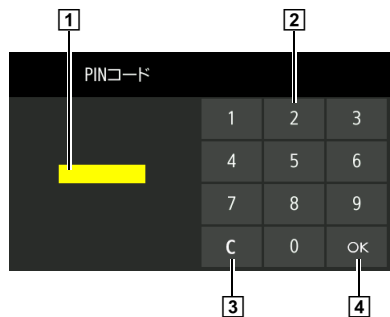
■ ヘルプ画面

タッチパネルに表示された^②(ヘルプ)をタップすると、ヘルプを表示できます。



■ PIN コード入力画面

PIN コード機能が有効になっている場合は、本機を起動したときに PIN コードの入力が必要です。PIN コード機能の有効/無効は「ログインするときに PIN コードを使う」(→ P.110)を参照してください。



① PIN コード

入力した PIN コードを表示します。

② 数字ボタン

数字を入力します。

③ C ボタン (クリアボタン)

入力された PIN コードを 1 文字削除します。

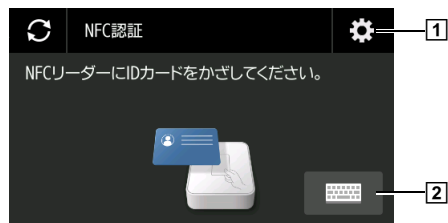
④ OK ボタン

PIN コードの認証をします。

■ COT Admin モード有効時に表示される画面

COT Admin モードが有効な場合に、COT Admin の認証設定によっては、以下の画面が表示されることがあります。

NFC 認証画面



① 管理者ログイン画面ボタン

管理者ログイン画面を表示します。

管理者パスワードを入力します。管理者パスワードは、Web メニューの管理者パスワードと同じです。(→ P.114)

② ユーザー認証画面ボタン

ユーザー認証画面を表示します。

COT Admin サーバーとの通信で使用するユーザー名とパスワードを入力します。

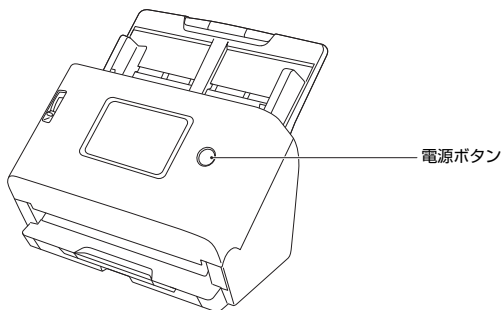
本機の使いかた

電源について

電源を入れる

本機の電源は、正面の電源ボタンで操作します。

- 1 本機とコンピューターの接続を確認します。
- 2 電源ボタンを押します。

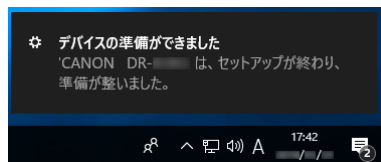
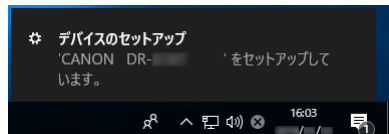



電源が入ると、電源ボタンが青色に点灯します。

Windows


ヒント

USB ケーブルで接続した場合は、初めて本機の電源を入れたときにタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本機が使用できるようになります。




スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの  (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。




タスクバーのアイコンの表示が  になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源と USB ケーブルの状態を確認してください。

Mac

スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの  (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。



タスクバーのアイコンの表示が  になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源と USB ケーブルの状態を確認してください。

電源を切る

電源ボタンを長く（2 秒以上）押すと、本機の電源が切れます。

重要

- 非常時を除いて、電源を切るときに電源プラグを抜かないでください。
- 本機の電源が切れてから入れ直すときは、電源を切った後で10秒以上待つってから電源を入れてください。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプターのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ヒント

出荷時は、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源が切れる設定がオンになっています。

この設定を無効にするには、「[自動で電源が切れる設定にする](#)」（→ P.80）をご覧ください。

原稿について

本機は、名刺などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることができる原稿の大きさは以下のとおりです。

普通紙

サイズ

幅 : 50.8 ~ 216mm (2" ~ 8.5")

長さ : 54 ~ 356mm (2.1" ~ 14") (長尺モード時は最大 5,588mm (220"))

紙厚

通常給紙 : 27 ~ 209g/m² (0.04 ~ 0.25mm)

非分離給紙 : 27 ~ 255g/m² (0.04 ~ 0.3mm)

最大積載枚数

A4 サイズ以下の原稿 : 60 枚 (80g/m²)

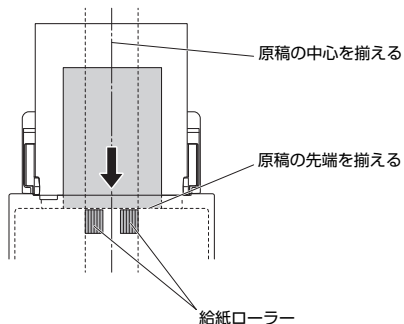
A4 サイズを超える原稿 : 40 枚 (80g/m²)

上記どちらの場合も高さ 6mm を超えないこと

重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚のサイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿が給紙ローラーの全幅にかかるように、原稿の先端と中心を揃えてセットしてください。



- 356mm (14") を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。

- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- ラミネート加工された原稿は、原稿の状態によっては適切な画像が得られない場合があります。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。



しわや折り目が入っている。



カール (巻き付け) がある。



破れている。



クリップやステイプルの針が付いている。



カーボン紙。



表面がコーティングされている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



紙粉が出やすい紙

名刺

サイズ

幅 : 50 ~ 55mm (2" ~ 2.2")

長さ : 85 ~ 91mm (3.3" ~ 3.6")

紙厚

128 ~ 255g/m² (0.15 ~ 0.3mm)

挿入方向

縦送りのみ

重要

名刺の束をセットして正常に搬送できない場合は、セットする名刺の枚数を減らしてください。

カード（プラスチック製）

サイズ	86mm (3.37") × 54mm (2.12") (ISO/JIS 規格準拠)
カード厚	1.4mm (0.055") 以下
挿入方向	横送りのみ
エンボス付き	可能
最大積載枚数	3 枚（エンボスなし）、1 枚（エンボス付き）



注意

- カードは横向きにセットしてスキャンしてください。縦向きにセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときに、カードが損傷することがあります。
- エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られない場合があります。
- カードをスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で以下の設定にしてください。
 - Windows の場合：[エラー検知] タブの [超音波で検知] のチェックを外す
 - macOS の場合：[重送を検知する] のチェックを外すか、検知方法を [長さで検知] に設定詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

パスポート

サイズ	88mm (3.464") × 125mm (4.921") (ISO 規格準拠)
紙厚	4mm (0.157") 以下（キャリアシート込み）

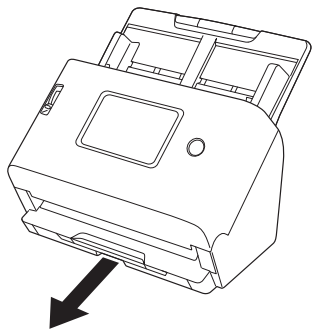
スキャン時はパスポートを開き、別売りのキャリアシート（パスポート用）に入れて搬送のこと

原稿のセットのしかた

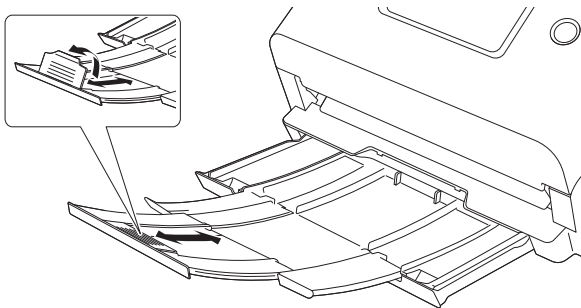
複数枚の原稿を連続してスキャンする

複数枚の普通紙の原稿をまとめてスキャンするときは、通常給紙でスキャンします。通常給紙では、複数枚の原稿を1枚ずつ分離しながら給紙します。

1 排紙トレイを引き出します。



排紙トレイは3段階の長さ調節が可能です。原稿の長さに合わせて排紙トレイを引き出してください。また、必要に応じて先端の排紙ストッパーを立ててください。

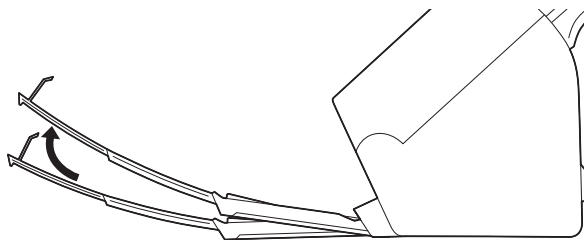


重要

排紙トレイはそれぞれの段階に応じて手前まで引き出してください。

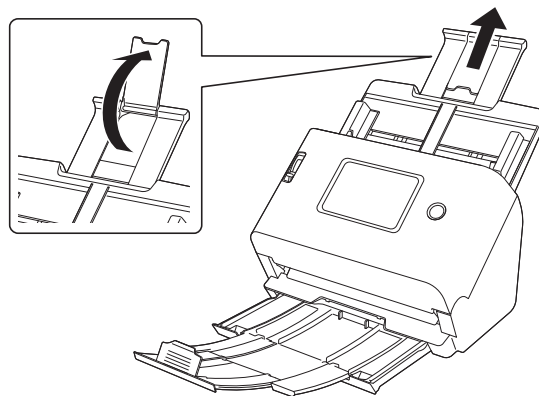
ヒント

サイズが異なる原稿を一度にまとめてスキャンする場合、引き出した排紙トレイを上方に持ち上げた状態で引き出すと、トレイの角度が固定され、排紙された原稿をトレイ上にそろえることができます。

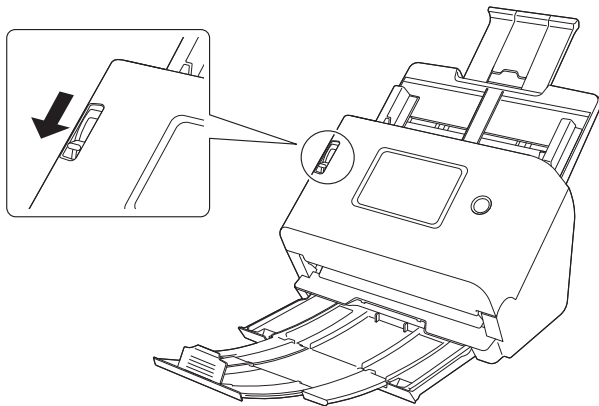


2 給紙サポートを引き出します。

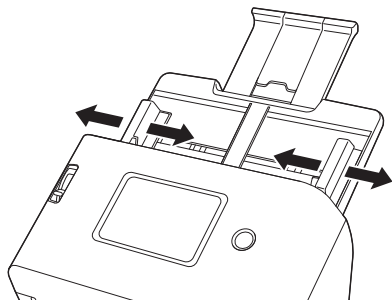
長い原稿をセットするときは、給紙補助サポートを開いてください。



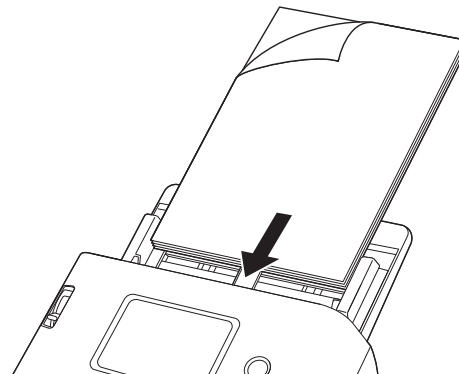
3 給紙切替レバーを通常給紙に切り替えます。



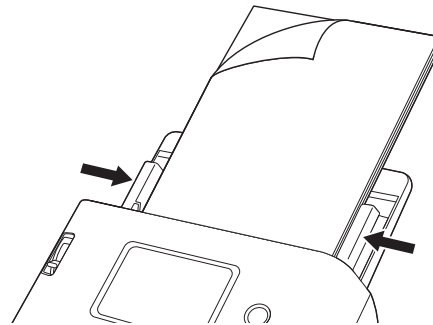
4 読み取る原稿の幅よりも広くなるように原稿ガイドを開きます。



5 原稿をセットします。



6 原稿ガイドを原稿の両端に合わせます。



! 重要

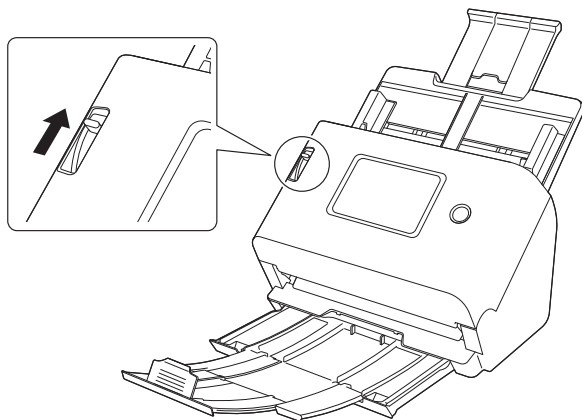
- 原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- 原稿をセットする前に、クリップやステイプルの針などが紛れ込んでいないか、必ず確認してください。万一、これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙づまりが発生するなど、本機の故障の原因になります。

- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っかかりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれて、けがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源ケーブルを本体から抜いて本機を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり、紙づまりの原因になります。カールが大きい場合は、カールを矯正してから本機にセットしてください。
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み取り作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナーを使用しないときは、本機の損傷を防ぐために排紙トレイと給紙サポートを収納してください。

原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンする (非分離給紙)

厚い原稿を 1 枚ずつスキャンするときや、複数枚綴りの原稿を綴じたままスキャンするときは、給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。非分離給紙では、枚数にかかわらずセットされた原稿が分離されずにスキャンされます。

1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



2 「複数枚の原稿を連続してスキャンする」(→ P.28) の手順に従って原稿をセットします。

重要

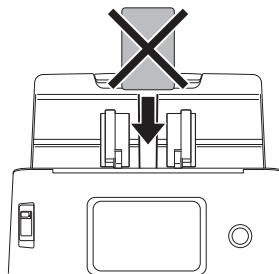
- 複数枚綴りの伝票などをセットするときは、綴じしろを下に向けて給紙口に挿入してください。
- 重送するときは、「困ったときには」の「原稿が重送する。」(→ P.151) と「プラスチックカードや封筒、冊子が重送と誤検知される。」(→ P.151) を参照してください。

カードをセットする

カードの表面の凹凸の有無によって、セット方法が異なります。

注意

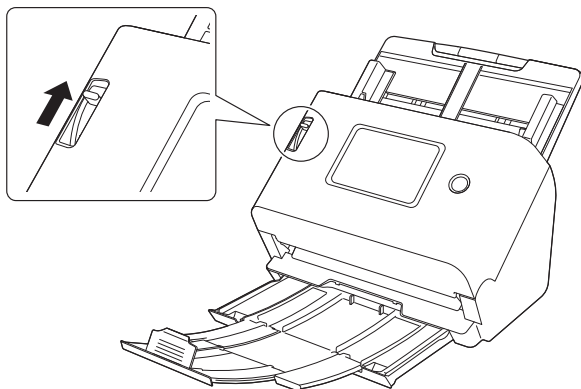
カードは横向きにセットしてスキャンしてください。縦方向にセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときに、カードが損傷することがあります。



表面に凹凸のある（エンボス加工されている）カードの場合

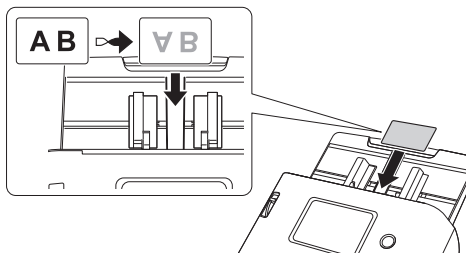
エンボス加工されているカードをスキャンするときは、給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えてから、カードを横向きにして1枚ずつスキャナーにセットします。

- 1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



- 2 スキャンするカードの幅に原稿ガイドを合わせます。

- 3 カードを横向きにして裏返し、上端を下にしてセットします。



注意

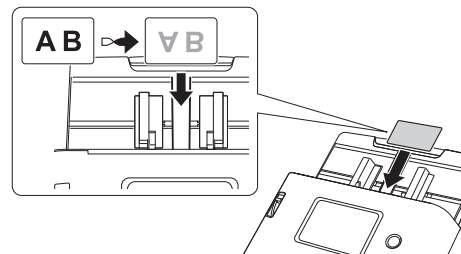
カードは1枚ずつセットしてください。

表面に凹凸のない（エンボス加工されていない）カードの場合

エンボス加工されていないカードをスキャンするときは、カードを横向きにしてスキャナーにセットします。

- 1 スキャンするカードの幅に原稿ガイドを合わせます。

- 2 カードを横向きにして裏返し、上端を下にしてセットします。



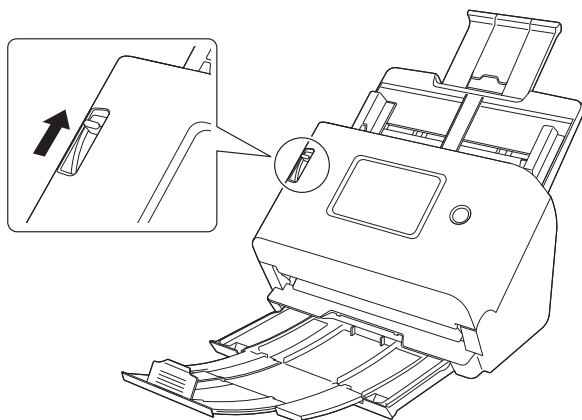
ヒント

エンボスのないカードは、一度に3枚までスキャナーにセットできます。

半折り原稿をセットする

給紙口にセットすることができないA4サイズより大きい原稿を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を1つの画像に合成します。

1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



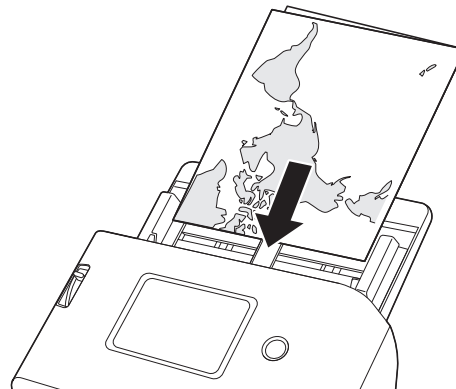
2 原稿を2つに折ります。

原稿の中心に折り目をしっかりつけて2つに折ります。折った原稿の端がきれいに揃うように折ってください。原稿の折り方によっては、紙詰まりが発生したり、合成後のスキャン画像にずれが生じることがあります。

重要

折り目の部分は、スキャン画像の一部が欠落します。

3 原稿を、折り目を右に向け、上端を下にしてセットします。



重要

原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広がっていると斜行、画像のズレの原因になります。

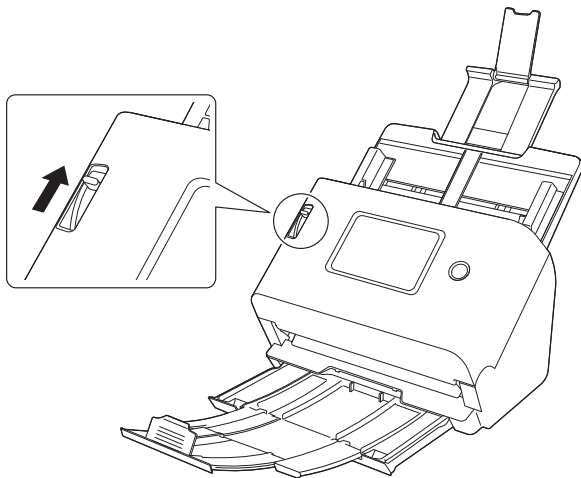
ヒント

- 原稿の折り方にあわせて、表面と裏面の組み合わせ方を設定できます。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 合成される画像は最大A2サイズの画像です。この方法でA2サイズの原稿がスキャンできます。
- スキャナードライバーの設定画面で、[用紙サイズ] を実際にスキャンする用紙サイズの半分のサイズに設定してください。非定形サイズの原稿を半折りスキャンする場合は、[用紙サイズ] の設定を [原稿のサイズに合わせる] (Windows) / [自動で検知する] (macOS) にしてください。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

キャリアシートを使用してスキャンする

原稿を傷付けずにスキャンするときは、別売りのキャリアシートに原稿を入れてスキャナーにセットします。

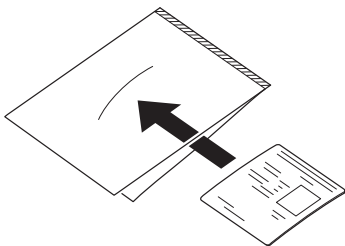
1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



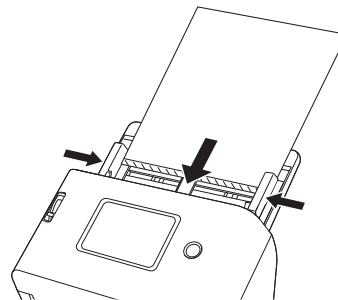
注意

キャリアシートを使用してスキャンするときは必ず給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えてください。

2 原稿をキャリアシートに入れます。



3 キャリアシートの綴じしろを先端にして原稿をセットします。



原稿をセットしたら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせてください。



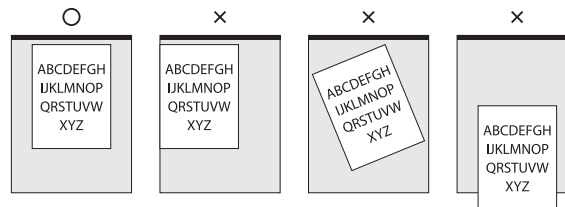
注意

キャリアシートや中の原稿が正しくセットされていないと、原稿が詰まったり、きれいにスキャンされない場合があります。



重要

- キャリアシートには、原稿をまっすぐ中央に入れてください。原稿が端に寄っていたり、傾いていたりと、キャリアシートからはみ出していると、正常にスキャンできません。

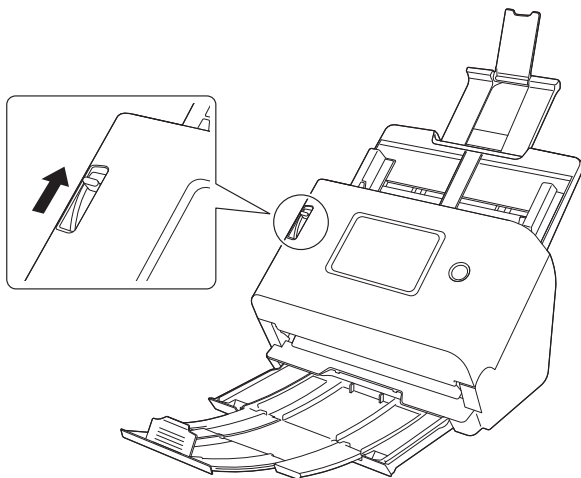


- キャリアシート (LEGAL) を使用する場合は、スキャナードライバーの長尺モードで [長尺モード (1000mm)] に設定してください。(→ P.60)
- スキャンが可能な紙厚は 127g/m² 以下です。127g/m² を超える原稿は、紙詰まりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- キャリアシートの交換目安は、80g/m² 紙 1 枚を入れてスキャンした場合で 1,000 枚です。キャリアシートは消耗品です。傷や汚れが目立つ場合や、紙詰まりが発生する場合は、必要に応じて交換してください。

パスポートをセットする

パスポートをスキャンするときは、別売りのキャリアシート（パスポート用）にパスポートを入れてから、スキャナーにセットします。

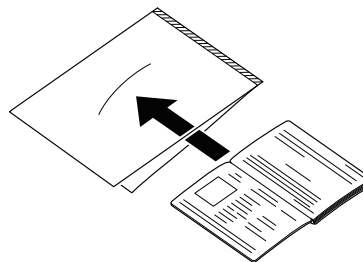
- 1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



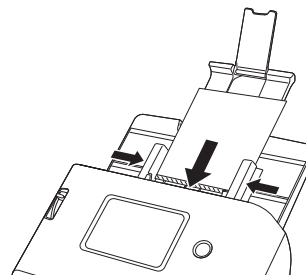
⚠ 注意

パスポートをスキャンするときは必ず給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えてください。

- 2 パスポートのスキャンする面を開きます。パスポートの厚い側をキャリアシートの縦じしろにできるだけ寄せて、キャリアシートにパスポートを入れます。



- 3 キャリアシートの縦じしろを先端に、スキャンする面を裏にして原稿をセットします。



原稿をセットしたら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせてください。

⚠ 注意

キャリアシートやパスポートが正しくセットされていないと、原稿が詰まったり、きれいにスキャンされない場合があります。

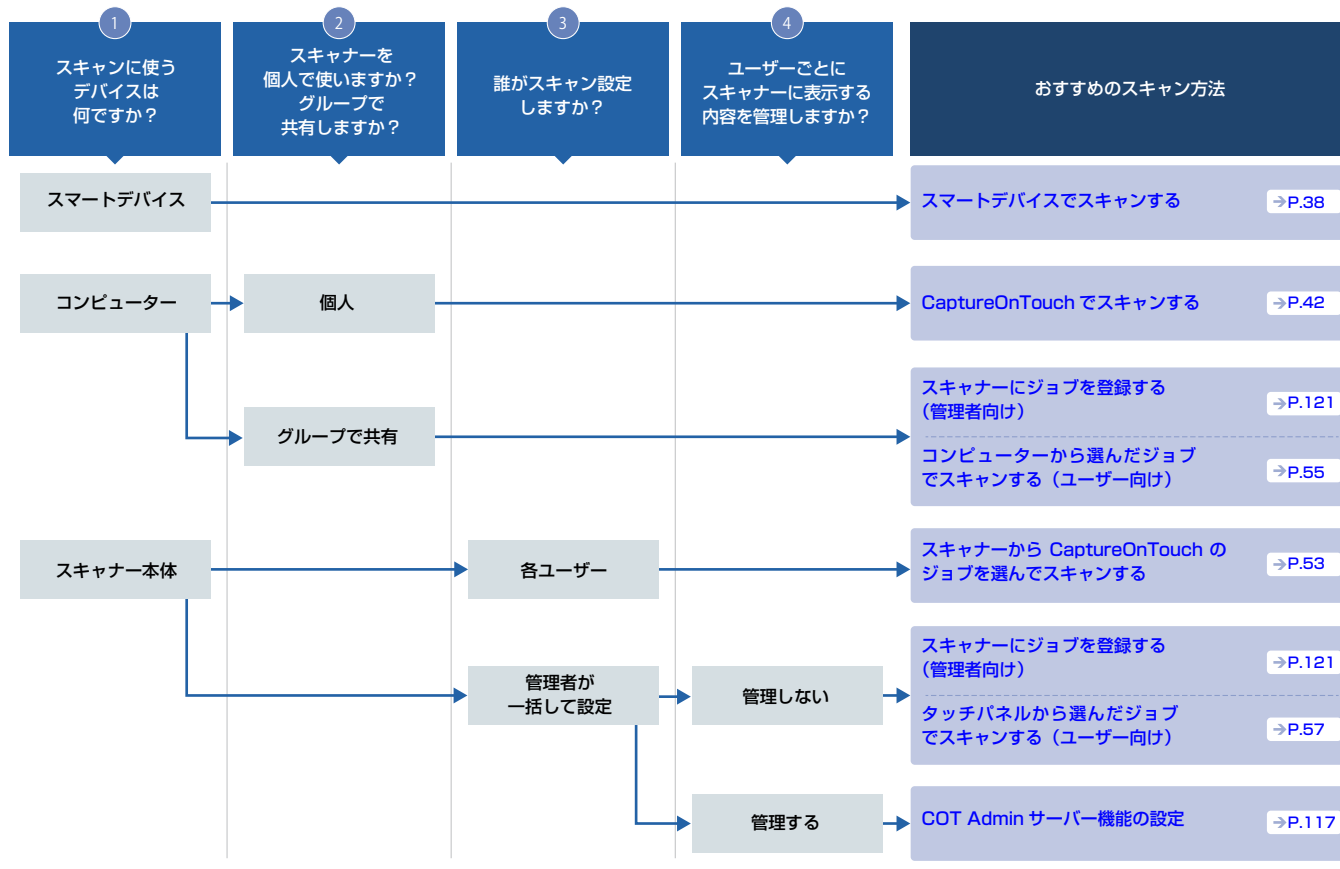
❗ 重要

- キャリアシートやパスポートの状態によっては、画像が欠けたり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。その場合は、スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] の設定を大きな用紙サイズ (A4 など) に指定してスキャンしてください。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

-
- パスポートのサイズがキャリアシートのサイズと大きく異なる場合は、原稿が詰まったり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。
 - パスポートをスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で [解像度] を 300dpi 以下に設定してください。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。
 - スキャンが可能な紙厚は、パスポートをキャリアシートに入れた状態で 4mm 以下です。
4mm を超える原稿は、紙詰まりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
 - キャリアシートに入れるパスポートや冊子の厚み、状態によっては、画像にゆがみが生じる場合があります。
 - キャリアシートは消耗品です。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

スキャンする

本機では様々な方法でスキャンできます。使うデバイスや環境に適したおすすめのスキャン方法をご紹介します。



		← 簡単に使う				→ 管理して使う
スキャン方法		CaptureOnTouch Lite Webでスキャンする → P.39	CaptureOnTouchで スキャンする → P.42	スキャナーから CaptureOnTouchの ジョブを選んでスキャン する → P.53	スキャナーに登録された ジョブでスキャンする → P.55	COT Admin サーバー 機能を使う → P.117
		コンピューターやスマートデバイスでスキャナーと同じネットワークに接続するだけで、ドライバーやアプリをインストールすることなくスキャンできます。	画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできます。	CaptureOnTouch に登録したスキャン設定(ジョブ)をタッチパネルから呼び出してスキャンできます。	あらかじめスキャナーにスキャン設定(ジョブ)を登録しておき、コンピューターやタッチパネルから呼び出してスキャンできます。	サーバーソフトウェアでジョブ/スキャナー/ユーザーの情報を集中管理できます。
特長	スマートデバイスでスキャン	✓				
	コンピューターでスキャン	✓	✓		✓	
	スキャナー本体でスキャン			✓	✓	✓
	グループで共有	✓		✓	✓	✓
	多機能		✓	✓		✓
	しっかり管理				✓	✓

スマートデバイスでスキャンする

スマートデバイスからスキャンするときは、Web メニューから CaptureOnTouch Lite Web 機能でスキャンします。スキャナードライバーやソフトウェアをインストールすることなく、すぐにスキャンを開始できます。

重要

スマートデバイスとスキャナーは同じネットワーク上にある必要があります。

Web メニューを表示する

Web メニューは、ウェブブラウザを使って、スキャンやスキャナーの設定、情報表示ができるツールです。

Web メニューからスキャンすることを CaptureOnTouch Lite Web 機能と呼びます。

Web メニューでできるスキャナーの設定については「[設定する](#)」(→ P.62)を参照してください。

タッチパネルの QR コードから表示する

- 1 スキャナーのタッチパネルの [ジョブの選択] 画面で、[COT Lite Web] をタップします。



QR コードが表示されます。

- 2 スマートデバイスで QR コードを読み取ります。
Web メニューが表示されます。

ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力して表示する

- 1 スマートデバイスでウェブブラウザを起動します。
- 2 ウェブブラウザのアドレス欄に本機の IP アドレスを入力します。
Web メニューが表示されます。

ヒント

コンピューターをお使いの場合は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールから Web メニューを表示することもできます。(→ P.141)

CaptureOnTouch Lite Web でスキャンする

CaptureOnTouch Lite Web で原稿をスキャンし保存するまでの手順を説明します。

詳細な設定については Web メニューのヘルプを参照してください。

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
- 2 Web メニューを表示します。(→ P.38)
- 3 [CaptureOnTouch Lite Web] をクリックします。
パスワードの入力を求められた場合は、パスワードを入力します。パスワードを使用するかどうかは「[CaptureOnTouch Lite Web の設定をする (Web メニューのみ)]」(→ P.116) を参照してください。



4 [スキャンモード] を設定します。



カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

カラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

スキャンする原稿の用紙サイズを指定します。

[自動] を選択すると、原稿のサイズを検出してスキャンします。

解像度

スキャンの解像度を指定します。単位は dpi です。

読取面

白紙をスキップする	原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。
片面	原稿を片面のみスキャンします。
両面	原稿の両面をスキャンします。

重送検知

重送検知機能の ON / OFF を設定します。

パスポートモード

パスポートをスキャンするときに適した設定でスキャンします。

ON にすると、[重送検知] は OFF になります。

5 [出力モード] をクリックし、[出力モード] を設定します。

出力モード

ファイル形式
PDF

画質
3

複数ページ
全てのページ

OCR付加

OCR言語
英語

ファイルをZIPする

ファイルが2つ以上になる場合は、本設定に関わらずZIPします。

ZIPファイルにパスワードを付ける

パスワード

ファイル形式

保存するスキャン画像のファイル形式を指定します。

画質

画質を 1 から 4 の 4 段階で設定できます。

「1 (高圧縮)」にすると圧縮率が最も高くなり、スキャン画像のファイルサイズを小さくできますが、スキャン画像の画質が低下します。

「4 (高画質)」にすると圧縮率が最も低くなり、画質の低下を抑えることができます。

💡 ヒント

[スキャンモード] の [カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] の場合に有効です。

複数ページ

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

全てのページ	原稿のすべてのページを 1 つのファイルに保存しません。
1 つのページ	1 ページごとに 1 つのファイルに保存します。

💡 ヒント

[ファイル形式] が [PDF] または [TIFF] の場合に有効です。

OCR 付加

ON にすると、スキャン画像のテキスト部分が認識され、テキストデータが付加された状態で保存されます。

💡 ヒント

[ファイル形式] が [PDF] の場合に有効です。

OCR 言語

[OCR 付加] で認識する言語を設定します。

💡 ヒント

[ファイル形式] が [PDF] で [OCR 付加] を ON にした場合に有効です。

ファイルを ZIP する

OFF にすると、指定したファイル形式で保存されます。

💡 ヒント

[複数ページ] が [全てのページ] の場合に有効です。

ZIP ファイルにパスワードを付ける

ZIP ファイルに付けるパスワード設定の ON / OFF を設定します。

パスワード

ZIP ファイルに付けるパスワードを設定します。

6 「スキャンする」をクリックします。

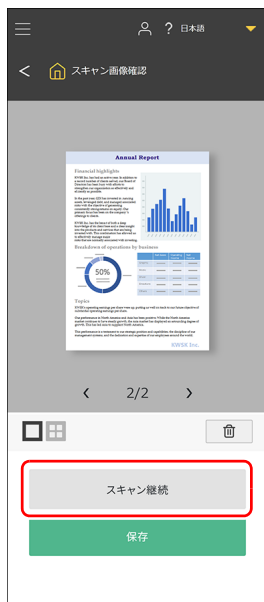
スキャンが開始されます。

スキャンが終わると、「スキャン画像確認」画面が表示されます。



ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから「スキャン継続」をクリックします。原稿のスキャンが開始されます。



7 スキャン画像を確認したら、「保存」をクリックします。



スキャンした画像ファイルは、スマートデバイス内に保存されます。
出力モードの設定により、スキャンした画像ファイルの保存形式は異なります。

スキャンした画像について

スマートデバイスに保存された画像は、スマートデバイスの機能やアプリを使って、オンラインストレージに移動させたり、クラウドサービスで活用したりできます。詳細はスマートデバイスの取扱説明書をご覧ください。

CaptureOnTouch でスキャンする

CaptureOnTouch は、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。目的や用途に応じて使い分けられることが可能な複数のスキャン方法が用意されています。



3 ステップスキャン

スキャンしたい原稿の種類と、スキャン画像の用途に応じた出力先のパネルを選んでスキャンします。

お気に入りスキャン


よく使う原稿の種類と出力先を組み合わせしてお気に入りの追加しておく、パネルをクリックするだけでスキャンから出力までが完了します。同じ設定を繰り返し使用する場合に便利です。

CaptureOnTouch の起動と終了

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。

Windows




タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を開く] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

ヒント

スタートメニューからも起動できます。[スタート] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V5 Pro] (Windows 10 32bit の場合は [CaptureOnTouch V4 Pro]) の順にクリックしてください。

Mac




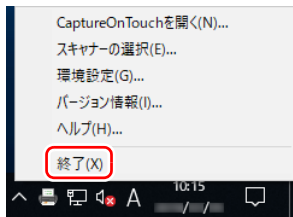
メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を起動する] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

終了するには

Windows

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の × をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。

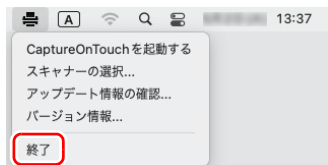


システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

Mac

CaptureOnTouchのメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の●をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouchの常駐を終了するには、メニューバーの☰ (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



再起動するには

システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するときには、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

Windows

[スタート] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V5 Pro] (Windows10 32bitの場合は [CaptureOnTouch V4 Pro]) の順にクリックする

Mac

Finder で [移動] - [アプリケーション] - [CaptureOnTouch] をダブルクリックする

スキャナーの選択

CaptureOnTouch のスキャナー選択方法について説明します。

→ Windows

→ Mac

Windows

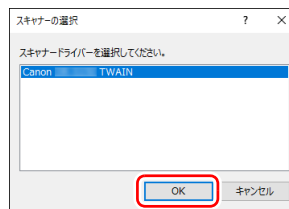
1 タスクバーの☰ (CaptureOnTouch アイコン) をクリックします。



2 メニューの [スキャナーの選択] をクリックします。




3 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



ヒント

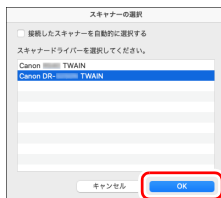
ご利用のスキャナーが表示されないときは、スキャナードライバを再インストールしてください。

Mac

- 1 メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン)をクリックし、表示されるメニューの [スキャナーの選択] をクリックしてください。



- 2 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



画面の説明

CaptureOnTouch のメイン画面には、3 ステップスキャンとお気に入りの2つの領域があります。

各領域は、メイン画面の右上の  で切り替えることができます。



それぞれの領域には、スキャンの種類や出力先に応じたさまざまなパネルが用意されています。

[新規作成] ボタンをクリックすると、新しいパネルが作成されます。

 ヒント

 をクリックすると、ヘルプが表示されます。 [Windows](#)

3 ステップスキャン

操作の流れ：

スキャンモードパネルを選択⇒ 出力先パネルを選択 ⇒ 原稿をスキャン

1 原稿をスキャナーにセットします。

2 [1 スキャンモード]から、スキャンしたい原稿に応じたスキャンモードパネルをクリックします。

選択したスキャンモードパネルがオレンジ色になります。



3 [2 出力先]から、スキャン画像の用途に応じた出力先パネルをクリックします。

選択した出力先パネルがオレンジ色になります。



4 [スキャン] ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。

スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

ヒント

次回もこのスキャンモードと出力先の組み合わせを使用する場合は、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックします。

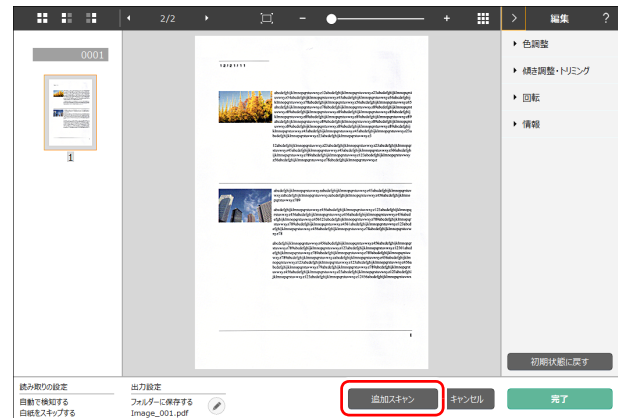
選択したスキャンモードと出力先が、お気に入りパネルとして追加されます。

注意

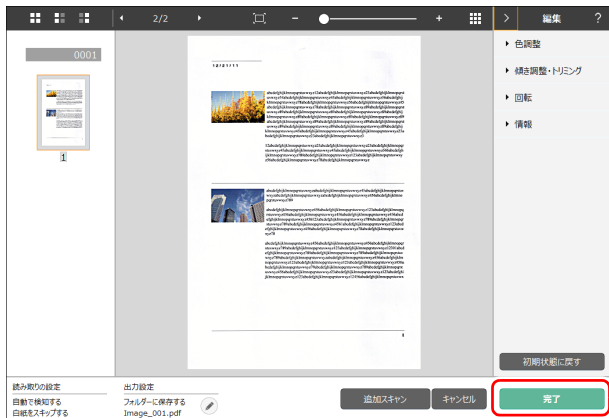
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから[追加スキャン] ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。

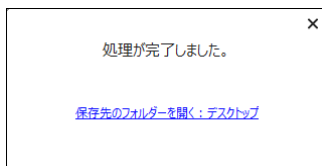


5 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



- ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。これで3ステップスキャンは完了です。



ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。

お気に入りスキャン

操作の流れ：

お気に入りを登録⇒ 原稿をスキャン⇒ 画像出力
よく使うスキャンモードと出力先を組み合わせるとお気に入りに追加すると、お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンができます。

ヒント

登録したお気に入りにジョブを割り当てると、スキャナーのタッチパネルから、その設定でのお気に入りスキャンを実行できます。(→ P.53)

お気に入りの登録と編集

CaptureOnTouch には、お気に入りを複数登録できます。

1 【お気に入り】の【新規作成】ボタンをクリックするか、【3ステップスキャン】でスキャンモードと出力先を選択して【お気に入りへ追加】ボタンをクリックします。

お気に入りパネルが作成されます。



ヒント

[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

- 2 編集ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。



- 3 [スキャンモード] タブをクリックして、スキャンモードの設定を行います。



- 4 [バッチ区切り] タブをクリックして、バッチ区切りの設定を行います。**Windows**



5 [出力先] タブをクリックして、出力先の設定を行います。

スキャンモード バッチ区切り 出力先 1 インデックス 1 オプション 全般

出力設定

出力方法の選択(B): フォルダーに保存する
詳細設定(I)...

ファイル名 / フォルダー名(G): Image_
詳細設定(A)...

ファイル形式(Y): PDF (*.pdf)
詳細設定(W)...

保存場所(L): ピクチャ
詳細設定(E)...

全般

アイコン

アイコンを変更する(C)
設定(E)...

? 閉じる

6 [インデックス] タブをクリックして、インデックスファイルの設定を行います。Windows

スキャンモード バッチ区切り 出力先 1 インデックス 1 オプション 全般

インデックス設定

ページインデックス: 出力する(E)
出力設定(P)...

ドキュメントインデックス: 出力する(Q)
出力設定(G)...

バーコード / OCR設定: 領域の設定(Z)...

? 閉じる

7 【オプション】 タブをクリックすると、オプション設定が行えます。

スキャンモード バッチ区切り 出力先 1 インデックス 1 オプション 全般

オプション

スキャン後に編集を行う 有効(I)

追加スキャンを有効にする 有効(D)

スキャン時にファイル出力する 有効(E)

ジョブの割り当て(B): No. 2

出力の順番(L)

+ × ↑ ↓

フォルダーに保存する

閉じる

【スキャン後に編集を行う】

チェックを付けると、スキャン後にスキャン編集画面で画像の編集ができます。チェックを外すと、スキャン編集画面で編集ウィンドウが表示されません。

【追加スキャンを有効にする】

チェックを付けると、スキャン編集画面に [追加スキャン] ボタンが表示され、継続してスキャンを行うことができます。

【ジョブの割り当て】

お気に入りをジョブに割り当てることができます。

ジョブの割り当てを行うと、お気に入りパネルに割り当てたジョブ番号のアイコンが表示されます。



【出力の順番】

出力先の追加と削除、順番の変更ができます。

8 【全般】 タブをクリックすると、その他の設定が行えます。

スキャンモード バッチ区切り 出力先 1 インデックス 1 オプション 全般

全般

名前(N): フォルダーに保存する

閉じる

【名前】

お気に入りパネルの名前を入力できます。

お気に入りを選択してスキャンする

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
- 2 お気に入りパネルをクリックします。



原稿がスキャンされます。

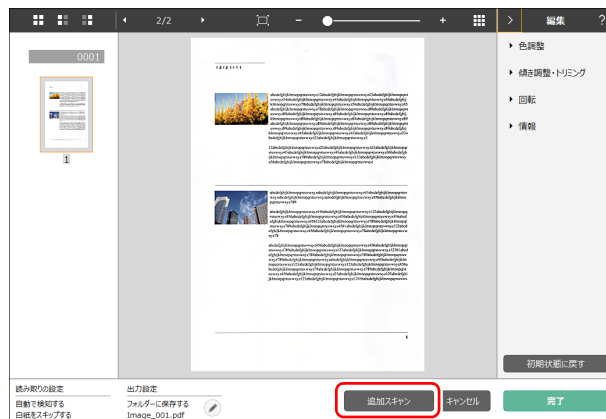
スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

⚠ 注意

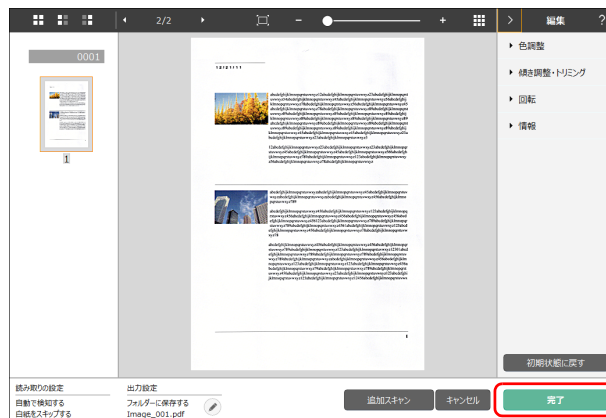
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

💡 ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから「追加スキャン」ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。お気に入りスキャンの設定で、「追加スキャンを有効にする」のチェックを外した場合は、「追加スキャン」ボタンは表示されません。



- 3 スキャン画像を確認したら、「完了」ボタンをクリックします。

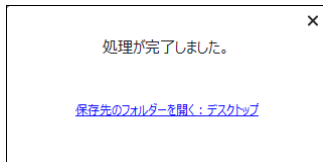


ヒント

お気に入りスキャンの設定で、[スキャン後に編集を行う] を無効にした場合、または [スキャン時にファイル出力する] を有効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

🗖 ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。
これでお気に入りスキャンは完了です。



ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。

スキャナーから CaptureOnTouch のジョブを選んでスキャンする

よく使うスキャン方法を CaptureOnTouch のお気に入り登録してジョブ番号を割り当てると、スキャナーのタッチパネルからジョブ番号を選んでスキャンできます。

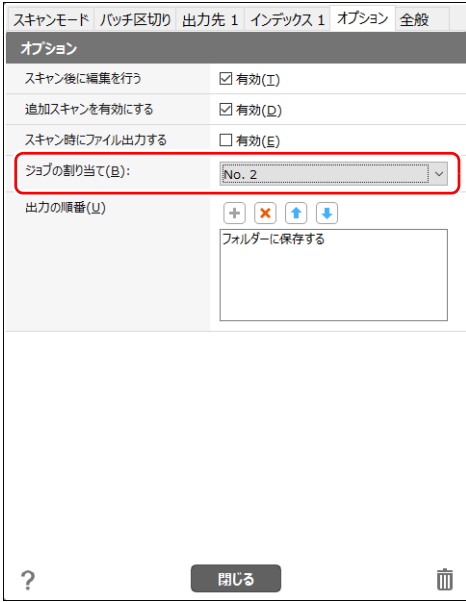
ヒント

CaptureOnTouch の環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] にチェックを付けている場合、タッチパネルからスキャンを開始したときに CaptureOnTouch のメイン画面は表示されません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面のみ表示されます。また、お気に入りパネル編集ダイアログの [スキャン後に編集を行う] と [追加スキャンを有効にする] は無効になります。

CaptureOnTouch でジョブを作成する

- 1 「お気に入りの登録と編集」(→ P.47) を参照して、お気に入りパネルを作成します。

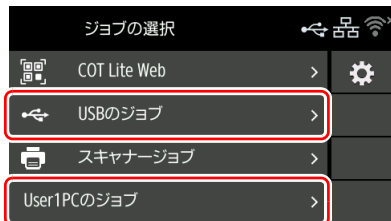
- 2 [オプション] タブの [ジョブの割り当て] でジョブ番号を設定します。



The screenshot shows the 'Options' tab in the software interface. The 'Job Assignment (J):' dropdown menu is highlighted with a red box and set to 'No. 2'. Other options include 'Scan after editing' (checked), 'Enable additional scan' (checked), and 'Scan and output file' (unchecked). The 'Output Order (O)' section has buttons for adding, deleting, and reordering items, and a checkbox for 'Save to folder'.

スキャナーからジョブを選ぶ

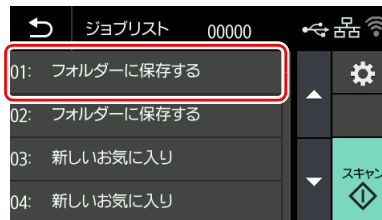
- 1 スキャナーのタッチパネルの [ジョブの選択] 画面で、USB 接続時は [USB のジョブ] を、ネットワーク接続時は [<コンピューター名> のジョブ] をタップします。




コンピューターのCaptureOnTouchに登録されているジョブが表示されます。

COT Lite Web	スマートデバイスを使って Web メニューからスキャンするときに選択します。 [CaptureOnTouch Lite Web でスキャンする] (→ P.39) を参照してください。
USB のジョブ	スキャナーと USB 接続されたコンピューターの CaptureOnTouch に登録されているジョブを使うときに選択します。
スキャナージョブ	スキャナー本体に登録されているジョブを使うときに選択します。「スキャナーに登録されたジョブでスキャンする (ユーザー向け)」 (→ P.55) を参照してください。
<コンピューター名> のジョブ	スキャナーと有線 LAN 接続または Wi-Fi 接続されたコンピューターの CaptureOnTouch に登録されているジョブを使うときに選択します。

- 2 実行したいジョブをタップします。



- 3  (スキャン) をタップします。

スキャンが開始されます。

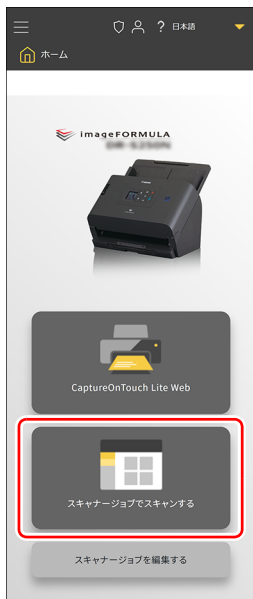
スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容がタッチパネルに表示されます。

スキャナーに登録されたジョブでスキャンする（ユーザー向け）

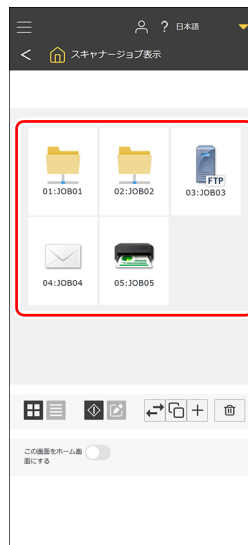
あらかじめスキャナーに登録しておいたジョブを、コンピューターやタッチパネルから呼び出してスキャンできます。スキャナーへジョブを登録する方法は、「スキャナーにジョブを登録する（管理者向け）」（→P.121）を参照してください。

コンピューターから選んだジョブでスキャンする（ユーザー向け）

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
- 2 Web メニューを表示します。（→P.38）
- 3 [スキャナージョブでスキャンする] をクリックします。



- 4 スキャン画像の用途に応じたジョブをクリックします。
スキャンが開始されます。



【スキャン後の画像確認】を有効に設定したジョブでスキャンした場合に、スキャンが終わると【スキャン画像確認】画面が表示されます。「その他の設定項目」（→P.127）

ヒント

【スキャン後の画像確認】を無効に設定したジョブでスキャンした場合は、スキャンが終わると【スキャン継続確認】画面が表示されます。

- 継続：続けてスキャンします。
- 送信：スキャンを終えて、スキャンした画像を送信します。
- キャンセル：スキャンをキャンセルして、スキャンした画像を破棄します。

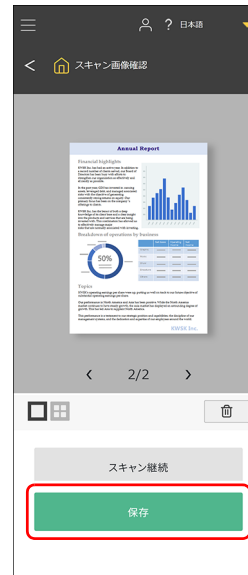
5 スキャン画像を確認します。

ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから【スキャン継続】をクリックします。原稿のスキャンが開始されます。



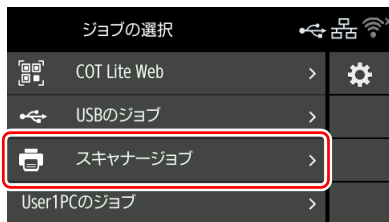
6 スキャン画像を確認したら、【保存】をクリックします。



ジョブの設定でファイルが送信されます。


タッチパネルから選んだジョブでスキャンする (ユーザー向け)

- 1 スキャナーのタッチパネルの [ジョブの選択] 画面で、[スキャナージョブ] をタップします。




- 2 [ジョブリスト] 画面で実行したいジョブをタップします。



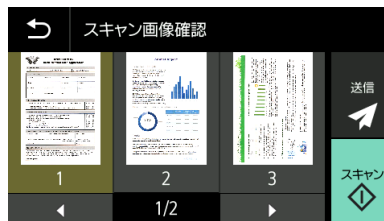
- 3  (スキャン) をタップします。



スキャンが開始されます。

スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容がタッチパネルに表示されます。

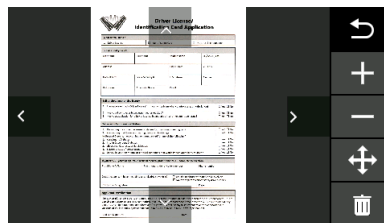
- 4 スキャン画像を確認したら、 をタップします。




[スキャン後の画像確認] を有効に設定したジョブでスキャンした場合に、[スキャン画像確認] 画面が表示されます。[「その他の設定項目」](#)(→P.133)



	ジョブの設定でファイルを送信します。
	同じ設定で、追加でスキャンします。

[スキャン画像確認] 画面で画像をタップすると、拡大表示画面が表示されます。




	画像を拡大します。
	画像を縮小します。
	上下左右に移動するアイコンの表示/非表示を切り替えます。




表示している画像を削除します。

ヒント

ジョブを選択した状態で  (編集) をタップすると、[ジョブ設定] 画面が開きます。ジョブの設定の [カラーモード] / [解像度] / [用紙サイズ] / [読取面] を一時的に変更することができます。

一時的に、普段と異なる原稿をスキャンする際に便利です。

設定したい項目をタップします。

一度スキャンするか、 (戻る) で [ジョブリスト] 画面に戻ると、[ジョブ設定] 画面での設定内容は元に戻ります。

Mopria 対応デバイスでスキャンする

Mopria 対応デバイスの標準アプリケーションでスキャンできます。詳細はお使いのデバイスの取扱説明書を参照してください。



アプリケーションによっては機能が制限されることがあります。

より詳細な設定でスキャンするには

CaptureOnTouchの詳細設定ダイアログボックスや、同梱ソフト以外のソフトウェアでスキャンする場合は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

長尺モードの設定

本機でスキャンすることができる原稿の長さは、標準で 356mm までですが、長尺モードに設定すると最大 5,588mm までの原稿をスキャンすることができます。

重要

長尺モードに設定し、スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] の設定を自動検知にすると、5,588mm までの長さの原稿を検知してスキャンできます。長尺モードに設定したときは、以下の項目に注意してください。

- 長尺原稿をスキャンするときに原稿が傾いてセットされると、本機の給紙部の両端に当たり、原稿が破損することがあります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンすると、紙づまりの検知が遅れて原稿が破損することがあります。紙づまりには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンするときは、必ず給紙切替レバーを非分離給紙に切り替え、1枚ずつスキャンしてください。
- 長尺モードでサイズの大きな原稿をスキャンすると、スキャンに時間がかかることがあります。また、メモリー不足によってエラーが発生し、スキャンできなくなることがあります。
- [長尺モード] で [長尺モード(3000mm)] または [長尺モード(5588mm)] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、[カラーモード] を [カラー]、[読み取り面] を [両面] にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、[カラーモード] を [モノクロ] にしたり、[読み取り面] を [片面] にしてスキャンしてください。

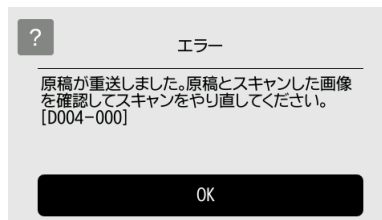
原稿の重送を検知する

本機には原稿の重送を検知する機能があります。この機能を使用すると、複数枚の原稿が同時に給紙されたことが検知された場合に、スキャン動作が自動的に停止します。また、スキャンし終わった原稿のスキャン画像を保存してスキャンを継続するかどうかを指定できます (継続モード)。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

重送が検知されたときの操作

継続モードを使用しない場合

スキャン時に原稿の重送が検知された場合、重送された原稿が排紙されたところで原稿の給紙が停止します。このとき、タッチパネルに次のエラーが表示されます。



また、重送が検知されたことを知らせるメッセージ画面が表示されます。



この場合は、アプリケーションでスキャンを中止してから、原稿をスキャンし直してください。

継続モードを使用する場合

スキャン時に原稿の重送が検知された場合、重送された原稿が排紙されたところで原稿の給紙が停止します。タッチパネルに次のメッセージが表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。



また、[継続モード] 画面が表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。

Windows



【継続モード】画面のボタン	説明
【保存して継続】	プレビュー表示されている画像をスキャン画像として保存し、残りの原稿をスキャンします。
【ストップ】	プレビュー表示されている画像を破棄してスキャンを中止します。
【破棄して継続】	プレビュー表示されている画像を破棄してスキャンを継続します。このボタンをクリックする前に、重送した原稿をセットし直してください。

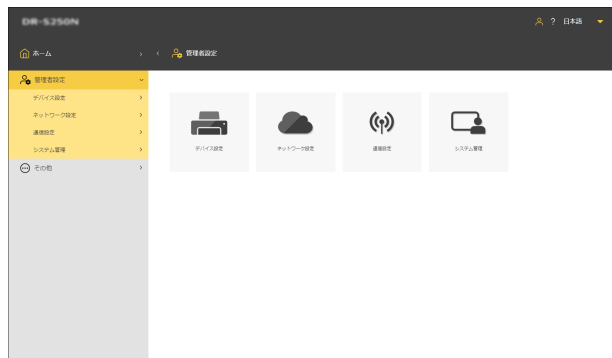
設定する

本機の詳細な設定は、ウェブブラウザで表示する Web メニューと、タッチパネルの設定メニューでできます。

メニュー項目から探したいときは → 「Web メニュー一覧」 (P.66) / 「設定メニュー一覧」 (P.67)

目的から探したいときは → 「目的別の設定一覧」 (P.68)

Web メニュー



設定メニュー



! 重要

推奨するウェブブラウザは下記のとおりです。

Windows	Microsoft Edge 最新版
	Firefox 最新版
	Chrome 最新版
macOS	Safari 最新版
Android	Chrome 最新版
iOS	Safari 最新版






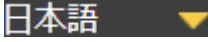
Web メニューの操作方法

Web メニューを表示するには、「Web メニューを表示する」(→ P.38) を参照してください。

画面の説明



	スキャンします。(→ P.39)
	コンピューターからジョブを選んでスキャンします。(→ P.55)
	スキャナーに登録するジョブを編集する画面を表示します。(→ P.121)

 (https 接続時)  (http 接続時)	Web メニューとの通信方式を表示します。http 接続時にクリックすると、https 接続に切り替えます。よりセキュアな通信をしたい場合は、https 接続に切り替えてください。環境によっては、https 接続に切り替えるとうェブブラウザに警告が表示される場合があります。「SSL サーバー証明書をインストールする (Web メニューのみ)」(→ P.113) を参照してください。
 (管理者としてログイン時)  (一般ユーザーとしてログイン時)	ログイン状態を表示します。管理者としてログインするには、管理者パスワードが必要です。
	ヘルプを表示します。
	画面の表示言語を設定します。以下の 15 言語に対応しています。英語 / ドイツ語 / フランス語 / イタリア語 / スペイン語 / 日本語 / オランダ語 / 簡体字中国語 / 繁体字中国語 / ロシア語 / 韓国語 / トルコ語 / ポルトガル語 / タイ語 / ベトナム語

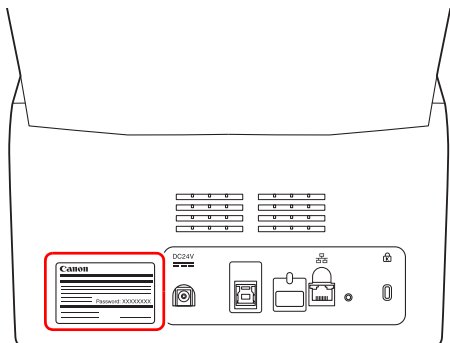
管理者設定を表示する

1 「管理者設定」をクリックします。



2 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時の管理者パスワードは、本機に貼られているラベルに書かれています。

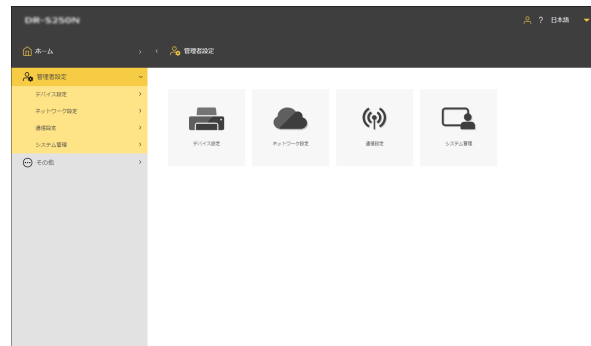


! 重要


セキュリティを確保するために、管理者パスワードは工場出荷時のままにせず変更することをお勧めします。「[管理者パスワードを設定する](#)」(→ P.114) を参照してください。

3 [OK] をクリックします。

[管理者設定] 画面が表示されます。



設定メニューの操作方法

- 1 スキャナーのタッチパネルのホーム画面で (設定) をタップします。
設定メニューが表示されます。



- 2 変更したい設定メニューをタップします。

重要

管理者による設定によっては、設定を変更するために管理者パスワードが必要な場合があります。

- 3 各項目をタップして設定内容を確認／変更します。

ヒント

▲▼ボタンが表示されている画面では、タップすることで画面をスクロールすることができます。

Web メニュー一覧

管理者設定

デバイス設定

言語 / タイムゾーン	P.69 P.70 P.71
明るさ	P.72
ジョブ表示	P.73
ローラー使用枚数	P.74 P.75
現在のスキャン枚数	P.76
日付 / 時刻	P.77
電源管理	P.80
SNMP	P.99
mDNS	P.98
PIN	P.110
サーバー証明書	P.113
スキャナー名	P.81
ブザー	P.82

ネットワーク設定

IPv4	P.93
接続切替	P.97

通信設定

COT Admin サーバー	P.117
メールサーバー	P.104
SFTP サーバー	P.105

システム管理

設定の保存	P.85
設定の読み込み	P.85
機能制限	P.86
アイコン管理	P.87
ログ出力設定	P.89
バージョンアップ	P.88
管理者パスワード	P.114
ルート証明書	P.105
アクセスレベル	P.88
初期化	P.83
UI カスタマイズ SDK	P.115
CaptureOnTouch Lite Web	P.116
ホーム画面	P.89

その他

デバイス情報	P.91
ネットワーク情報	P.108
バージョン情報	P.92

設定メニュー一覧

スキャン設定

重送検知	P.90
パスポート	P.90

デバイス設定

デバイス情報	P.91
言語	P.69
日付 / 時刻	—
日付 / 時刻設定	P.77
タイムゾーン	P.70
日付表示形式	P.78
NTP 設定	P.79
サマータイム設定	P.71
明るさ設定	P.72
電源管理	P.80
メンテナンス	—
ローラーカウンター	P.74 P.76
ローラーの交換	P.75
セキュリティ	—
PIN コード設定	P.110
管理者パスワード設定	P.114
スキャナー名設定	P.81
機能制限	P.86
ブザー	P.82
mDNS	P.98
初期化	P.83

ネットワーク設定

接続切替	P.97
ネットワーク情報	P.108
IP アドレス設定	—
IPv4	P.93
Wi-Fi 設定	—
接続方法を選択	P.103
現在の SSID	P.104
COT Admin 設定	—
サーバー設定	P.117 P.119 P.120
接続テスト	P.117
接続テスト	P.109

ジョブの表示方法

スキャナーに登録したジョブの表示方法を設定します。→ P.73

COT Lite Web

タッチパネルに QR コードを表示します。読み取ることで CaptureOnTouch Lite Web 機能が使えます。

バージョン情報

本機のファームウェアなどのバージョンを表示します。

ヘルプ

スキャンの方法、エラー処理の方法、メンテナンスの方法について、ヘルプを表示します。

目的別の設定一覧

スキャナー本体の設定

表示する言語を設定したい	P.69
地域を設定したい	P.70
タッチパネルの明るさを設定したい	P.72
ジョブの表示方法を設定したい	P.73
ローラーカウントを確認したい／リセットしたい	P.74
ローラー交換の時期を設定したい	P.75
スキャン枚数を確認したい／リセットしたい	P.76
日時を設定したい	P.77
自動で電源が切れる設定にしたい	P.80
スキャナーの名前を設定したい	P.81
ブザーを設定したい	P.82
すべての設定を初期化したい	P.83
工場出荷状態に戻したい	P.84
設定をバックアップしたい	P.85
バックアップした設定を読み込みたい	P.85
機能を制限したい	P.86
アイコンを変更したい	P.87
本機をバージョンアップしたい	P.88
一般ユーザーが変更できる内容を制限したい	P.88
スキャナーのログを取得したい	P.89
ホーム画面の表示内容を設定したい	P.89
一時的に重送検知を無効にしたい	P.90
一時的にパスポートモードにしたい	P.90
本機の情報を表示したい	P.91

ネットワークの設定

IP アドレスを設定したい	P.93
ネットワークの接続方法を切り替えたい	P.97
ネットワーク経由で本機を検索したい(mDNSを有効にしたい)	P.98
SNMP を使った管理をしたい	P.99
Wi-Fi を設定したい	P.103
接続中の SSID を確認したい	P.104
画像をメールで送信できるようにしたい (メールサーバーを設定したい)	P.104
SFTP 接続のセキュリティーを高めたい (秘密鍵を設定したい)	P.105
ルート証明書を管理したい	P.105
ネットワーク情報を表示したい	P.108

セキュリティーの設定

ログインするときに PIN を使いたい	P.110
SSL サーバー証明書をインストールしたい	P.113
管理者パスワードを設定したい	P.114

Web メニューの設定

スキャナーのタッチパネルに表示する内容を変更したい	P.115
CaptureOnTouch Lite Web の設定をしたい	P.116

COT Admin サーバー機能の設定 → P.117

スキャナーにジョブを登録する → P.121

スキャナー本体の設定

スキャナー本体に関する設定をします。

ヒント

- Web メニューの操作方法 → [「Web メニューの操作方法」\(P.63\)](#)
- 設定メニューの操作方法 → [「設定メニューの操作方法」\(P.65\)](#)

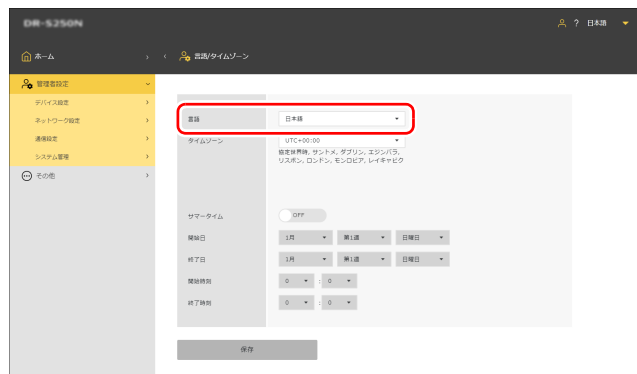
表示する言語を設定する

スキャナーのタッチパネルに表示する言語を設定します。

設定値

英語 (English) / 日本語 / ドイツ語 (Deutsch) / フランス語 (Français) / イタリア語 (Italiano) / スペイン語 (Español) / オランダ語 (Nederlands) / 簡体字中国語 (简体中文) / 繁体字中国語 (繁體中文) / ロシア語 (Русский) / 韓国語 (한국어) / トルコ語 (Türkçe) / ポルトガル語 (Português)

管理者設定 > デバイス設定 > 言語 / タイムゾーン



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > 言語



地域を設定する

本機をお使いになる地域にあわせて設定します。

タイムゾーンを設定する

お使いになる地域に合わせて、タイムゾーンを設定します。



重要

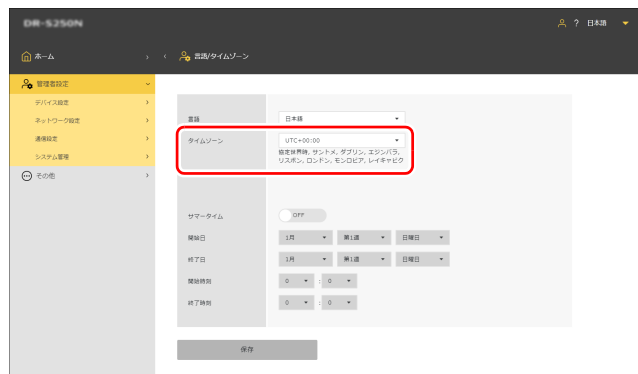
タイムゾーンが正しく設定されていないと、通信が正常に行えなくなる場合があります。

設定値

UTC -12:00 から UTC +14:00 まで

00分 / 15分 / 30分 / 45分

管理者設定 > デバイス設定 > 言語 / タイムゾーン



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

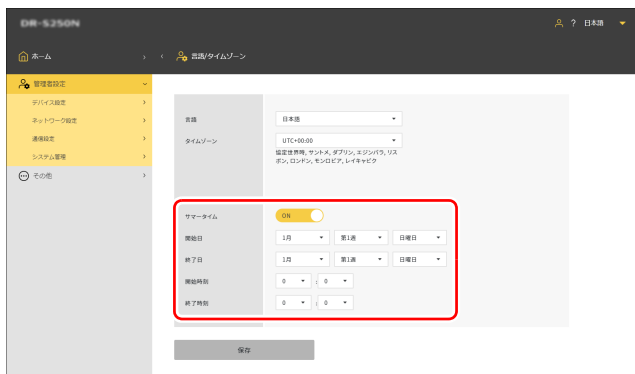
設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > 日付 / 時刻設定 > タイムゾーン



サマータイムを設定する

お使いになる地域に合わせて、サマータイムを設定します。

管理者設定 > デバイス設定 > 言語 / タイムゾーン



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > サマータイム設定 > サマータイム



設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > サマータイム設定 > 期間の設定

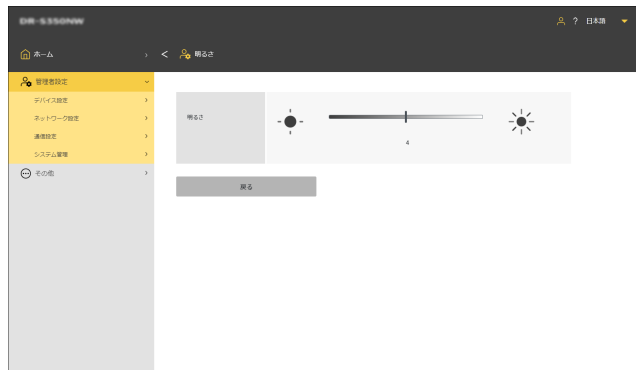


明るさを設定する

スキャナーのタッチパネルの明るさを設定します。

管理者設定 > デバイス設定 > 明るさ

スライダーを左右に動かすと、タッチパネルの明るさが変わります。



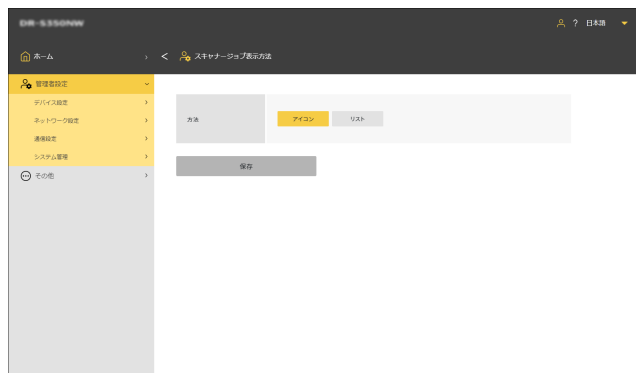
設定メニュー > デバイス設定 > 明るさ



ジョブの表示方法を設定する

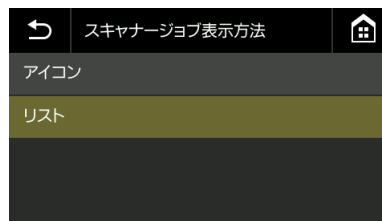
スキャナーに登録したジョブの表示方法を設定します。

管理者設定 > デバイス設定 > スキャナージョブ表示方法



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ジョブ設定 > スキャナージョブ表示方法

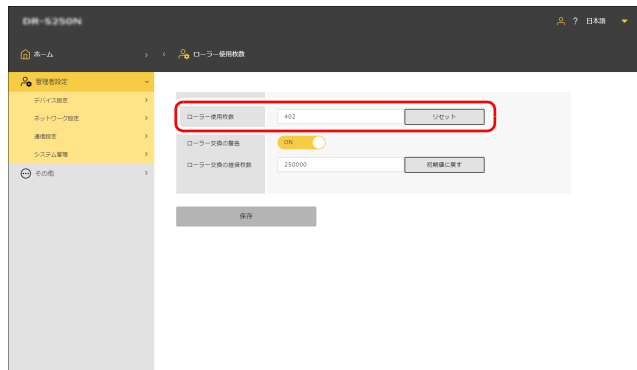


ローラー使用枚数を確認する／リセットする

スキャナーの搬送枚数（スキャナーで給紙した原稿の総ページ数）を確認します。また、ローラーを交換したときは、カウンターをリセットしてください。

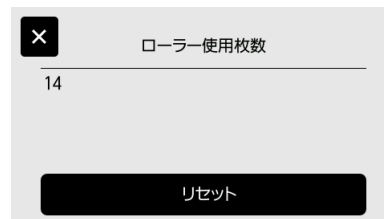
管理者設定 > デバイス設定 > ローラー使用枚数

【リセット】をクリックすると、カウントがリセットされます。



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > メンテナンス > ローラーカウンター > ローラー使用枚数



ローラー交換の時期を設定する

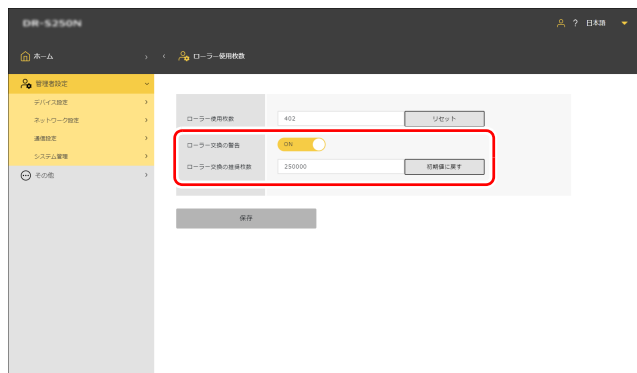
ローラーの交換時期がきたときに警告を表示するかどうか、および交換時期の目安となるスキャン枚数を設定します。

管理者設定 > デバイス設定 > ローラー使用枚数

【初期値に戻す】をクリックすると、ローラー交換の推奨枚数が工場出荷値にリセットされます。

ヒント

ローラー交換の推奨枚数は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールでも変更できます。(→ P.141)



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > メンテナンス > ローラーの交換 > 交換推奨時期の通知



設定メニュー > デバイス設定 > メンテナンス > ローラーの交換 > 推奨枚数の設定 > 値の変更

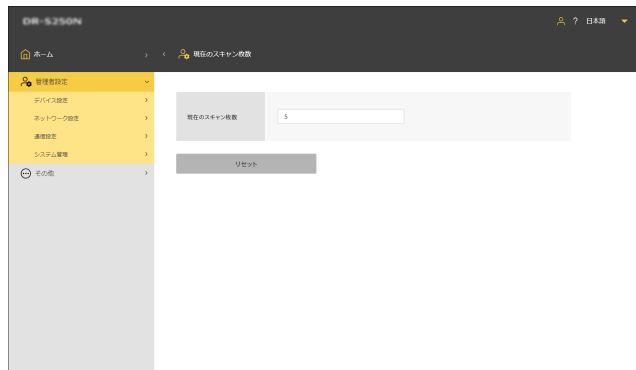


スキャン枚数を確認する／リセットする

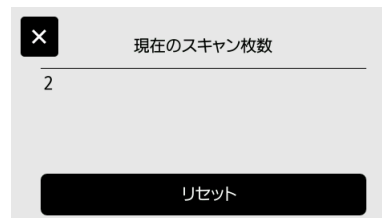
スキャンした枚数を確認／リセットします。

管理者設定 > デバイス設定 > 現在のスキャン枚数

[リセット] をクリックすると、カウントがリセットされます。



設定メニュー > デバイス設定 > メンテナンス > ローラーカウンター > 現在のスキャン枚数

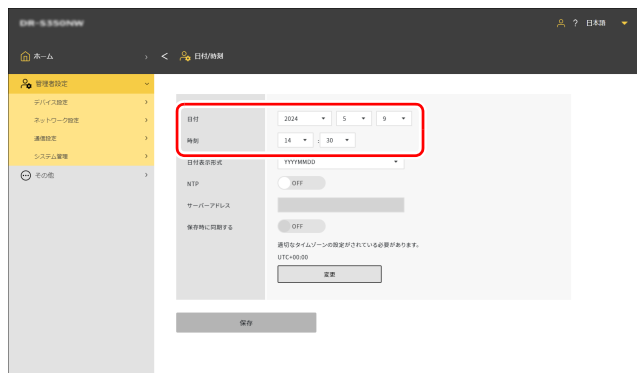


日時を設定する

スキャナーの日付／時刻を設定します。

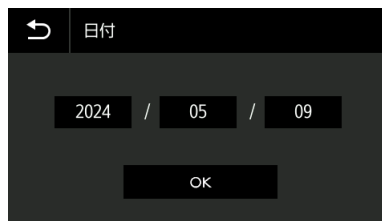
日付／時刻を設定する

管理者設定 > デバイス設定 > 日付 / 時刻



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > 日付 / 時刻設定 > 日付



設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > 日付 / 時刻設定 > 時刻

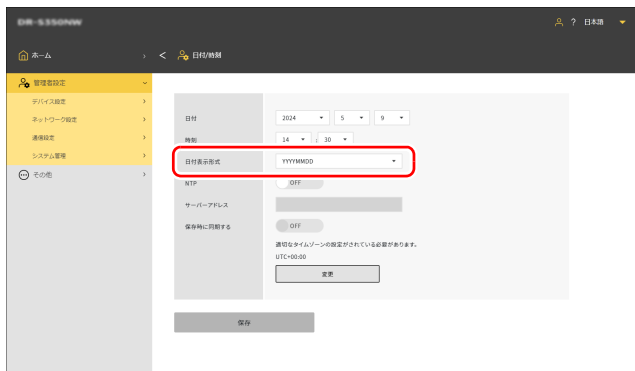


日付／時刻の表示形式を設定する

設定値

YYYYMMDD / MMDDYYYY / DDMMYYYY

管理者設定 > デバイス設定 > 日付 / 時刻



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

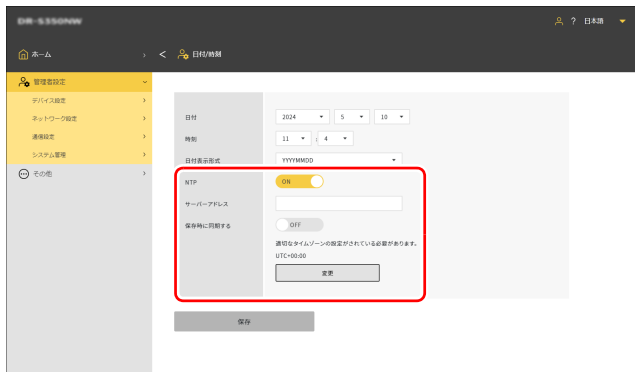
設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > 日付表示形式



NTP サーバーを設定する

スキャナーがインターネットと接続されている場合は、NTP サーバーと同期するように設定できます。

管理者設定 > デバイス設定 > 日付 / 時刻



NTP

NTP 機能の有効／無効を設定します。

サーバーアドレス

NTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

保存時に同期する

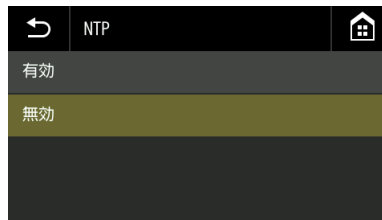
ON にすると、保存すると同時に同期を開始します。

変更

クリックすると、[言語 / タイムゾーン] 画面 (→ P.70) に移動します。

[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > NTP 設定 > NTP



設定メニュー > デバイス設定 > 日付 / 時刻 > NTP 設定 > NTP サーバー

NTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

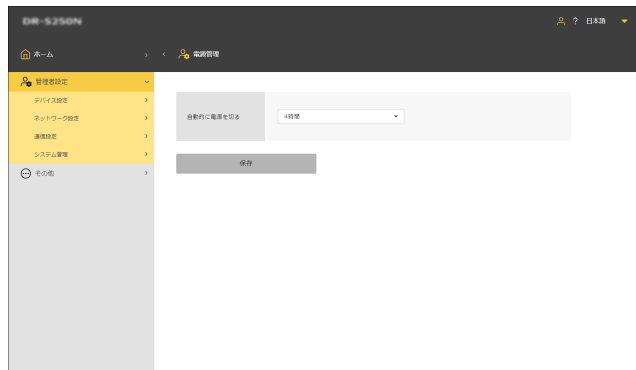


自動で電源が切れる設定にする

自動電源オフ機能を設定します。

有効にすると、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に本機の電源を切ります。

管理者設定 > デバイス設定 > 電源管理



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

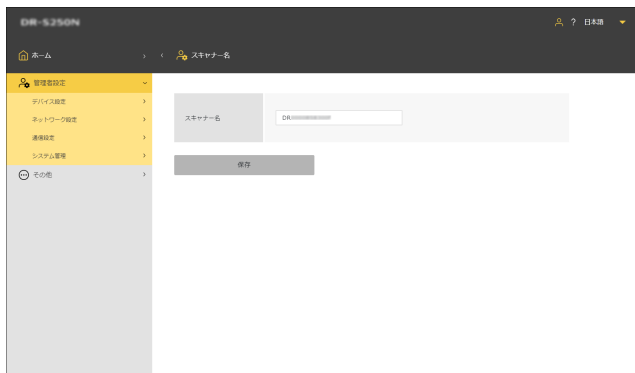
設定メニュー > デバイス設定 > 電源管理 > 自動電源オフ



スキャナーの名前を設定する

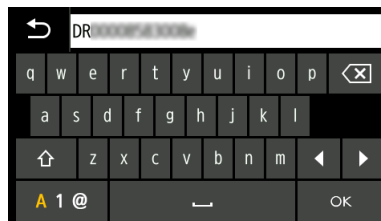
最大半角 15 文字で設定します。英大文字、英小文字、数字、- (ハイフン) が使用できます。

管理者設定 > デバイス設定 > スキャナー名



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > セキュリティ > スキャナー名設定



ブザーを設定する

スキャナーのブザー音を鳴らすタイミングを設定します。

設定値

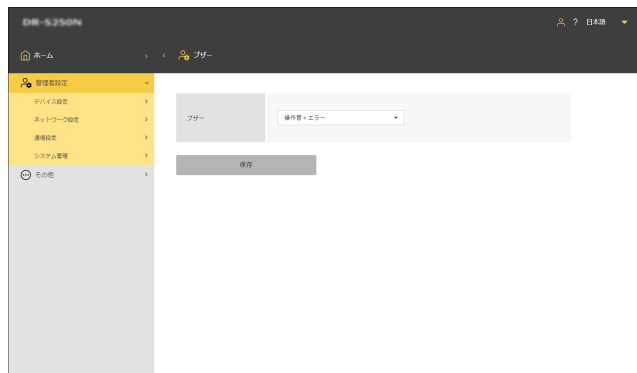
エラー	エラーが発生したときにのみブザー音を鳴らします。
操作音 + エラー	エラーが発生したときと、タッチパネルのボタンを押したときにブザー音を鳴らします。



ヒント

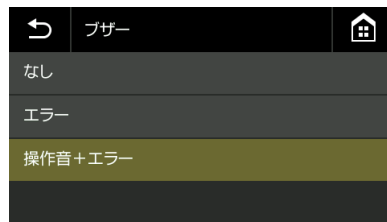
ブザーの音量は変更できません。

管理者設定 > デバイス設定 > ブザー



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

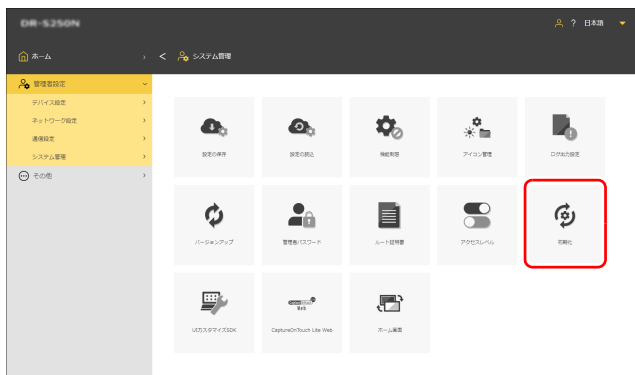
設定メニュー > デバイス設定 > ブザー



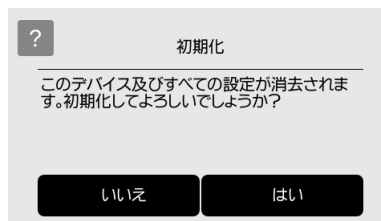
すべての設定を初期化する

スキャナーのすべての設定を初期化します。

管理者設定 > システム管理



設定メニュー > デバイス設定 > 初期化



- 1 [初期化] をクリックします。
- 2 確認メッセージを確認し、[OK] をクリックします。
すべての設定が初期化されます。

工場出荷状態に戻す (ファクトリーリセットする)

ファクトリーリセットすると、スキャナーの設定を初期化するだけでなく、ファームウェアのバージョンも工場出荷状態に戻すことができます。

- 1** 本機の電源を切ります (→ P.25)。
- 2** ファクトリーリセットボタン (→ P.20) を押しながら、電源ボタンを押して電源を入れます。
- 3** 電源ボタンが点滅 (高速) したら、ファクトリーリセットボタンから手を放します。
スキャナーが何回か再起動した後、電源ボタンが点灯したら、ファクトリーリセットは完了です。



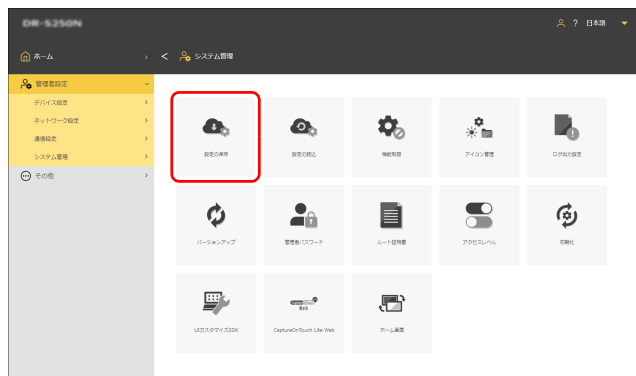
重要

ファクトリーリセット中は本機の電源を切らないでください。

設定をバックアップする (Web メニューのみ)

スキャナーの設定をコンピューターにバックアップします。バックアップした設定は読み込み直すことができます。「バックアップした設定を読み込む (Web メニューのみ)」(→ P.85)

管理者設定 > システム管理

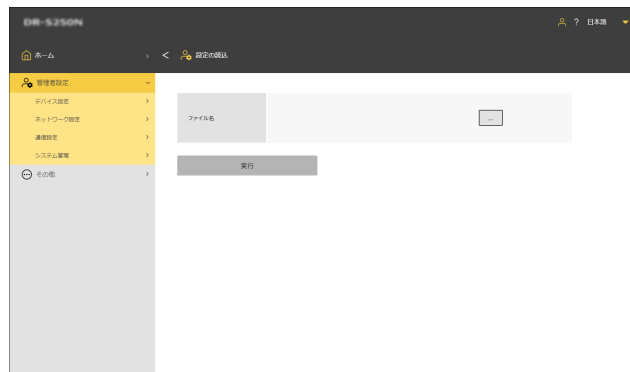


- 1 「設定の保存」をクリックします。
バックアップファイルがコンピューターに保存されます。

バックアップした設定を読み込む (Web メニューのみ)

コンピューターにバックアップした設定を読み込みます。設定はバックアップした内容で上書きされます。「設定をバックアップする (Web メニューのみ)」(→ P.85)

管理者設定 > システム管理 > 設定の読み込み



- 1 [...] をクリックし、ファイル選択ダイアログでバックアップファイルを指定します。
設定がバックアップファイルの内容で上書きされます。
上書きが完了すると、スキャナーが自動的に再起動します。

機能を制限する

スキャナーの一部の機能を使用できなくします。
OFF にすると、機能が使用できなくなります。
設定を変更すると、スキャナーが再起動します。

重要

- [Wi-Fi] [有線 LAN] [USB] をすべてオフにした場合は、警告画面が表示され設定内容が反映されません。
- [Wi-Fi] [有線 LAN] の両方をオフにした場合は、Web メニューにアクセスできなくなります。Web メニューにアクセスしたい場合は、設定メニューで [Wi-Fi] [LAN ケーブル] のいずれかをオンにしてください。

Wi-Fi

Wi-Fi 接続を使用できなくします。

有線 LAN

有線 LAN 接続を使用できなくします。

USB

USB 接続を使用できなくします。

CaptureOnTouch Lite Web

CaptureOnTouch Lite Web 機能を使用できなくします。
CaptureOnTouch Lite Web の詳細は「[CaptureOnTouch Lite Web でスキャンする](#)」(→ P.39) を参照してください。

Mopria スキャン

Mopria スキャン機能を使用できなくします。
Mopria スキャンの詳細は「[Mopria 対応デバイスでスキャンする](#)」(→ P.59) を参照してください。

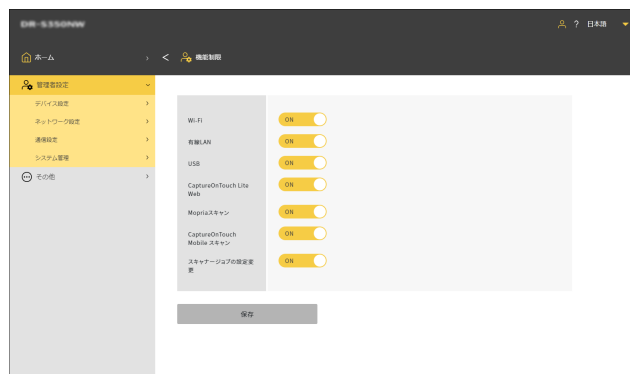
CaptureOnTouch Mobile スキャン

モバイルアプリ「CaptureOnTouch Mobile」を使用できなくします。

スキャナージョブの設定変更

オフの場合は、スキャナーに登録されたジョブでスキャンする際に、一時的にジョブの設定を変更することができます。(→ P.55) オンにすると、設定を変更できなくなります。

管理者設定 > システム管理 > 機能制限



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

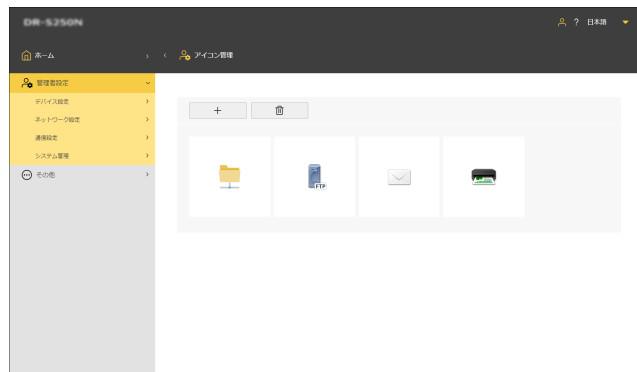
設定メニュー > デバイス設定 > 機能制限




アイコンを管理する (Web メニューのみ)

Web メニューでジョブを表すアイコンを追加したり削除したりします。

管理者設定 > システム管理 > アイコン管理



アイコンを追加する

- 1  をクリックします。
[アイコン追加] 画面が表示されます。
- 2 [アイコン追加] 画面で [...] をクリックし、アイコンファイルを指定します。

ヒント


- 使用できる画像ファイルの形式は PNG 形式です。
- アイコンは 99 個まで登録できます。

- 3 [実行] をクリックします。
アイコンが追加されます。

アイコンを削除する

ヒント

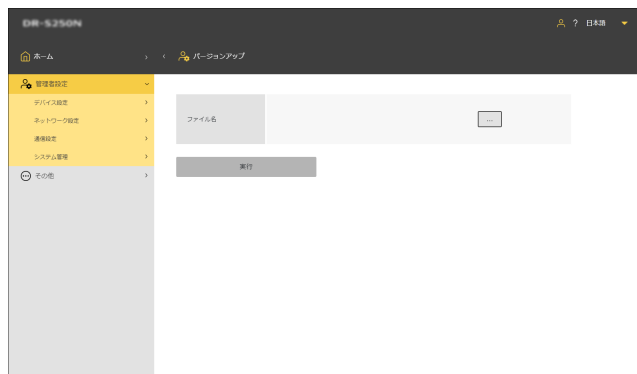
あらかじめ登録されている共有フォルダアイコン、FTP サーバーアイコン、メールアイコン、プリンターアイコンは削除できません。

- 1  をクリックします。
[アイコン削除] 画面が表示されます。
- 2 削除したいアイコンをクリックします。すべてのアイコンを選択するには [全選択] をクリックします。
選択したアイコンにチェックが付きます。
- 3 [OK] をクリックします。
選択したアイコンが削除されます。

本機をバージョンアップする (Web メニューのみ)

ファームウェアファイルを使って、本機のファームウェアのアップデートを行います。

管理者設定 > システム管理 > バージョンアップ



1 [...] をクリックし、ファームウェアファイルを選択します。

2 [実行] をクリックします。

本機のバージョンアップが始まります。バージョンアップ中は進捗状況が表示されます。

重要

- バージョンアップ中は本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は Web メニューを表示しているウェブブラウザを終了したり、ウェブブラウザのタブを閉じたりしないでください。

一般ユーザーが変更できる内容を制限する (Web メニューのみ)

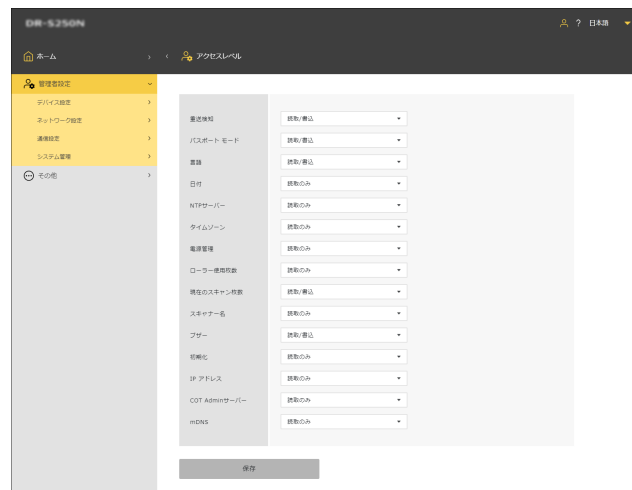
設定メニューの項目について、設定を変更する際に管理者パスワードの入力が必要とするかどうかを設定できます。

管理者パスワードの入力が必要とすることで、一般ユーザーが変更できる内容を制限できます。

設定値

読取のみ	設定を変更するには管理者パスワードの入力が必要です。
読取 / 書込	管理者パスワードの入力は不要です。

管理者設定 > システム管理 > アクセスレベル

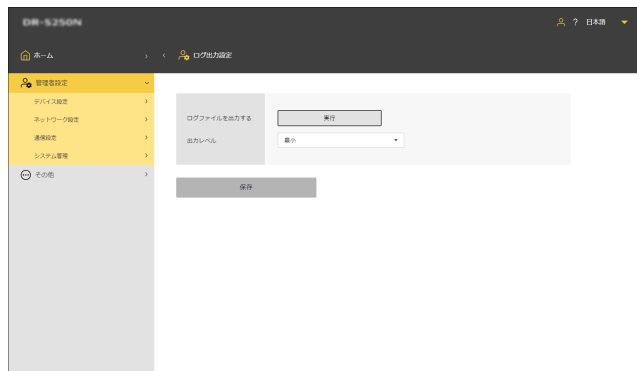


[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

スキャナーのログを取得する（Web メニューのみ）

スキャナーのログを取得します。

管理者設定 > システム管理 > ログ出力設定



出力レベル

ログファイルの情報量を設定します。

[実行] をクリックすると、ログファイルを ZIP 形式で取得します。

ホーム画面の表示を設定する（Web メニューのみ）

Web メニューにアクセスしたときに最初に表示される画面の表示内容を設定します。

設定値

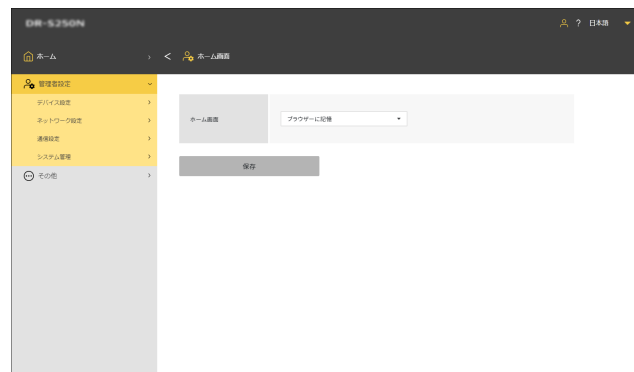
ブラウザに記憶	ブラウザごとに設定できます。 [スキャナージョブ表示] 画面の [この画面をホーム画面にする] で設定します。
常にデフォルトのホーム画面を表示	[ホーム] 画面に設定します。
常にスキャナージョブ画面を表示	[スキャナージョブ表示] 画面に設定します。



ヒント

[常にデフォルトのホーム画面を表示] または [常にスキャナージョブ画面を表示] に設定した場合は、[スキャナージョブ表示] 画面で [この画面をホーム画面にする] が表示されません。

管理者設定 > システム管理 > ホーム画面



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

一時的に重送検知を無効にする（設定メニューのみ）

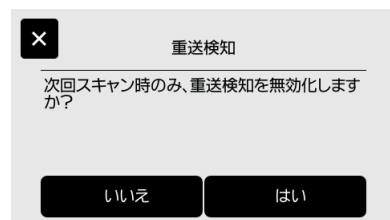
一時的に重送検知機能を無効にします。

重送検知機能が有効になっているジョブでスキャンする際に、一時的に機能を無効にしたい場合に設定します。

同じジョブを使って、普段と異なる重送しやすい原稿をスキャンする際に便利です。

ここでの設定は、一度スキャンしたら元に戻ります。

設定メニュー > スキャン設定 > 重送検知



一時的にパスポートモードにする（設定メニューのみ）

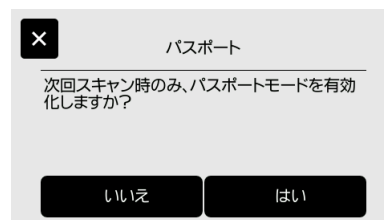
一時的にパスポートモードを有効にします。

パスポートモードが無効になっているジョブでスキャンする際に、一時的に機能を有効にしたい場合に設定します。

同じジョブを使って、普段と異なるパスポートのような厚みのある原稿をスキャンする際に便利です。

ここでの設定は、一度スキャンしたら元に戻ります。

設定メニュー > スキャン設定 > パスポート



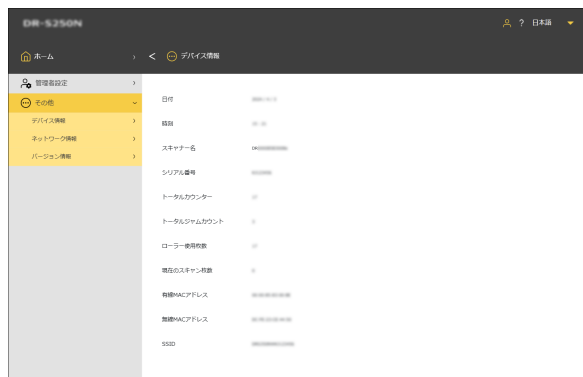
本機の情報を表示する

本機のみざまな情報を表示します。

ネットワークの情報は「ネットワーク情報を表示する」(→ P.108) を参照してください。

スキャナー本体の情報を表示する

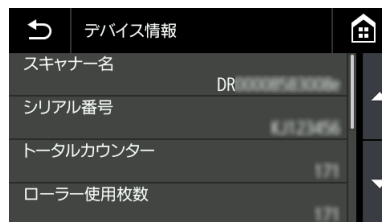
その他 > デバイス情報



表示される項目

- 日付
- 時刻
- スキャナー名
- シリアル番号
- トータルカウンター
- トータルジャムカウント
- ローラー使用枚数
- 現在のスキャン枚数
- 有線 MAC アドレス
- 無線 MAC アドレス
- SSID

設定メニュー > デバイス設定 > デバイス情報

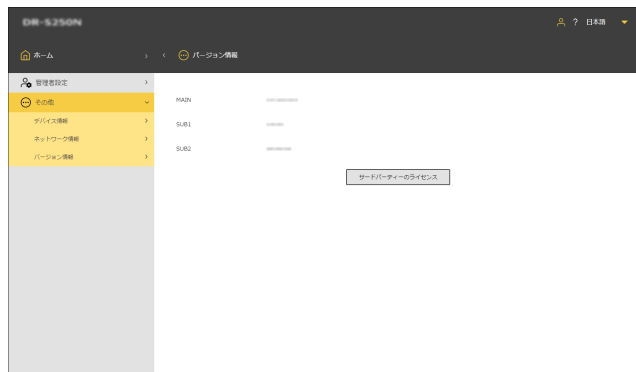


表示される項目

- スキャナー名
- シリアル番号
- トータルカウンター
- ローラー使用枚数
- 現在のスキャン枚数
- ジャム回数
- 有線 MAC アドレス
- 無線 MAC アドレス
- SSID

ファームウェアなどのバージョンを表示する

その他 > バージョン情報



[サードパーティーのライセンス] をクリックすると、サードパーティー製品のライセンス情報を確認できます。

設定メニュー > バージョン情報

バージョン情報	バージョン
MAIN	1.105.2024.0508
SUB1	1.01.000
SUB2	000.000.027

ネットワークの設定

ネットワークに関する設定をします。



ヒント

- Web メニューの操作方法 → [「Web メニューの操作方法」](#) (P.63)
- 設定メニューの操作方法 → [「設定メニューの操作方法」](#) (P.65)

IP アドレスを設定する

スキャナーの IP アドレスを自動または手動で設定します。

IP アドレスを自動で設定する

「IP アドレスを自動的に取得する」を ON にする場合は、DNS サーバーのアドレスを自動取得または手動設定するかどうかを選択できます。

「IP アドレスを自動的に取得する」を OFF にする場合は、IP アドレスと DNS サーバーのアドレスを手動で設定します。

[「IP アドレスを手動で設定する」](#) (→ P.95)

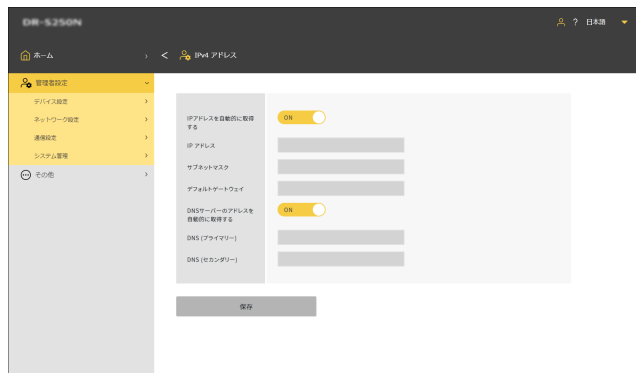
[「DNS サーバーのアドレスを手動で設定する」](#) (→ P.96)



ヒント

「IP アドレスを自動的に取得する」を ON にする場合は、サブネットワーク内に DHCP サーバーが稼働している必要があります。

管理者設定 > ネットワーク設定 > IPv4 アドレス



IP アドレスを自動的に取得する

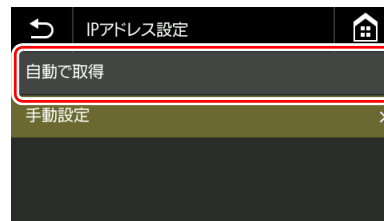
DHCPの有効/無効を選択します。

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する

DNS サーバーのアドレスの自動取得の有効/無効を選択します。

[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > IP アドレス設定



[自動で取得] を選択します。

IP アドレスを手動で設定する

[IP アドレスを自動的に取得する] を OFF にした場合、IP アドレスと DNS サーバーのアドレスを手動で設定します。

IP アドレス

本機の IP アドレスを設定します。

設定値は、ピリオド(ドット)で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。

重要

入力した IP アドレスが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.***.***.***」、「169.254.***.***」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

サブネットマスク

本機のサブネットマスクを設定します。

設定値は、ピリオド(ドット)で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。

重要

入力したサブネットマスクが左寄りの連続した値でない場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

デフォルトゲートウェイ

本機のゲートウェイの IP アドレスを設定します。

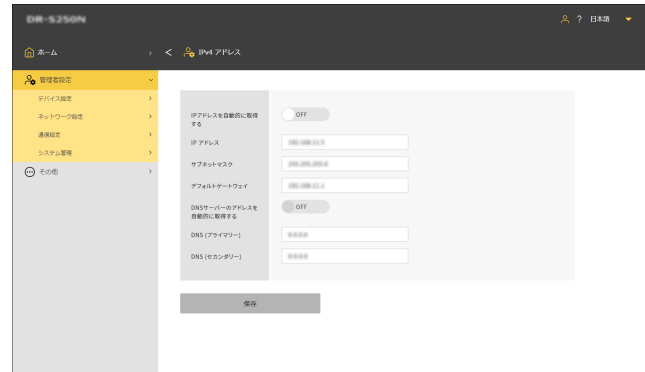
設定値は、ピリオド(ドット)で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイは本機と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。

「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。

重要

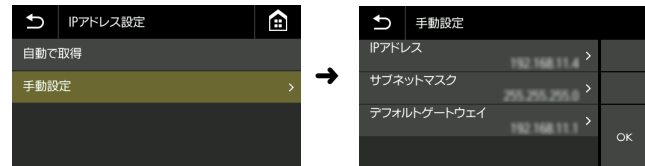
入力したデフォルトゲートウェイが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.***.***.***」、「169.254.***.***」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

管理者設定 > ネットワーク設定 > IPv4 アドレス



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > IP アドレス設定



DNS サーバーのアドレスを手動で設定する

[IP アドレスを自動的に取得する] を OFF にした場合、または [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を OFF にした場合は、各項目を設定します。

DNS (プライマリー)

プライマリー DNS サーバーのアドレスを設定します。

設定値は、ピリオド(ドット)で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。

重要

入力したアドレスが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.***.***.***」、「169.254.***.***」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

DNS (セカンダリー)

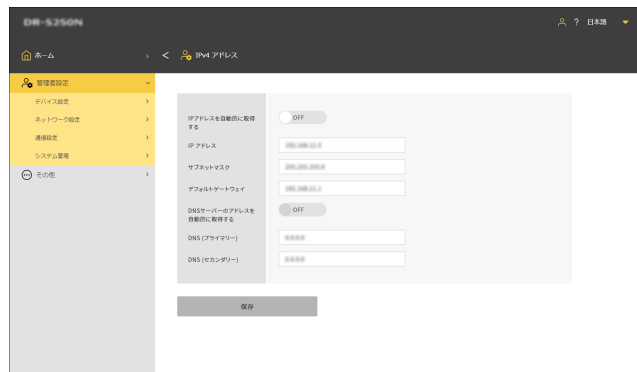
セカンダリー DNS サーバーのアドレスを設定します。

設定値は、ピリオド(ドット)で区切られた4つの10進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。

重要

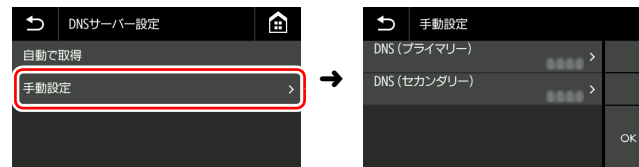
入力したアドレスが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.***.***.***」、「169.254.***.***」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

管理者設定 > ネットワーク設定 > IPv4 アドレス



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > DNS サーバー設定

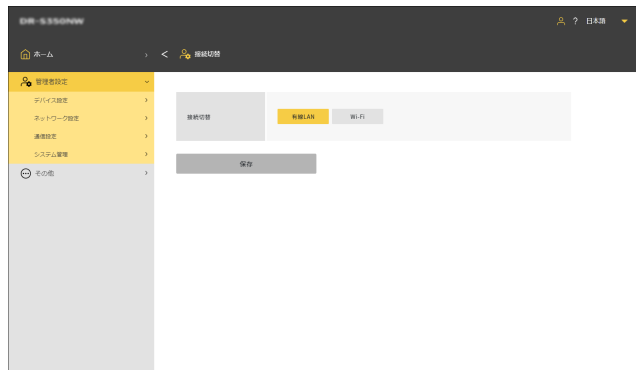


接続方法を設定する

ネットワークの接続方法を設定します。

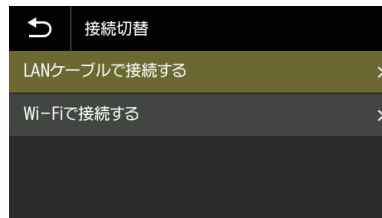
【機能制限】画面で【Wi-Fi】と【有線 LAN】の両方を有効にしている場合に設定できます。「機能を制限する」(→ P.86)

管理者設定 > ネットワーク設定 > 接続切替



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > 接続切替



【Wi-Fi で接続する】を選んで Wi-Fi の設定がされていない場合は、【接続方法を選択】画面が表示されます。「Wi-Fi を設定する (設定メニューのみ)」(→ P.103)

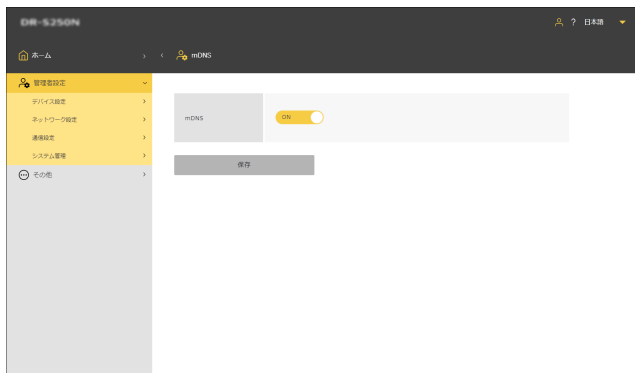
ネットワーク経由で本機を検索する (mDNS を有効にする)

マルチキャスト DNS の有効/無効を設定します。

この設定は、スキャンを実行するアプリケーションから本機を検索して自動接続するために使用されます。通常は有効にします。

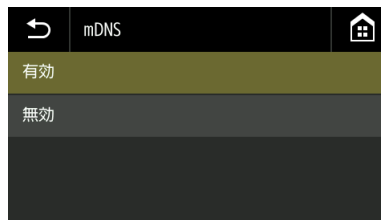
この設定を無効にしたときは、スキャンを実行するアプリケーションからスキャンするときに、本機に割り当てられている IP アドレスを用いて手動でスキャナーを指定する必要があります。

管理者設定 > デバイス設定 > mDNS



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

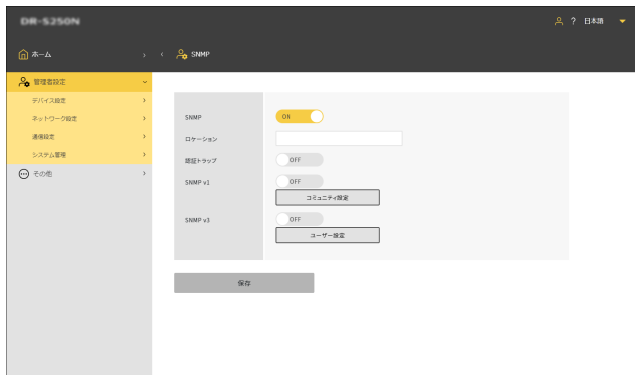
設定メニュー > デバイス設定 > mDNS



SNMPを使った管理をする(Webメニューのみ)

SNMP を使って本機をネットワーク経由で監視したい場合に設定します。

管理者設定 > デバイス設定 > SNMP



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

SNMP

SNMP 機能の有効/無効を設定します。

ロケーション

本機の設置場所を入力します。

認証トラップ

SNMP の認証トラップ機能の有効/無効を設定します。

[ON] に設定すると、[コミュニティ設定] に登録されていないコミュニティから SNMP 要求を受けた場合、トラップ送信先にメッセージを送信します。

SNMPv1

SNMPv1 対応機能の有効/無効を設定します。

コミュニティ設定

[SNMP コミュニティ管理] 画面を表示します。

[\[SNMP コミュニティを編集する/追加する\]](#) (→ P.100)

[\[SNMP コミュニティを削除する\]](#) (→ P.101)

SNMPv3

SNMPv3 対応機能の有効/無効を設定します。

ユーザー設定

[SNMP ユーザー管理] 画面を表示します。

[\[SNMP ユーザーを編集する/追加する\]](#) (→ P.101)

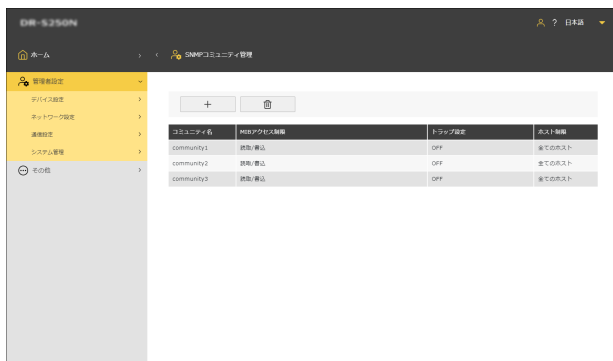
[\[SNMP ユーザーを削除する\]](#) (→ P.102)

SNMP コミュニティを編集する／追加する

1 [SNMP] 画面で [コミュニティ設定] をクリックします。
[SNMP コミュニティ管理] 画面が表示されます。

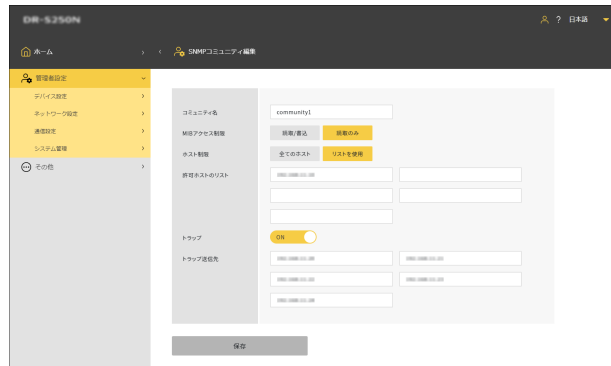
2 登録済みのコミュニティを編集する場合はリストをクリックします。
新規にコミュニティを作成したい場合は **+** をクリックします。

コミュニティは最大 3 個まで登録できます。



[SNMP コミュニティ編集] 画面が表示されます。

3 各項目を設定します。



コミュニティ名

コミュニティ名を 32 文字以内で設定します。

半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。すでに登録されている名称や使用できない文字を入力すると【保存】をクリックした際にエラーが表示されます。

MIB アクセス制限

MIB にアクセスする権限を設定します。

読取 / 書込	MIB の読み取り / 書き込みを許可します。
読取のみ	MIB の読み取りのみ許可します。

ホスト制限

ホストのアクセス許可を設定します。

全てのホスト	すべてのホストをアクセス許可します。
リストを使用	[許可ホストのリスト] で指定したホストのみを許可します。

許可ホストのリスト

許可するホストを IP アドレスまたは、コンピューター名を入力して、指定します。

指定できる数は最大 5 個です。各行は 64 文字まで入力できます。

トラップ

トラップ設定の有効／無効を選択します。


トラップ送信先

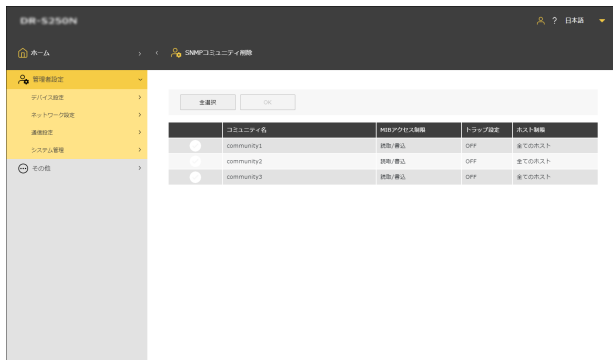
トラップ設定の対象となるホストを、IP アドレスまたは、コンピューター名を入力して、指定します。指定できる数は最大 5 個。各行は 64 文字まで入力できます。

4 [保存] をクリックします。

SNMP コミュニティを削除する

1 [SNMP] 画面で [コミュニティ設定] をクリックします。
[SNMP コミュニティ管理] 画面が表示されます。

2  をクリックします。
[SNMP コミュニティ削除] 画面が表示されます。




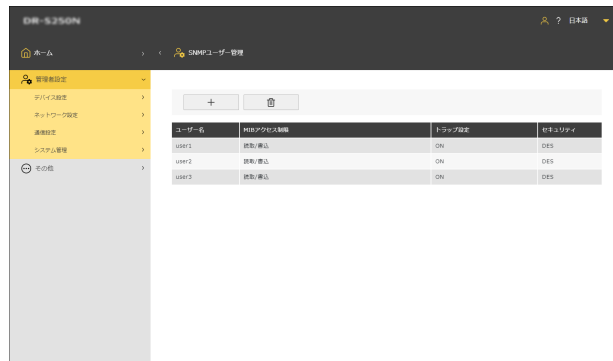
3 削除したいコミュニティにチェックをつけます。すべてのコミュニティを選択するには [全選択] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。
選択したコミュニティが削除されます。

SNMP ユーザーを編集する／追加する

1 [SNMP] 画面で [ユーザー設定] をクリックします。
[SNMP ユーザー管理] 画面が表示されます。

2 登録済みのユーザーを編集する場合はリストをクリックします。新規にユーザーを作成したい場合は  をクリックします。
ユーザーは最大 5 名まで登録できます。



[SNMP ユーザー編集] 画面が表示されます。

3 各項目を設定します。

ユーザー名

ユーザー名を 32 文字以内で設定します。

半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。すでに登録されている名称や使用できない文字を入力すると [保存] をクリックした際にエラーが表示されます。

MIB アクセス制限

MIB にアクセスする権限を設定します。

読取 / 書込	MIB の読み取り / 書き込みを許可します。
読取のみ	MIB の読み取りのみ許可します。

認証方式アルゴリズム

認証方式を指定します。

認証パスワード

認証のパスワードを、8 ～ 16 文字で設定します。半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。使用できない文字を入力すると [適用] をクリックした際にエラーが表示されます。

暗号方式アルゴリズム

暗号化方式を指定します。

暗号パスワード

暗号化のパスワードを、8 ～ 16 文字で設定します。半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。使用できない文字を入力すると [保存] をクリックした際にエラーが表示されます。

トラップ

トラップ設定の有効 / 無効を選択します。


トラップ送信先

トラップ設定の対象となるホストを、IP アドレスまたは、コンピューター名を入力して、指定します。指定できる数は最大 10 個です。各行は 64 文字まで入力できます。

4 [保存] をクリックします。

SNMP ユーザーを削除する

1 [SNMP] 画面で [ユーザー設定] をクリックします。
[SNMP ユーザー管理] 画面が表示されます。

2  をクリックします。
[SNMP ユーザー削除] 画面が表示されます。

ユーザー名	MIBアクセス制限	トラップ設定	セキュリティ
user1	読取/書込	ON	DES
user2	読取/書込	ON	DES
user3	読取/書込	ON	DES

3 削除したいユーザーにチェックをつけます。すべてのユーザーを選択するには [全選択] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。
選択したユーザーが削除されます。

Wi-Fi を設定する (設定メニューのみ)

Wi-Fi を設定します。

設定メニュー > ネットワーク設定 > Wi-Fi 設定 > 接続方法を選択



一覧から選択

利用可能なネットワークが一覧で表示されます。

接続したいネットワーク名をタップするとセキュリティキー設定画面が表示されます。セキュリティキー入力後にネットワークへの接続を開始します。接続に成功すると接続成功画面が表示されます。

手動設定

接続したいネットワークの SSID とセキュリティキーを手動で入力します。[OK] ボタンをタップするとアクセスポイントへの接続を開始します。接続に成功すると接続成功画面が表示されます。

WPS を使う

パネルの案内に従い [OK] ボタンをタップすると WPS 接続を開始します。接続に成功すると接続成功画面が表示されます。

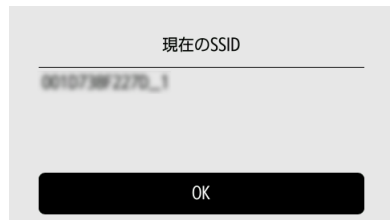
Wireless Connection Tool を使う

パネルの案内に従い [OK] ボタンをタップすると Wireless Connection Tool の接続を開始します。接続に成功すると接続成功画面が表示されます。

SSID を表示する（設定メニューのみ）

Wi-Fi で接続しているとき、接続中の SSID を表示します。

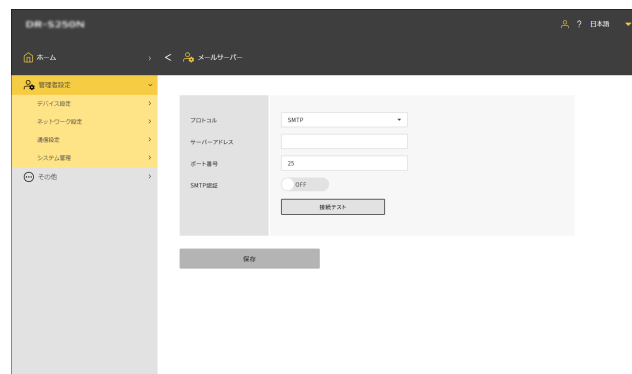
設定メニュー > ネットワーク設定 > Wi-Fi 設定 > 現在の SSID



画像をメールで送信できるようにする（メールサーバーを設定する）（Web メニューのみ）

スキャン画像をメールとして送信するためには、SMTP サーバーの設定が必要です。SMTP サーバーとの接続について設定します。

管理者設定 > 通信設定 > メールサーバー



プロトコル

メールサーバーとの通信プロトコルを設定します。

SMTP	通信内容を暗号化しないで送信します。
SMTPS	SSL/TLS を使用することにより通信内容を暗号化して送信します。 SMTP とは別の専用のポート番号が必要です。
STARTTLS	SSL/TLS を使用することにより通信内容を暗号化して送信します。 SMTPS と異なり専用のポート番号は不要です。

サーバーアドレス

SMTP サーバーの IP アドレスを設定します。

ポート番号

SMTP サーバーとの通信に使用するポート番号を設定します。

SMTP 認証

SMTP サーバーと通信する際に認証を必要とするかどうかを設定します。
[プロトコル] で [SMTP] を選択した場合、有効／無効を設定できます。
[SMTPS] または [STARTTLS] を選択した場合は、必ず有効になります。

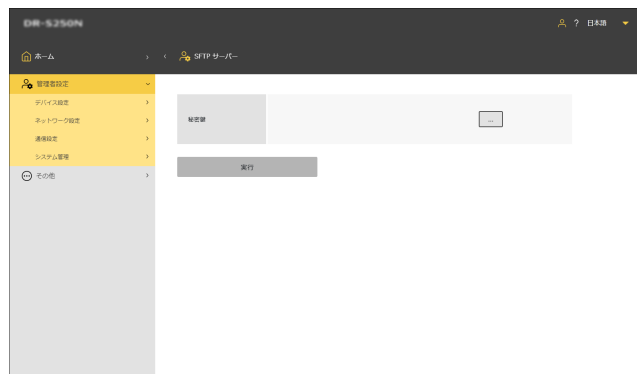
設定が完了したら、[接続テスト] をクリックして、メールサーバーへ正しく接続できるかどうか確認します。

[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

SFTP 接続のセキュリティを高める (秘密鍵を設定する) (Web メニューのみ)

スキャン画像を FTP サーバーへ送信するときのプロトコルで SFTP を選択した場合に、秘密鍵の設定ができます。

管理者設定 > 通信設定 > SFTP サーバー



- 1 [...] をクリックして、秘密鍵ファイルを選択します。
- 2 [実行] をクリックします。
秘密鍵ファイルがアップロードされ、ファイル名が表示されます。

ルート証明書を管理する (Web メニューのみ)

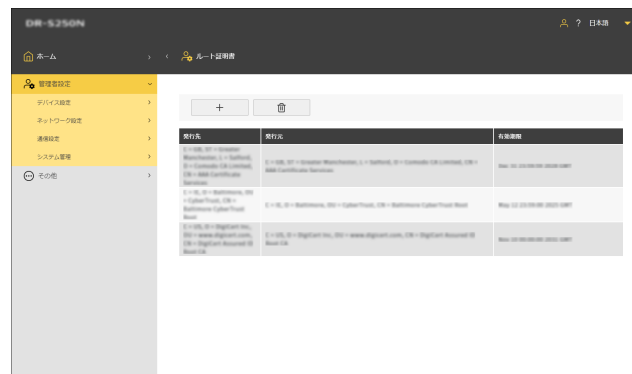
ルート証明書は、送信先のサーバーが正当かどうかを確認するために使用されます。スキャン画像の出力先に以下を設定した場合は、ルート証明書が登録されていないとエラーになります。

出力先	プロトコル
FTP サーバー	SFTP または FTPS
メール	SMTPS または STARTTLS

! 重要


ルート証明書を登録する前に、正しい日付／時刻が設定されているか確認してください。(→ P.77)

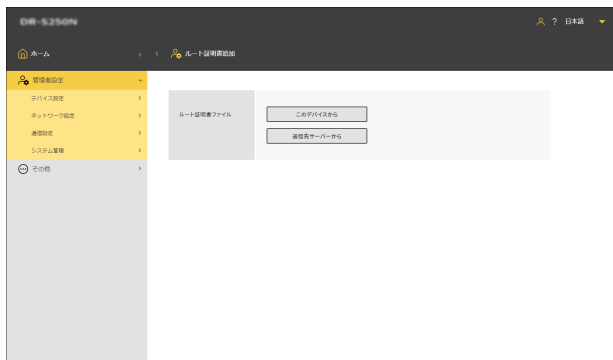
管理者設定 > システム管理 > ルート証明書



登録されているルート証明書が表示されます。

ルート証明書を追加する

- 1  をクリックします。
[ルート証明書追加] 画面が表示されます。

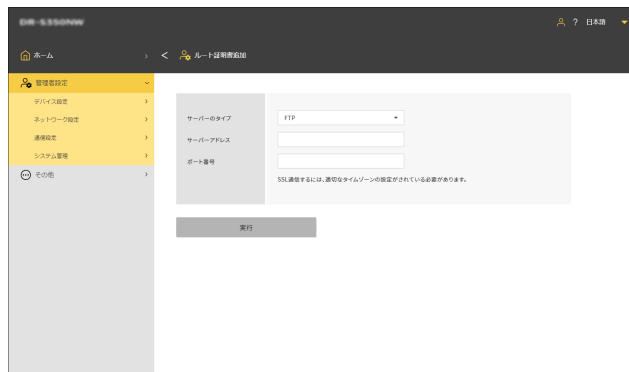


- 2 Web メニューを表示しているデバイスから追加する場合は [このデバイスから]、送信先サーバーから追加する場合は [送信先サーバーから] をクリックします。

[このデバイスから] を選んだ場合

- 1 [...] をクリックし、証明書ファイルを選択します。
- 2 [実行] をクリックします。
ルート証明書が追加されます。

[送信先サーバーから] を選んだ場合



サーバーのタイプ

FTP 送信の場合は [FTP]、メール送信の場合は [SMTP] を選びます。

サーバーアドレス


送信先サーバーの IP アドレスを入力します。

ポート番号

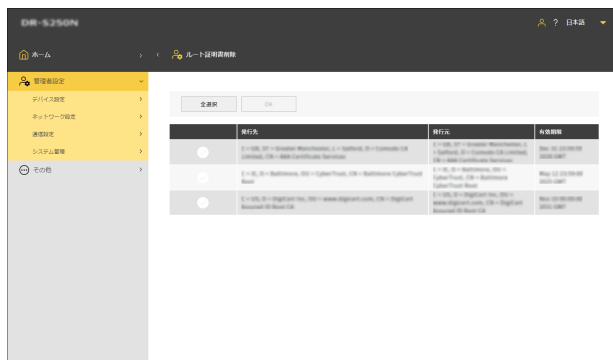
サーバーとの通信で使用するポート番号を設定します。

[実行] をクリックすると、ルート証明書が追加されます。

ルート証明書を削除する

1  をクリックします。

[ルート証明書削除] 画面が表示されます。



2 削除したいルート証明書にチェックをつけます。すべてのルート証明書を選択するには [全選択] をクリックします。

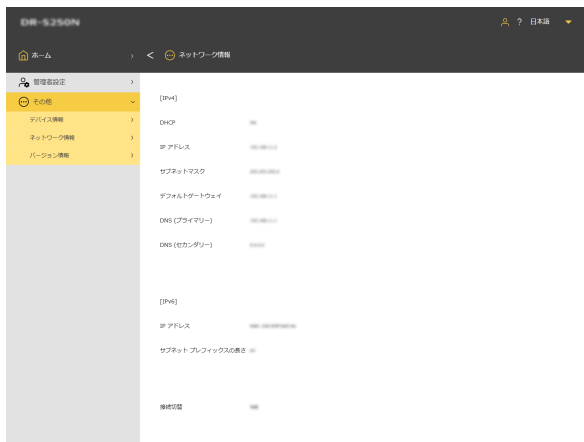
3 [OK] をクリックします。

選択したルート証明書が削除されます。

ネットワーク情報を表示する

本機のネットワークに関する情報を表示します。

その他 > ネットワーク情報



表示される項目

IPv4

- DHCP
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS (プライマリー)
- DNS (セカンダリー)

IPv6

- IP アドレス
- サブネットプレフィックスの長さ
- 接続切替
- SSID (Wi-Fi 接続時のみ)

設定メニュー > ネットワーク設定 > ネットワーク情報



表示される項目

- IPv4 DHCP 設定
- IPv4 アドレス
- サブネットマスク
- IPv4 デフォルトゲートウェイ
- DNS (プライマリー)
- DNS (セカンダリー)
- IPv6 アドレス
- サブネットプレフィックスの長さ
- SSID (Wi-Fi 接続時のみ)

接続テストを行う（設定メニューのみ）

Web メニューで設定したメールサーバー / 共有フォルダー / FTP サーバー / プリンターに、正しく接続できるか確認できます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > 接続テスト

ホスト名または IP アドレスを入力します。



セキュリティの設定

セキュリティに関する設定をします。

ヒント

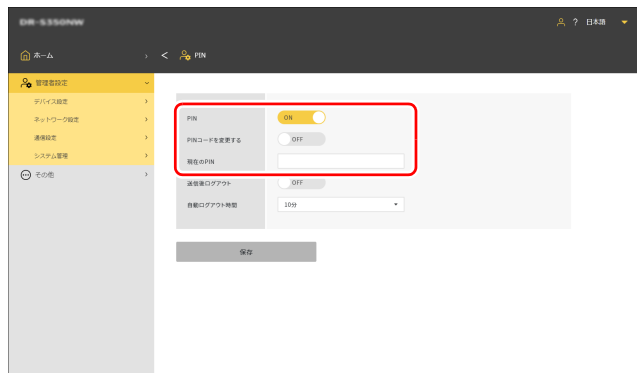
- Web メニューの操作方法 → 「Web メニューの操作方法」(P.63)
- 設定メニューの操作方法 → 「設定メニューの操作方法」(P.65)

ログインするときに PIN コードを使う

スキャナーにログインするときに PIN コードを使用したいときに設定します。
PIN コードは 0～9 の数字 4 桁です。

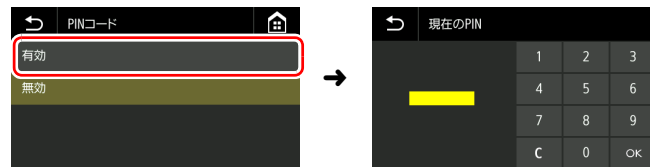
PIN コードを設定する

管理者設定 > デバイス設定 > PIN



【現在の PIN】の初期設定は「0000」です。
【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > セキュリティー > PIN コード設定 > PIN コード

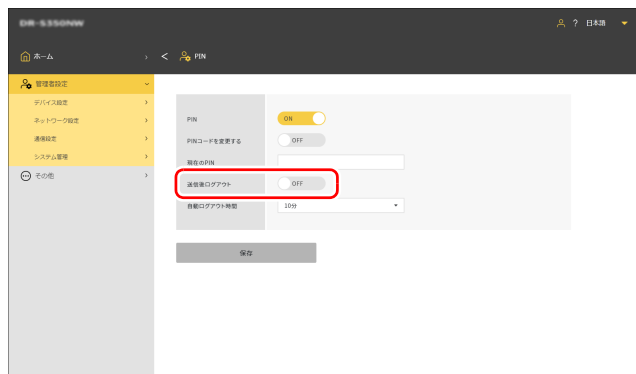


現在の PIN コードを入力します。初期設定は「0000」です。
認証に成功すると、「新しい PIN コードを設定しますか？」というメッセージが表示されます。PIN コードを変更したい場合は【はい】、変更しない場合は【いいえ】を選んでください。
【はい】を選んだ場合は、新しい PIN コードの入力画面で新しい PIN コードを設定します。確認のためもう一度新しい PIN コードを入力してください。

スキャン画像の送信後に自動的にログアウトする

スキャン画像を送信した後に自動的にログアウトする機能を設定します。ログインするには PIN コードを入力する必要があります。

管理者設定 > デバイス設定 > PIN



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。



ヒント

ここで設定した内容は、「スキャン画像の送信後に自動的にログアウトする」(→ P.119)での設定と連動します。

設定メニュー > デバイス設定 > セキュリティー > PIN コード設定 > 送信後ログアウト



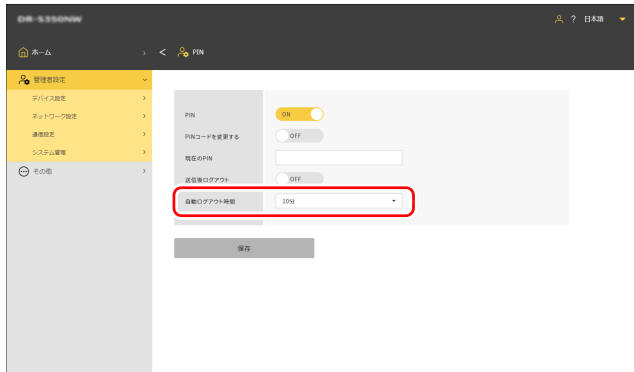
自動的にログアウトする時間を設定する

本機の操作が一定時間行われないうちに、自動的にログアウトするまでの時間を設定します。ログインするには PIN コードを入力する必要があります。

設定値

1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分 / 30分 / 60分 / 90分 / 120分

管理者設定 > デバイス設定 > PIN



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。



ヒント

ここで設定したログアウト時間は、「[自動的にログアウトする時間を設定する](#)」(→ P.120) で設定する時間と連動します。

設定メニュー > デバイス設定 > セキュリティ > PIN コード設定 > 自動ログアウト



SSL サーバー証明書をインストールする (Webメニューのみ)

「https://」で Web メニューにアクセスした際に、ウェブブラウザに「接続がプライベートではありません」という警告が表示されることがあります。

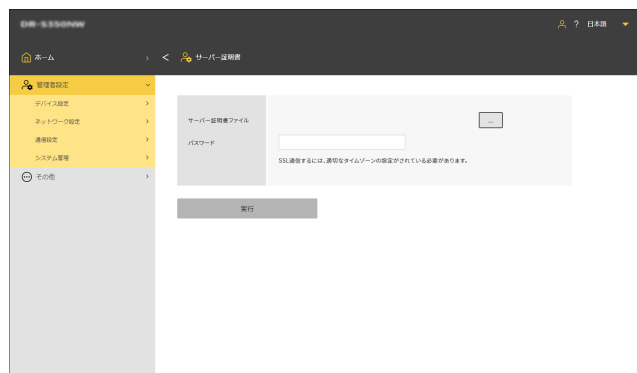
一般ユーザーの方：
管理者にお問い合わせください。

管理者の方：
Web メニューに適切な SSL サーバー証明書がインストールされていません。
以下を参照してインストールしてください。

! 重要

SSL サーバー証明書をインストールする前に、正しい日付／時刻が設定されているか確認してください。(→ P.77)

管理者設定 > デバイス設定 > サーバー証明書



- 1 [...] をクリックし、ファイル選択ダイアログで証明書ファイル (pfxファイル) を指定します。
- 2 パスワードを入力します。
- 3 [実行] をクリックします。
サーバー証明書がインストールされます。

管理者パスワードを設定する

スキャナーの管理者パスワードを設定します。

ここで設定したパスワードは

- Web メニューの [管理者設定] 画面を表示するとき
- 設定メニューで設定を変更するために管理者パスワードを求められたときに使用します。

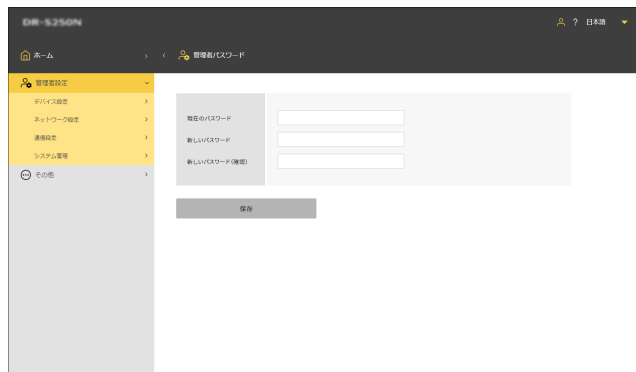
パスワードは半角 32 文字以内の英大文字、英小文字、数字、記号で設定してください。



ヒント

工場出荷時の管理者パスワードは、本機に貼られているラベルに書かれています。

管理者設定 > システム管理 > 管理者パスワード



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > デバイス設定 > セキュリティ > 管理者パスワード設定



認証に成功すると、「新しい管理者パスワードを設定しますか？」というメッセージが表示されます。管理者パスワードを変更したい場合は [はい]、変更しない場合は [いいえ] を選んでください。

[はい] を選んだ場合は、新しい管理者パスワードの入力画面で新しい管理者パスワードを設定します。確認のためもう一度新しい管理者パスワードを入力してください。

Web メニューの設定

Web メニューに関する設定をします。

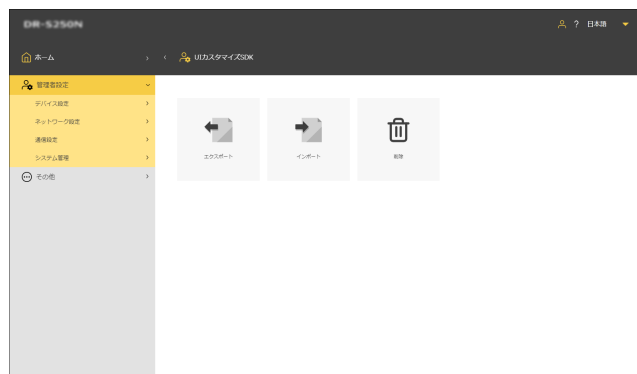
ヒント

Web メニューの操作方法 → [「Web メニューの操作方法」\(P.63\)](#)

スキャナーのタッチパネルに表示する内容を変更する (Web メニューのみ)

UI カスタマイズ SDK 設定ファイルを使用すると、スキャナーのタッチパネルに表示する内容を変更できます。本機能の詳細は、UI カスタマイズ SDK と共に提供されるドキュメントを参照してください。

管理者設定 > システム管理 > UI カスタマイズ SDK

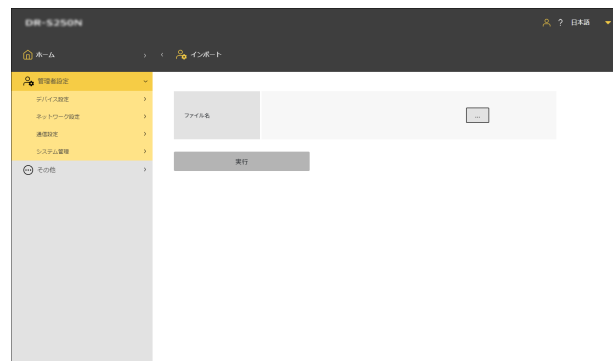


設定ファイルをエクスポートする

- 1 **「エクスポート」** をクリックします。
UI カスタマイズ SDK 設定ファイルが ZIP 形式でエクスポートされます。

設定ファイルをインポートする

- 1 **「インポート」** をクリックします。
インポート画面が表示されます。



- 2 **「[...]」** をクリックし、ファイル選択ダイアログで UI カスタマイズ SDK 設定ファイルを指定します。
- 3 **「実行」** をクリックします。
UI カスタマイズ SDK 設定ファイルがインポートされます。

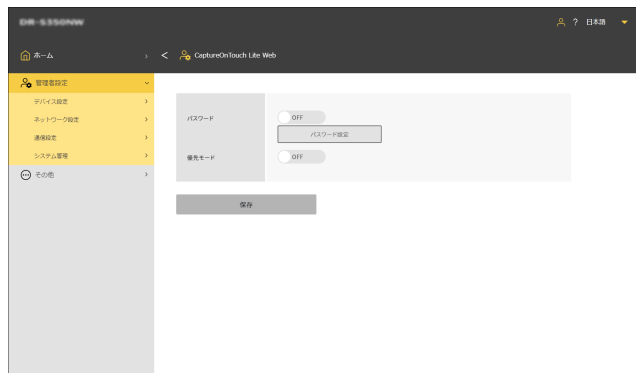
設定ファイルを削除する

- 1 **「削除」** をクリックします。
インポートされた UI カスタマイズ SDK 設定ファイルが削除され、見た目が初期状態に戻ります。

CaptureOnTouch Lite Web の設定をする (Web メニューのみ)

Web メニューからスキャンできる、CaptureOnTouch Lite Web 機能について設定できます。CaptureOnTouch Lite Web 機能について詳細は「[CaptureOnTouch Lite Web でスキャンする](#)」(→ P.39) を参照してください。

管理者設定 > システム管理 > CaptureOnTouch Lite Web



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

パスワード

ON にすると、CaptureOnTouch Lite Web 機能を使う時にパスワードが必要になります。

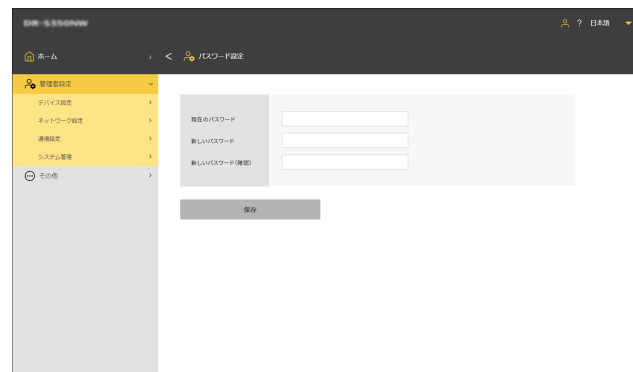
パスワード設定

【パスワード設定】画面を表示します。初期設定は「0000」です。

優先モード

ON にすると、CaptureOnTouch Lite Web 機能でスキャン設定をしている最中は、他のユーザーは本機を使用できません。

パスワードを設定する



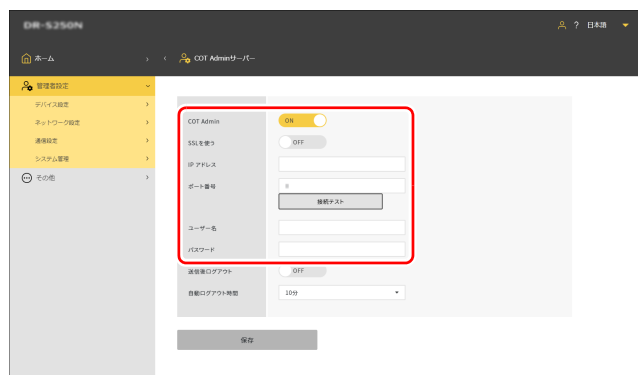
【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

COT Admin サーバー機能の設定

COT Admin で使用する COT Admin サーバーとの接続について設定します。
COT Admin の詳細は、「COT Admin Server ユーザーマニュアル」を参照してください。

COT Admin サーバーを設定する

管理者設定 > 通信設定 > COT Admin サーバー



COT Admin

COT Admin サーバー機能の有効 / 無効を設定します。

SSL を使う

COT Admin サーバーとの通信を暗号化する機能の有効 / 無効を設定します。

IP アドレス

COT Admin サーバーの IP アドレスを設定します。

ポート番号

COT Admin サーバーとの通信で使用するポート番号を設定します。

ユーザー名

COT Admin サーバーとの通信で使用するユーザー名を設定します。

パスワード

COT Admin サーバーとの通信で使用するパスワードを設定します。

設定が完了したら、[接続テスト] をクリックして、COT Admin サーバーへ正しく接続できるかどうか確認します。

[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > COT Admin 設定 > サーバー設定



COT Admin の有効化

COT Admin サーバー機能の有効 / 無効を設定します。

サーバーアドレス

COT Admin サーバーの IP アドレスを設定します。

ポート番号

COT Admin サーバーとの通信で使用するポート番号を設定します。

SSL

COT Admin サーバーとの通信を暗号化する機能の有効 / 無効を設定します。

ユーザー名

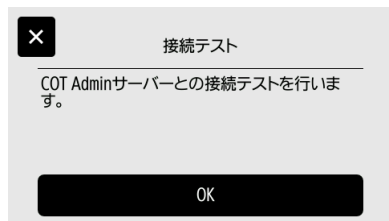
COT Admin サーバーとの通信で使用するユーザー名を設定します。

パスワード

COT Admin サーバーとの通信で使用するパスワードを設定します。

設定が完了したら、接続テストを行い、COT Admin サーバーへ正しく接続できるかどうか確認します。

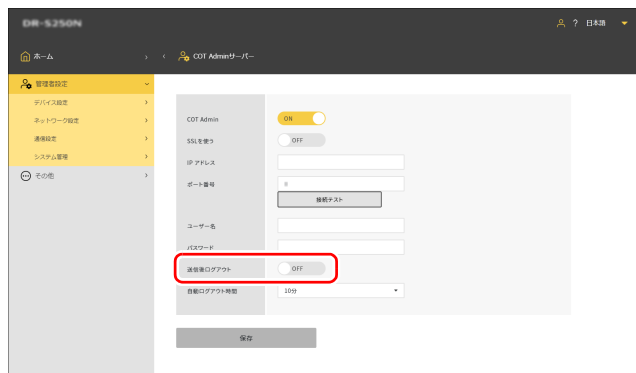
設定メニュー > ネットワーク設定 > COT Admin 設定 > 接続テスト



スキャン画像の送信後に自動的にログアウトする

スキャン画像を送信した後に COT Admin サーバーから自動的にログアウトする機能を設定します。

管理者設定 > 通信設定 > COT Admin サーバー



【保存】をクリックすると、設定が保存されます。

ヒント

ここで設定した内容は、「スキャン画像の送信後に自動的にログアウトする」(→ P.111)での設定と連動します。

設定メニュー > ネットワーク設定 > COT Admin 設定 > サーバー設定 > 送信後ログアウト



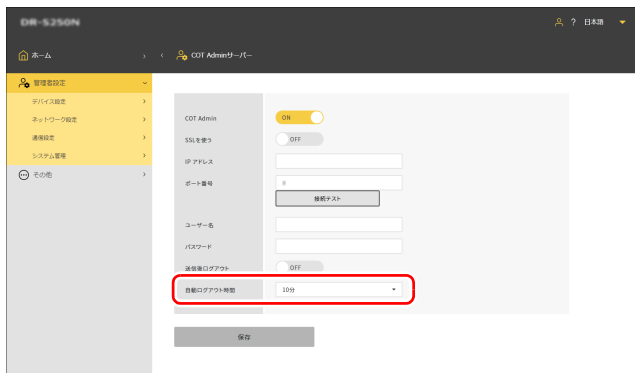
自動的にログアウトする時間を設定する

本機の操作が一定時間行われないうちに、COT Admin サーバーから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。

設定値

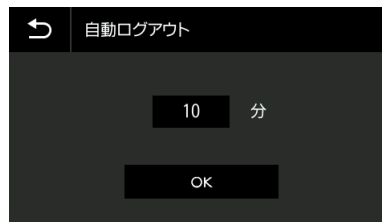
1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分 / 30分 / 60分 / 90分 / 120分

管理者設定 > 通信設定 > COT Admin サーバー



[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

設定メニュー > ネットワーク設定 > COT Admin 設定 > サーバー設定 > 自動ログアウト



ヒント

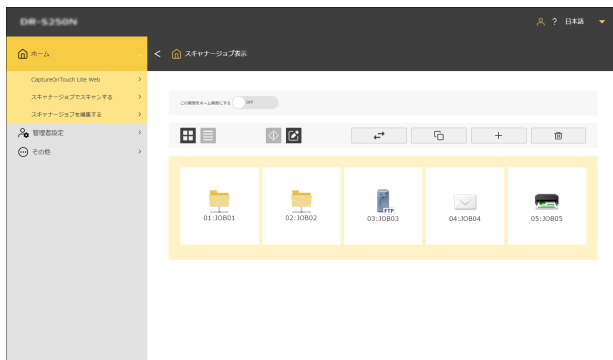
ここで設定したログアウト時間は、「自動的にログアウトする時間を設定する」(→ P.112) で設定する時間と連動します。




スキャナーにジョブを登録する（管理者向け）







ジョブを作成しスキャナーに登録しておくことができます。ユーザーはあらかじめ登録されたジョブを選ぶだけでスキャンできます。


Webメニューでジョブを作成／編集／登録する

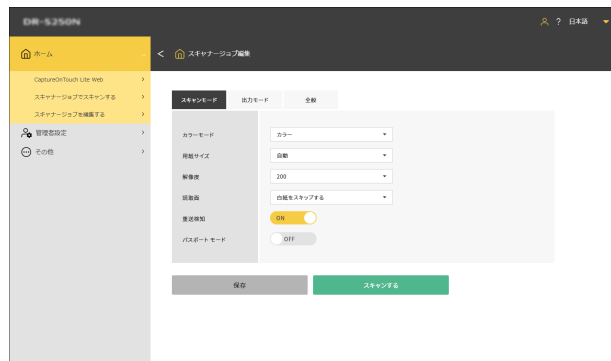
- 1 Webメニューを表示します。（→ P.38）
- 2 [スキャナージョブを編集する] をクリックします。
[スキャナージョブ表示] 画面が表示されます。



<p>この画面をホーム画面にする</p>	<p>[スキャナージョブ表示] 画面をホーム画面にするかどうかを設定します。</p> <p> ヒント</p> <p>ホーム画面の表示設定で、[常にデフォルトのホーム画面を表示する] または [常にスキャナージョブ画面を表示する] を選択した場合は、[この画面をホーム画面にする] は表示されません。「ホーム画面の表示を設定する (Webメニューのみ)」(→ P.89)</p>
 	<p>ジョブのアイコン表示／リスト表示を切り替えます。</p>

	スキャンを実行するモードに切り替えます。
	ジョブを編集するモードに切り替えます。
	ジョブをインポート／エクスポートします。
	ジョブをコピーします。 すでにあるジョブを元にして、新しいジョブを作成するときに便利です。
	ジョブを新しく追加します。
	ジョブを削除します。

- 3  をクリックします。すでにあるジョブを編集する場合は、[編集したいジョブをクリック](#)します。
[スキャナージョブ編集] 画面が表示されます。



4 各タブで設定します。

詳細な設定は、以下を参照してください。

スキャンモード：「[スキャンモードの設定項目](#)」(→ P.122)

出力モード：「[出力モードの設定項目](#)」(→ P.123)

全般：「[その他の設定項目](#)」(→ P.127)

5 [保存] をクリックします。

ジョブの内容がスキャナーに登録されます。

ジョブを使ったスキャン方法は、以下を参照してください。

コンピューター：「[コンピューターから選んだジョブでスキャンする\(ユーザー向け\)](#)」(→ P.55)

タッチパネル：「[タッチパネルから選んだジョブでスキャンする\(ユーザー向け\)](#)」(→ P.57)

スキャンモードの設定項目

スキャンモード	出力モード	全般
カラーモード	カラー	
用紙サイズ	自動	
解像度	200	
読取面	白紙をスキップする	
重送検知	<input checked="" type="checkbox"/> ON	
パスポートモード	<input type="checkbox"/> OFF	

カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

カラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

スキャンする原稿の用紙サイズを指定します。

[自動] を選択すると、原稿のサイズを検出してスキャンします。

解像度

スキャンの解像度を指定します。単位は dpi です。

読取面

白紙をスキップする	原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。
片面	原稿を片面のみスキャンします。
両面	原稿の両面をスキャンします。

重送検知

重送検知機能の ON / OFF を設定します。

パスポートモード

パスポートをスキャンするときに適した設定でスキャンします。

ON にすると、[重送検知] は OFF になります。

出力モードの設定項目

スキャンモード	出力モード	全般
出力方法	共有フォルダー	
ホスト名		
フォルダーへのパス		
ユーザー名		
パスワード		
ドメイン/ワークグループ		
	接続テスト	
ファイル名		
日付	MMDDYYYYHHMMSS	
カウンター	ON	
スタート値	1	
セパレーター	なし	
ファイル形式	PDF	
画質	3	
増設ページ	全てのページ	
OCR付加	<input type="radio"/> OFF	
OCR言語	英語	

出力方法

共有フォルダー	スキャンした画像を共有フォルダーに送信します。
FTP	スキャンした画像をFTPサーバーに送信します。
メール	スキャンした画像をメールに添付して送信します。
プリント	スキャンした画像をFTPプロトコルに対応したプリンターに送信します。

共有フォルダーに送信する場合

スキャンモード	出力モード	全般
出力方法	共有フォルダー	
ホスト名		
フォルダーへのパス		
ユーザー名		
パスワード		
ドメイン/ワークグループ		
	接続テスト	

ホスト名

共有フォルダーのホスト名またはIPアドレスを入力します。

フォルダーへのパス

共有フォルダーのパスを入力します。

例：guest¥share_folder

ユーザー名

共有フォルダーにアクセスするためのユーザー名を入力します。

例：admin

パスワード

共有フォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。

ドメイン/ワークグループ

共有フォルダーが所属しているドメイン名またはワークグループ名を入力します。

設定が完了したら、[接続テスト]をクリックして、共有フォルダーへ正しく接続できるかどうか確認します。

FTP サーバーに送信する場合

スキャンモード	出力モード	全般
出力方法	FTP	
プロトコル	FTP	
サーバーアドレス		
フォルダーへのパス		
ポート番号	21	
モード	パッシブ	
認証方法	パスワード	
ユーザー名		
パスワード		
パスフレーズを使う	OFF	
パスフレーズ		
Fingerprint		
<input type="button" value="接続テスト"/>		

プロトコル

使用するプロトコルを選択します。

FTP	通信内容を暗号化しないで送信します。
FTPS (Explicit)	通信内容を Explicit (明示的) モードで暗号化して送信します。
FTPS (Implicit)	通信内容を Implicit (暗黙的) モードで暗号化して送信します。
SFTP	通信内容を SSH 接続を使って暗号化して送信します。

ヒント

SFTP で送信する場合は、秘密鍵を設定できます。詳細は「[SFTP 接続のセキュリティを高める \(秘密鍵を設定する\) \(Web メニューのみ\)](#)」(→ P.105)を参照してください。

サーバーアドレス

FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

フォルダーへのパス

送信先の FTP サーバーのフォルダーへのパスを入力します。
例 /upload/share

ポート番号

送信先の FTP サーバーで使用するポート番号を指定します。

モード

パッシブ	スキャナーからFTPサーバーに対して接続要求を行うモードです。
アクティブ	FTPサーバーからスキャナーに対して接続要求を行うモードです。

認証方法

認証方法にパスワードか秘密鍵のどちらかを選択します。
[プロトコル] で [SFTP] を選択したときに設定できます。

ユーザー名

送信先の FTP サーバーに接続するためのユーザー名を入力します。

パスワード

送信先の FTP サーバーに接続するためのパスワードを入力します。

パスフレーズを使う

認証方法で [秘密鍵] を選択した場合に、パスフレーズを使用する場合は ON にします。

パスフレーズ

秘密鍵とともに使用するパスフレーズを入力します。

Fingerprint

送信先の FTP サーバーの指紋を入力します。

設定が完了したら、[接続テスト] をクリックして、FTP サーバーへ正しく接続できるかどうか確認します。

メール送信する場合

重要

メール送信する場合は、メールサーバーの設定が必要です。「[画像をメールで送信できるようにする \(メールサーバーを設定する\) \(Web メニューのみ\)](#)」(→ P.104) を参照して設定してください。

送信先アドレス

送信先のメールアドレスを入力します。

送信元アドレス

差出人のメールアドレスを入力します。

送信元パスワード

メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します。

共通の設定項目

ファイル名

送信する画像のファイル名を入力します。

日付

ファイル名の末尾に付加する日付の形式を選択します。不要な場合は「なし」を選択します。

カウンター

ファイル名の末尾に 4 桁の連番を付加する場合は ON にします。

スタート値

カウンターのスタート値を設定します。

セパレーター

ファイル名と日付、連番との間に挿入する文字を選択します。不要な場合は「なし」を選択します。

- (半角ハイフン)	例：scan-20230701-0012
なし	例：scan202307010012
_ (半角アンダーバー)	例：scan_20230701_0012

ファイル形式

送信するスキャン画像のファイル形式を指定します。

画質

画質を 1 から 4 の 4 段階で設定できます。

「1 (高圧縮)」にすると圧縮率が最も高くなり、スキャン画像のファイルサイズを小さくできますが、スキャン画像の画質が低下します。

「4 (高画質)」にすると圧縮率が最も低くなり、画質の低下を抑えることができます。



ヒント

[スキャンモード] の [カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] の場合に有効です。

複数ページ

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

全てのページ	原稿のすべてのページを 1 つのファイルに保存します。
1 つのページ	1 ページごとに 1 つのファイルに保存します。



ヒント

[ファイル形式] が [PDF] または [TIFF] の場合に有効です。

OCR 付加

ON にすると、スキャン画像のテキスト部分が認識され、テキストデータが付加された状態で保存されます。



ヒント

[ファイル形式] が [PDF] の場合に有効です。

OCR 言語

[OCR 付加] で認識する言語を設定します。



ヒント

[ファイル形式] が [PDF] の場合に有効です。

プリンターに送信する場合

スキャンモード	出力モード	全般
出力方法	プリント	
サーバーアドレス		
モード	パッシュ	
ユーザー名		
パスワード		
接続テスト		

サーバーアドレス

プリンターのホスト名または IP アドレスを入力します。

モード

パッシュ	スキャナーからプリンターに対して接続要求を行うモードです。
アクティブ	プリンターからスキャナーに対して接続要求を行うモードです。

ユーザー名

送信先のプリンターに接続するためのユーザー名を入力します。

パスワード

送信先のプリンターに接続するためのパスワードを入力します。

設定が完了したら、[接続テスト] をクリックして、プリンターへ正しく接続できるかどうか確認します。

その他の設定項目

スキャンモード	出力モード	全般
ジョブ番号	6	
タイトル	NEW_JOBTITLE	
アイコン		
スキャン後の画像確認	<input checked="" type="checkbox"/> ON	ブラウザにてスキャン実行時のみ有効です。本体パネルにてスキャン実行時は画像確認できません。
同名ファイルを上書きする	<input type="checkbox"/> OFF	

ジョブ番号

スキャナーに登録するジョブ番号を選択します。空き番号を選択します。

タイトル

ジョブの名前を入力します。この名前がコンピューターに表示されます。

アイコン

クリックすると、[アイコン選択] 画面が表示され、アイコンを選択できます。アイコンを追加したり削除したりするには、「[アイコンを管理する \(Webメニューのみ\)](#)」(→ P.87) を参照してください。

スキャン後の画像確認

スキャンした後に画像を確認するかどうかを設定します。

ON	[スキャン画像確認] 画面を表示します。
OFF	[スキャン画像確認] 画面を表示せずに、すぐにファイルを送信します。

ヒント


- Webメニューでスキャンした場合に有効です。
- お使いのスキャナーによっては、「ブラウザでスキャン実行時のみ有効です。」というメッセージが表示されます。

同名ファイルを上書きする

送信先に同名ファイルがあった場合の処理を設定します。

ON	ファイルを上書きします。
OFF	ファイル名の末尾に連番を付与し、別名ファイルとして保存します。

タッチパネルでジョブを作成／編集／登録する

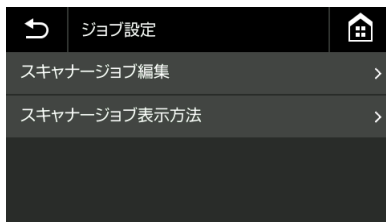
- 1 スキャナーのタッチパネルのホーム画面で (設定) をタップします。

[設定メニュー] 画面が表示されます。

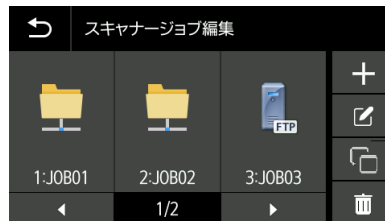






- 2 [ジョブ設定] をタップします。



[ジョブ設定] 画面が表示されます。



- 3 [スキャナージョブ編集] をタップします。
[スキャナージョブ編集] 画面が表示されます。




	ジョブを新しく追加します。
	ジョブを編集します。
	ジョブをコピーします。 すでにあるジョブを元にして、新しいジョブを作成するときに便利です。
	ジョブを削除します。

- 4  をタップします。すでにあるジョブを編集する場合は、編集したいジョブを選んでから  をタップします。

[ジョブの作成] 画面が表示されます。



- 5** 各メニューを設定します。
詳細な設定は、以下を参照してください。
スキャンモード：「スキャンモードの設定項目」(→ P.129)
出力モード：「出力モードの設定項目」(→ P.130)
全般：「その他の設定項目」(→ P.133)

- 6** [OK] をタップします。
ジョブの内容がスキャナーに登録されます。
[ジョブリスト] 画面でジョブを選んで  (スキャン) をタップすると、
ジョブの設定でスキャンできます。

スキャンモードの設定項目



カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

カラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

スキャンする原稿の用紙サイズを指定します。

[自動] を選択すると、原稿のサイズを検出してスキャンします。

解像度

スキャンの解像度を指定します。単位は dpi です。

読取面

白紙スキップ	原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。
片面	原稿を片面のみスキャンします。
両面	原稿の両面をスキャンします。

重送検知

重送検知機能の ON / OFF を設定します。

パスポート

パスポートをスキャンするときに適した設定でスキャンします。

ON にすると、[重送検知] は OFF になります。

出力モードの設定項目

🔄	出力方法
	共有フォルダー >
	FTP >
	メール >
	プリント >

出力方法

共有フォルダー	スキャンした画像を共有フォルダーに送信します。
FTP	スキャンした画像を FTP サーバーに送信します。
メール	スキャンした画像をメールに添付して送信します。
プリント	スキャンした画像を FTP プロトコルに対応したプリンターに送信します。

共有フォルダーに送信する場合

🔄	共有フォルダー
	ホスト名 >
	フォルダーへのパス >
	ユーザー名 >
	パスワード >
	OK

ホスト名

共有フォルダーのホスト名または IP アドレスを入力します。

フォルダーへのパス

共有フォルダーのパスを入力します。

例：guest¥share_folder

ユーザー名

共有フォルダーにアクセスするためのユーザー名を入力します。

例：admin

パスワード

共有フォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。

ドメイン / ワークグループ

共有フォルダーが所属しているドメイン名またはワークグループ名を入力します。

設定が完了したら、共有フォルダーへ正しく接続できるかどうか確認します。

「接続テストを行う（設定メニューのみ）」（→ P.109）

FTP サーバーに送信する場合

🔄	FTP
	プロトコル >
	FTP >
	ホスト名 >
	フォルダーへのパス >
	ポート番号 >
	21 >
	OK

プロトコル

使用するプロトコルを選択します。

FTP	通信内容を暗号化しないで送信します。
FTPS (Explicit)	通信内容を Explicit (明示的) モードで暗号化して送信します。
FTPS (Implicit)	通信内容を Implicit (暗黙的) モードで暗号化して送信します。
SFTP	通信内容を SSH 接続を使って暗号化して送信します。

💡 ヒント

SFTP で送信する場合は、秘密鍵を設定できます。詳細は **「SFTP 接続のセキュリティを高める（秘密鍵を設定する）（Web メニューのみ）」**（→ P.105）を参照してください。

ホスト名

FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

フォルダーへのパス

送信先の FTP サーバーのフォルダーへのパスを入力します。

例 /upload/share

ポート番号

送信先の FTP サーバーで使用するポート番号を指定します。

モード

パッシブ	スキャナーからFTPサーバーに対して接続要求を行うモードです。
アクティブ	FTPサーバーからスキャナーに対して接続要求を行うモードです。

認証方法

認証方法にパスワードか秘密鍵のどちらを使用するか選択します。

[プロトコル] で [SFTP] を選択したときに設定できます。

ユーザー名

送信先の FTP サーバーに接続するためのユーザー名を入力します。

パスワード

送信先の FTP サーバーに接続するためのパスワードを入力します。

パスフレーズを使う

認証方法で [秘密鍵] を選択した場合に、パスフレーズを使用する場合は ON にします。

パスフレーズ

秘密鍵とともに使用するパスフレーズを入力します。

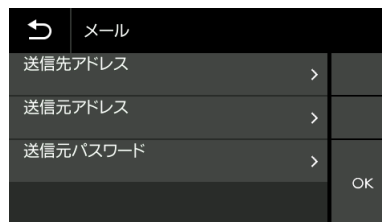
Fingerprint

送信先の FTP サーバーの指紋を入力します。

設定が完了したら、FTP サーバーへ正しく接続できるかどうか確認します。

[\[接続テストを行う \(設定メニューのみ\)\]](#) (→ P.109)

メール送信する場合



! 重要

メール送信する場合は、メールサーバーの設定が必要です。「[画像をメールで送信できるようにする \(メールサーバーを設定する\) \(Web メニューのみ\)](#)」 (→ P.104) を参照して設定してください。

送信先アドレス

送信先のメールアドレスを入力します。

送信元アドレス

差出人のメールアドレスを入力します。

送信元パスワード

メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します。

共通の設定項目



ファイル名

送信する画像のファイル名を入力します。

日付

ファイル名の末尾に付加する日付の形式を選択します。不要な場合は「なし」を選択します。

カウンター

ファイル名の末尾に 4 桁の連番を付加する場合は ON にします。

スタート値

カウンターのスタート値を設定します。

セパレーター

ファイル名と日付、連番との間に挿入する文字を選択します。不要な場合は「なし」を選択します。

なし	例：scan202307010012
- (半角ハイフン)	例：scan-20230701-0012
_ (半角アンダーバー)	例：scan_20230701_0012

ファイル形式

送信するスキャン画像のファイル形式を指定します。

画質

画質を 1 から 4 の 4 段階で設定できます。

「1 (高圧縮)」にすると圧縮率が最も高くなり、スキャン画像のファイルサイズを小さくできますが、スキャン画像の画質が低下します。

「4 (高画質)」にすると圧縮率が最も低くなり、画質の低下を抑えることができます。

ヒント

[スキャンモード] の [カラーモード] が [カラー] または [グレースケール] の場合に有効です。

複数ページ

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

全てのページ	原稿のすべてのページを 1 つのファイルに保存しません。
1 つのページ	1 ページごとに 1 つのファイルに保存します。

ヒント

[ファイル形式] が [PDF] または [TIFF] の場合に有効です。

OCR 付加

ON にすると、スキャン画像のテキスト部分が認識され、テキストデータが付加された状態で保存されます。

ヒント

[ファイル形式] が [PDF] の場合に有効です。

OCR 言語

[OCR 付加] で認識する言語を設定します。

ヒント

[ファイル形式] が [PDF] の場合に有効です。

プリンターに送信する場合



ホスト名

プリンターのホスト名または IP アドレスを入力します。

モード

パッシブ	スキャナーからプリンターに対して接続要求を行うモードです。
アクティブ	プリンターからスキャナーに対して接続要求を行うモードです。

ユーザー名

送信先のプリンターに接続するためのユーザー名を入力します。

パスワード

送信先のプリンターに接続するためのパスワードを入力します。

設定が完了したら、プリンターへ正しく接続できるかどうか確認します。

[「接続テストを行う \(設定メニューのみ\)」](#) (→ P.109)

その他の設定項目



ジョブ番号

スキャナーに登録するジョブ番号を選択します。空き番号を選択します。

ジョブ名

ジョブの名前を入力します。この名前がコンピューターに表示されます。

アイコン

クリックすると、[アイコン選択] 画面が表示され、アイコンを選択できます。アイコンを追加したり削除したりするには、[「アイコンを管理する \(Web メニューのみ\)」](#) (→ P.87) を参照してください。

スキャン後の画像確認

スキャンした後に画像を確認するかどうかを設定します。

オン	[スキャン画像確認] 画面を表示します。
オフ	[スキャン画像確認] 画面を表示せずに、すぐにファイルを送信します。

ヒント

タッチパネルでスキャンした場合に有効です。

同名ファイルを上書きする

送信先に同名ファイルがあった場合の処理を設定します。

オン	ファイルを上書きします。
オフ	ファイル名の末尾に連番を付与し、別名ファイルとして保存します。

IEEE 802.1X 機能を使用する（管理者向け）

本機は IEEE 802.1X 機能に対応しています。

IEEE 802.1X 設定ツールでは、IEEE 802.1X 認証を導入したネットワークにクライアントとして本機を接続して、セキュリティを確保することができます。詳細は本ツールのヘルプを参照してください。



ヒント

スキャナーが正常に認識されない場合は、「[スキャナーが認識されない。](#)」（→ P.143）を参照してください。

IEEE 802.1X 設定ツールの起動

[スタート] ボタンをクリックし、[Canon DR-S300 シリーズ] - [IEEE 802.1X 設定ツール] の順にクリックしてください。IEEE 802.1X 設定ツールが起動します。

メンテナンス

日常のお手入れ

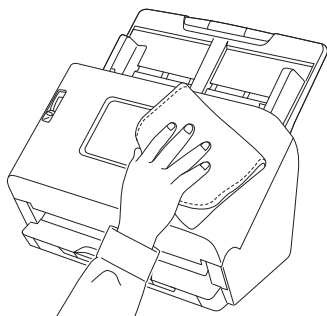
読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

⚠ 注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を含ませて固くしぼった布で汚れを落とし、きれいな乾いた布で拭きます。



タッチパネルの清掃

タッチパネルの清掃は、柔らかい乾いた布でパネルの表面に圧力を加えないように軽く拭いてください。

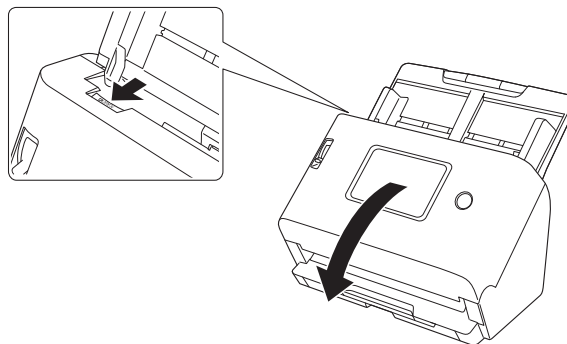
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、ブローアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

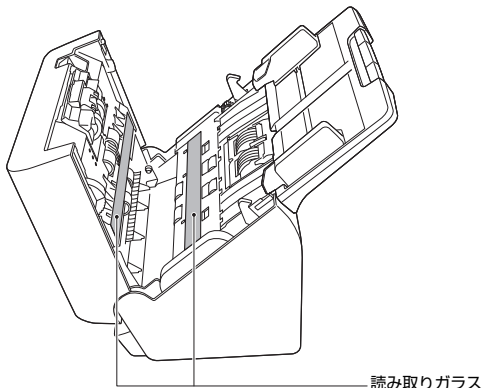
- 1 OPEN レバーを引いて、前ユニットを手前に開きます。



- 2 ブローアなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

3 読み取りガラスの汚れを拭き取ります。

読み取りガラスは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



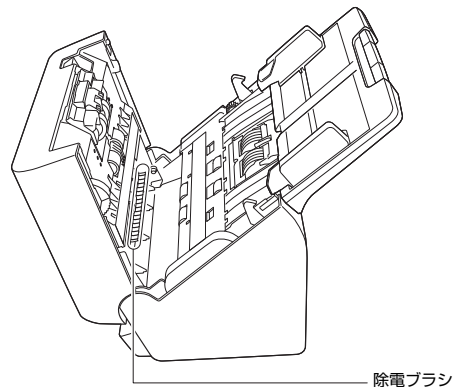
⚠ 注意

水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

❗ 重要

- 読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

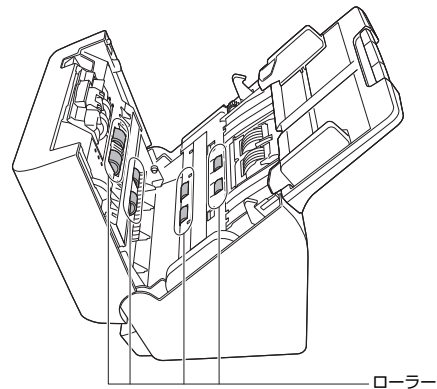
- 前ユニットの内側にある除電ブラシを変形させないように注意してください。



4 ローラーを清掃します。

回転させながら清掃します。

ローラーは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



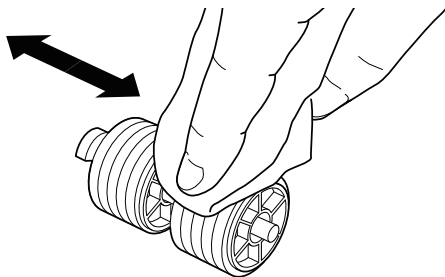
5 給紙ローラーと分離ローラーを取り外します。(→ P.139、P.140)



重要

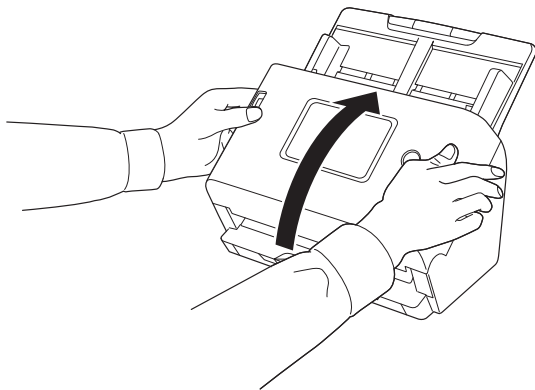
給紙ローラーと分離ローラーは、本体から取り外して清掃し、清掃が終わったら本体に戻してください。

6 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。



7 取り外したローラーを取り付けます。(→ P.139、P.140)

8 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



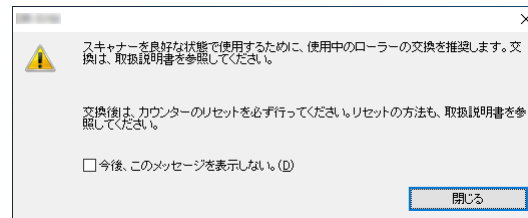
消耗品の交換

スキャナー内部に取り付けられている 2 つのローラー（給紙ローラーと分離ローラー）は消耗品です。スキャンを重ねるにつれて磨耗します。ローラーが磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりや重送の原因となります。

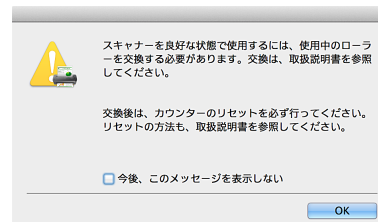
搬送枚数（スキャナーで給紙した原稿の総ページ数）が耐用枚数を超えると、コンピューターやスキャナーの起動時にローラーの交換を求めるメッセージ画面が表示されます。

コンピューターに表示されるメッセージ

Windows



Mac



タッチパネルにメッセージが表示された場合

[OK] をタップするとホーム画面に移動します。

タッチパネルに表示されたメッセージは、ローラーカウンターをリセットすることでクリアできます。ただし、ローラーカウンターをリセットするまではスキャナーの電源をオンにしたときに必ず表示されます。

このメッセージ画面が表示されるようになったら、交換ローラーキットをお買い求めのうえ、キットに含まれる消耗品（給紙ローラーと分離ローラー）に交換してください。交換ローラーキットについては [179 ページ](#) を参照してください。

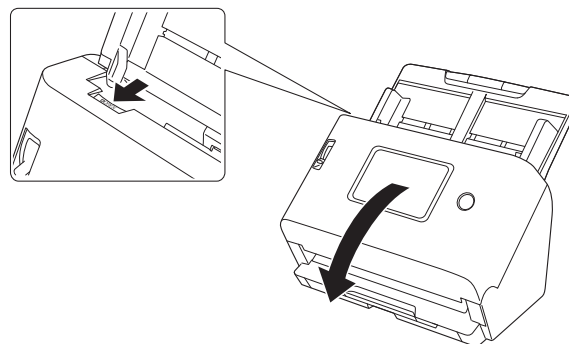
また、ローラーを交換したときは、スキャナー内部に記録されているカウンターもリセットする必要があります。（→ [P.74](#)、[P.76](#)）

ヒント

ローラーの交換時期に達していないときでも、ローラーの磨耗により、スキャン画像が縦方向に伸張されるようになります。この場合は縮率調整を行ってください。（→ [P.141](#)）

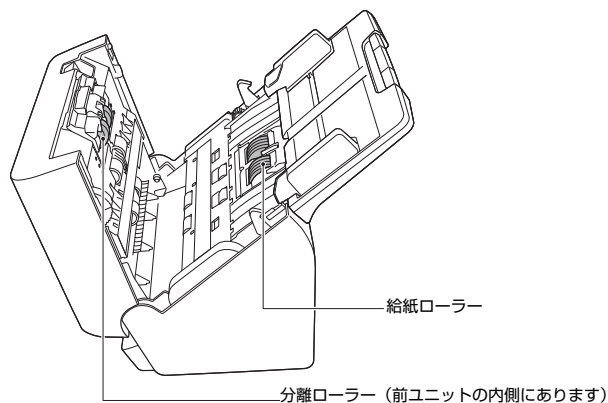
前ユニットの開閉

1 OPEN レバーを引いて、前ユニットを手前に開きます。

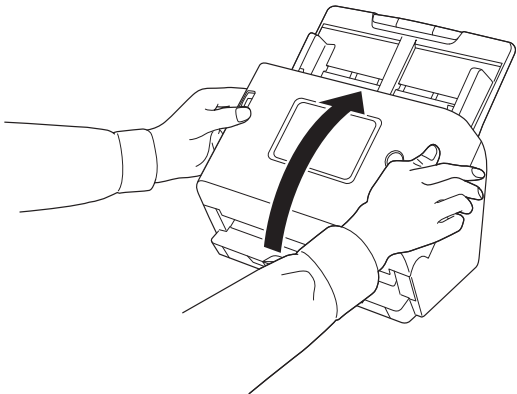


ヒント

交換する消耗品は、それぞれ下記の場所にあります。



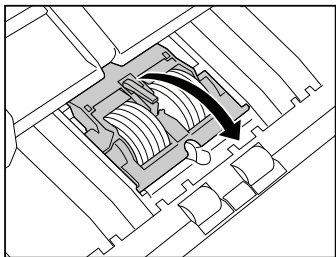
- 2** 前ユニットを閉じるときは、左右を静かに押しながら、カチッと音がするまで確実に閉じます。



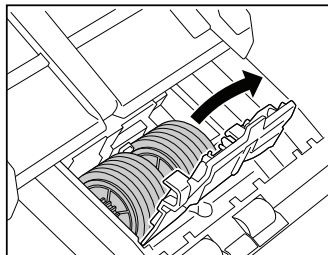
給紙ローラーの交換

ローラーを交換したときは、ローラーカウントをリセットしてください。「ローラー使用枚数を確認する/リセットする」(→P.74)

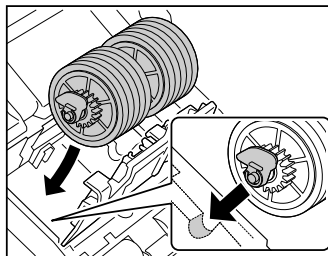
- 1** ローラーカバーを開きます。



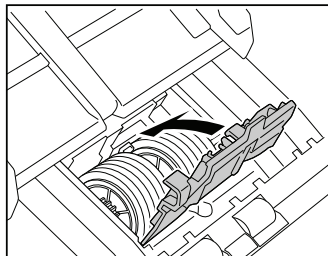
- 2** 給紙ローラーを取り出します。



- 3** 新しい給紙ローラーを取り付けます。



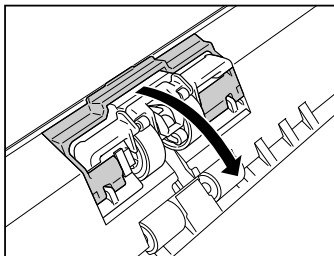
- 4** ローラーカバーを閉じます。



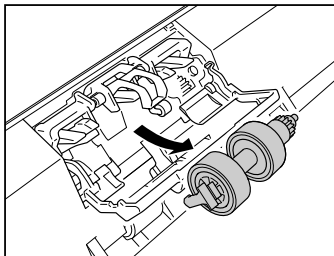
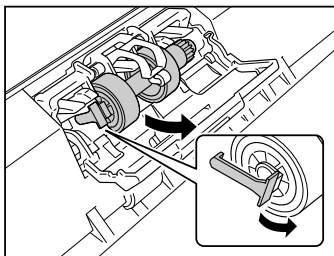
分離ローラーの交換

ローラーを交換したときは、ローラーカウントをリセットしてください。「ローラー使用枚数を確認する／リセットする」(→P.74)

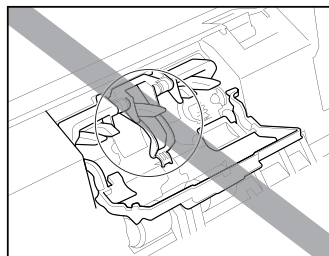
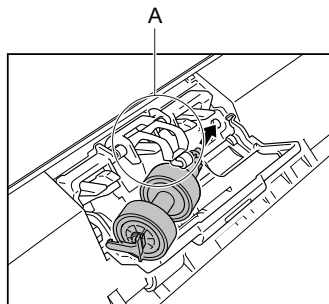
- 1** ローラーカバーを開きます。



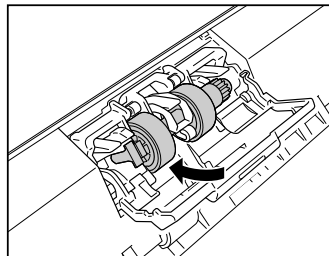
- 2** 分離ローラーをスキヤナーに固定している左側のレバーを引いて分離ローラーを取り外します。



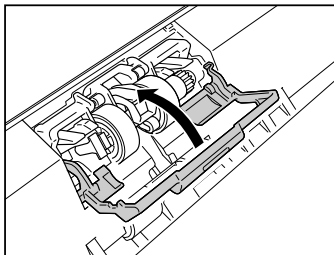
- 3** Aのパーツが上がっていることを確認し、Aのパーツの下から、新しい分離ローラーの右側を先にスキヤナーに取り付けます。



- 4** 分離ローラーの左側を押して、スキヤナーに固定します。

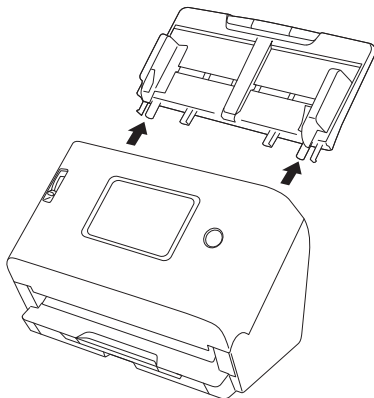


5 ローラーカバーを閉じます。



給紙トレイの取り外し

本製品を保管するときなど、長期間使用しないときは、給紙トレイを取り外してください。



Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて **Windows**

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールでは、本製品の情報を確認したり、メンテナンスの設定を行ったりすることができます。詳細は本ツールのヘルプを参照してください。

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの構成

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールは次のタブで構成されています。

【情報】 タブ

ファームのバージョン情報やスキャナーの情報を確認することができます。

【メンテナンス】 タブ

ローラーのカウンターをリセットしたり、縮率調整を行ったりすることができます。

【制御】 タブ

ハードウェアやドライバーの制御設定を行ったり、制御設定の書き出し、読み込みを行ったりすることができます。ハードウェアの設定からは、自動電源オフ機能の設定を行えます。

【診断】 タブ

ログファイルの出力や削除を行うことができます。

【ネットワークモニター】 タブ

ネットワーク上のスキャナーを確認することができます。また、スキャナーの各種設定を行う Web メニュー画面を表示させることができます。[「設定する」](#) (→ P.62)

! 重要

USB 接続時のみ Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで各種設定をすることができます。有線 LAN または Wi-Fi 接続時は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定は反映されません。

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの 起動

[スタート] ボタンをクリックし、[Canon DR-S300 シリーズ] - [Canon imageFORMULA ドライバー設定ツール] の順にクリックしてください。Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールが起動します。

困ったときには

ここでは、お問い合わせの多いトラブルの対処方法を説明します。

スキャナー本体のトラブル → P.143

スキャン時のトラブル → P.149

Web メニューのトラブル → P.163

スキャナードライバーや CaptureOnTouch に付属のヘルプも参照してください。

お問い合わせの多い質問とその回答をまとめた「よくある質問」(→ P.165) も合わせてお読みください。

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口 (→ P.177) にご相談ください。

スキャナー本体のトラブル

■ スキャナーの電源が入らない。

電源プラグがコンセントに接続されていない。	AC アダプターの電源プラグが確実にコンセントに接続されていることを確認してください。
コンセントが機能していない。	お使いのコンセントが機能しているか確認してください。別の機器をコンセントに接続し、電源が入るか確認してください。

■ スキャナーの電源が自動的に切れる。

スキャナーの自動電源オフ機能が有効になっている。	スキャナーの自動電源オフ機能が有効になっていると、接続中かどうかにかかわらず4時間経過後にスキャナーの電源が自動的にオフになります。 スキャナーの電源を入れ直し、必要に応じてスキャナーの自動電源オフ機能を無効にしてください。(→ P.80)
--------------------------	---

■ スキャナーが認識されない。

<USB 接続 >

スキャナーの電源が入っていない。	スキャナーの電源が入っているか確認してください。(→ P.24)
スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none">スキャナーとコンピューターを接続している USB ケーブルを、しっかりと差し込んでください。USB ケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときは USB ケーブルを変えてみてください。
コンピューターの USB インターフェイスがスキャナーに対応していない。	本製品は、すべての USB インターフェイスでの動作を保証していません。

付属の USB ケーブル以外のケーブルを使用している。	付属のUSBケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販のUSBケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
USB ハブを経由してスキャナーとコンピューターを接続している。	USB ハブを取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
スキャナードライバーがインストールされていない。	USB 接続で使用する場合はスキャナードライバーが必要です。セットアップガイドを参照してスキャナードライバーをインストールしてください。
COT Admin モードになっている。	スキャナーが COT Admin モードの場合、コンピューターと USB 接続されていても認識されません。

< 有線 LAN 接続 >

スキャナーの電源が入っていない。	スキャナーの電源が入っているか確認してください。(→ P.24)
LAN ケーブルが正しく接続されていない。	LAN ケーブルがスキャナーやコンピューター、ネットワーク機器などの LAN ポートに正しく接続されていることを確認してください。
IP アドレスが正しく指定されていない。	IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。[IP アドレスを自動的に取得する] が有効の場合は、同一ネットワーク上に DHCP サーバーが存在するか確認してください。(→ P.93)
DHCP サーバーがネットワーク上に存在しない。	DHCP サーバーがネットワーク上に存在しない場合は、固定 IP アドレスを使用する必要があります。スキャナーの設定メニューで、手動で IP アドレスを設定してください。(→ P.95)
IP アドレスが別の機器と競合している。	設定した IP アドレスがすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡して IP アドレスの設定を変更してください。
スキャナー名が別のスキャナーと競合している。	設定したスキャナー名がすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡してスキャナー名を変更してください。本機を 2 台以上導入したときはスキャナー名を重複させないように注意してください。
スキャナードライバーがインストールされていない。	CaptureOnTouch を使用する場合はスキャナードライバーが必要です。セットアップガイドを参照してスキャナードライバーをインストールしてください。
スキャナーの IP アドレスやスキャナー名が変更されている。	IP アドレスやスキャナー名が変更されると、スキャナーを再選択する必要が生じる場合があります。お使いのソフトウェアで正しいスキャナーを選択しているかどうか、また、正しいスキャナーを操作しているかどうか確認してください。
コンピューターとスキャナーが接続しているセグメントが異なる。	接続しているセグメントが異なる場合は、特別な設定が必要です。Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを使い、手動で IP アドレスを設定します。具体的な操作方法については、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールのヘルプをご参照ください。

<p>ファイアウォールで mDNS ポートが開放されていない。</p>	<p>Windows</p> <p>以下の手順に従ってファイアウォールの設定をし、mDNS ポートを開放してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロール パネル] をクリックします。 (2) [システムとセキュリティ] をクリックします。 (3) [Windows Defender ファイアウォール] をクリックします。 (4) [詳細設定] をクリックし、[セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] 画面を開きます。 (5) [受信の規則] をクリックします。 (6) [新しい規則] をクリックし、[新規の受信の規則ウィザード] を開きます。 (7) [カスタム] を選択し、[次へ] をクリックします。 (8) [このプログラムのパス] を選択し、下記のパスを指定して [次へ] をクリックします。 C:\ProgramFiles(x86)\Canon Electronics\SharedFiles\DriverNetworkMonitor.exe (9) 各項目について下記の設定をして [次へ] をクリックします。 プロトコルの種類：UDP ローカル ポート：特定のポート ポート番号：5353 リモート ポート：特定のポート ポート番号：5353 (10) ローカル IP アドレス、リモート IP アドレスともに [任意の IP アドレス] を選択し、[次へ] をクリックします。 (11) [接続を許可する] を選択し、[次へ] をクリックします。 (12) 規則の適用範囲を指定し、[次へ] をクリックします。 (13) 任意の名前を入力し、[完了] をクリックします。
<p>セキュリティソフトウェアの設定が原因である。</p>	<p>セキュリティソフトウェアの設定が原因で接続できないことがあります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
<p>ネットワークに大きな負荷がかかっている。</p>	<p>ネットワークトラフィックの状況を確認してください。ネットワークに大きな負荷がかかると、処理に時間がかかり、タイムアウトになることがあります。一定時間待ってから、接続し直してください。状況が改善しない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
<p>スキャナーのタイムゾーンと時刻が正しく設定されていない。</p>	<p>スキャナーのタイムゾーンと時刻が正しく設定されていないと、通信が正常に行えなくなる場合があります。タイムゾーンと時刻が正しく設定されているか確認してください。(→ P.70、P.77)</p>

<Wi-Fi 接続>

スキャナーの電源が入っていない。	スキャナーの電源が入っているか確認してください。(→ P.24)
IP アドレスが正しく指定されていない。	IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。[IP アドレスを自動的に取得する] が有効の場合は、同一ネットワーク上に DHCP サーバーが存在するか確認してください。(→ P.93)
DHCP サーバーがネットワーク上に存在しない。	DHCP サーバーがネットワーク上に存在しない場合は、固定 IP アドレスを使用する必要があります。スキャナーの設定メニューで、手動で IP アドレスを設定してください。(→ P.95)
IP アドレスが別の機器と競合している。	設定した IP アドレスがすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡して IP アドレスの設定を変更してください。
スキャナー名が別のスキャナーと競合している。	設定したスキャナー名がすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡してスキャナー名を変更してください。本機を 2 台以上導入したときはスキャナー名を重複させないように注意してください。
スキャナードライバーがインストールされていない。	CaptureOnTouch を使用する場合はスキャナードライバーが必要です。セットアップガイドを参照してスキャナードライバーをインストールしてください。
スキャナーの IP アドレスやスキャナー名が変更されている。	IP アドレスやスキャナー名が変更されると、スキャナーを再選択する必要が生じる場合があります。お使いのソフトウェアで正しいスキャナーを選択しているかどうか、また、正しいスキャナーを操作しているかどうか確認してください。
コンピューターとスキャナーが接続しているセグメントが異なる。	接続しているセグメントが異なる場合は、特別な設定が必要です。 Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを使い、手動で IP アドレスを設定します。具体的な操作方法については、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールのヘルプをご参照ください。



<p>ファイアウォールで mDNS ポートが開放されていない。</p>	<p>Windows</p> <p>以下の手順に従ってファイアウォールの設定をし、mDNS ポートを開放してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロール パネル] をクリックします。 (2) [システムとセキュリティ] をクリックします。 (3) [Windows Defender ファイアウォール] をクリックします。 (4) [詳細設定] をクリックし、[セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] 画面を開きます。 (5) [受信の規則] をクリックします。 (6) [新しい規則] をクリックし、[新規の受信の規則ウィザード] を開きます。 (7) [カスタム] を選択し、[次へ] をクリックします。 (8) [このプログラムのパス] を選択し、下記のパスを指定して [次へ] をクリックします。 C:¥ProgramFiles(x86)¥Canon Electronics¥SharedFiles¥DriverNetworkMonitor.exe (9) 各項目について下記の設定をして [次へ] をクリックします。 プロトコルの種類：UDP ローカル ポート：特定のポート ポート番号：5353 リモート ポート：特定のポート ポート番号：5353 (10) ローカル IP アドレス、リモート IP アドレスともに [任意の IP アドレス] を選択し、[次へ] をクリックします。 (11) [接続を許可する] を選択し、[次へ] をクリックします。 (12) 規則の適用範囲を指定し、[次へ] をクリックします。 (13) 任意の名前を入力し、[完了] をクリックします。
<p>セキュリティソフトウェアの設定が原因である。</p>	<p>セキュリティソフトウェアの設定が原因で接続できないことがあります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
<p>ネットワークに大きな負荷がかかっている。</p>	<p>ネットワークトラフィックの状況を確認してください。ネットワークに大きな負荷がかかると、処理に時間がかかり、タイムアウトになることがあります。一定時間待ってから、接続し直してください。状況が改善しない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
<p>アクセスポイントと正しく接続されていない。</p>	<p>ネットワーク管理者に問い合わせ、設定を確認してください。</p>
<p>アクセスポイントで、mDNS が開放されていない。</p>	<p>ネットワーク管理者に問い合わせ、設定を確認してください。</p>
<p>スキャナーのタイムゾーンと時刻が正しく設定されていない。</p>	<p>スキャナーのタイムゾーンと時刻が正しく設定されていないと、通信が正常に行えなくなる場合があります。タイムゾーンと時刻が正しく設定されているか確認してください。(→ P.70、P.77)</p>

■ ネットワークに自動接続できない。

< 有線 LAN 接続 >

IP アドレスが正しく設定されていない。	ネットワーク環境が DHCP に対応している場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。DHCP に対応していない場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
----------------------	---

< Wi-Fi 接続 >

IP アドレスが正しく設定されていない。	ネットワーク環境が DHCP に対応している場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。DHCP に対応していない場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
アクセスポイントと正しく接続されていない。	ネットワーク管理者に問い合わせ、設定を確認してください。
Wi-Fi 接続の設定がされていない。	タッチパネルの上部に表示される接続状態が  になっていたら、Wi-Fi 接続の設定をしてください。(→ P.97, P.103)
接続している SSID が異なっている。	コンピューターやスマートデバイスをスキャナーと同じ SSID に接続してください。
アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っている。	<p>アクセスポイントで以下を設定している場合、設定に応じて対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポイントの無線機器間の通信を許可してください。(プライバシーセパレーター機能やポートセパレーター機能など) • アクセスポイントの SSID ブロードキャストを許可してください。または手動で Wi-Fi 設定をしてください。 • アクセスポイントにプロトコルを設定してください。 • ステルス機能を無効にしてから、再度 WPS の機能を使用して Wi-Fi 設定をしてください。または手動で Wi-Fi 設定をしてください。 • 本製品の MAC アドレスをアクセスポイントに設定してから、再度、Wi-Fi 設定をしてください。 • ほかのアクセスポイントとチャンネルが重複している可能性があります。アクセスポイントのチャンネルの値を変更してください。
DNS サーバーが正しく設定されていない。	DNS サーバーの設定を確認してください。(→ P.96)
スキャナーとアクセスポイントが接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機は IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b、IEEE802.11a に対応しています。アクセスポイントがいずれかに対応していることを確認してください。 • 本機は WPA、WPA2、WPA3 に対応しています。アクセスポイントがいずれかに対応していることを確認してください。 • WPS の機能を使う場合は、プッシュボタン方式で接続してください。本機は、PIN コード方式には対応していません。
直前まで接続していたアクセスポイントへの接続に失敗した。	タッチパネルの上部に表示される接続状態が  になっていたら、スキャナーを再起動してください。接続したいアクセスポイントとの通信をリトライすることができます。状況が改善しない場合は、アクセスポイントが正しく動作していない可能性があります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。

■ 管理者でログインできない。

管理者パスワードを忘れた。	工場出荷状態に戻す (→ P.84) と、管理者パスワードを工場出荷状態に戻すことができます。
---------------	---

スキャン時のトラブル

給紙のトラブル

■ 給紙が始まらない。

原稿が奥まで差し込まれていない。	原稿を奥まで差し込んでください。(→ P.28)
コンピューターと通信できていない。	(1) USB ケーブルまたは LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 (2) 改善しない場合は、USB ケーブルまたは LAN ケーブルを抜き差ししてください。 (3) それでも改善しない場合は、スキャナーとコンピューターを再起動してください。
原稿が給紙トレイに正しくセットされていない。	原稿の先端がカールしている場合は先端を伸ばしてセットしてください。 薄い原稿の場合は、紙の先端がストッパーに当たるまで押し込んでください。

<USB 接続>

Windows のロックエラーが頻発する。	Windows Windows が USB 通信制御に失敗している可能性があります。Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで [OS による USB 接続制御を使用しない] にチェックを付けてください。
-----------------------	---

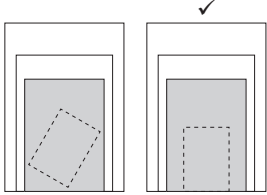
<有線 LAN 接続>

正しいスキャナーを操作・選択していない。	お使いのソフトウェアで正しいスキャナーを選択しているかどうか、また、正しいスキャナーを操作しているかどうか確認してください。
HTTP 通信がブロックされている。	ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能が、スキャンのための通信を妨げている可能性があります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。

<Wi-Fi 接続>

正しいスキャナーを操作・選択していない。	お使いのソフトウェアで正しいスキャナーを選択しているかどうか、また、正しいスキャナーを操作しているかどうか確認してください。
HTTP 通信がブロックされている。	ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能が、スキャンのための通信を妨げている可能性があります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。

■ 原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

原稿と原稿ガイドの間に隙間がある。	原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
給紙補助サポートを開いていない。	給紙補助サポートを開いて原稿をセットしてください。
ローラーが汚れている。	ローラーを清掃してください。（→ P.135）
ローラーが消耗している。	ローラーを交換してください。（→ P.139、 P.140）
スキャナーの内部が汚れている。	スキャナーの内部にゴミなどの異物があると、原稿が正しく搬送されません。スキャナーの内部を清掃してください。
原稿束に異なるサイズが混ざっている場合に、原稿の先端がそろっていない。	<p>原稿の先端をそろえてください。</p> 

<CaptureOnTouch でスキャン>

傾きを自動で補正する機能が有効になっていない。	[スキャンモード] の [画像の傾きを自動で補正する] で [搬送時の原稿の傾きを補正する] または [画像の傾きを補正する] を設定してください。
-------------------------	--

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

傾きを自動で補正する機能が有効になっていない。	[用紙サイズ] を [自動] に設定してください。[自動] 以外では傾きを自動で補正する機能が無効になります。
-------------------------	---

<その他のアプリケーションでスキャン>

傾きを自動で補正する機能が有効になっていない。	<p>Windows</p> <p>スキャナードライバーの設定画面で、[基本] タブの [傾きを自動で補正する] をオンにしてください。</p> <p>Mac</p> <p>スキャナードライバーの設定画面で、[斜行補正する] をオンにしてください。</p>
-------------------------	--

■ 原稿が詰まる。

ローラーが正しく取り付けられていない。	ローラーを正しく取り付けてください。(→ P.139、P.140)
ローラーが汚れている。	ローラーを清掃してください。(→ P.135)
原稿同士がくっついている。	原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
上記を解消しても、トラブルが解決しない場合	給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えて、1枚ずつ手差し給紙でスキャンしてください。

■ 原稿が重送する。

ローラーが正しく取り付けられていない。	ローラーを正しく取り付けてください。(→ P.139、P.140)
ローラーが汚れている。	ローラーを清掃してください。(→ P.135)
原稿同士がくっついている。	原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
上記を解消しても、トラブルが解決しない場合	給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えて、1枚ずつ手差し給紙でスキャンしてください。
原稿の先端がそろっていない。	原稿の先端がそろっていないと、重送する場合があります。原稿の先端をそろえてください。

■ プラスチックカードや封筒、冊子が重送と誤検知される。

<CaptureOnTouch でスキャン>

超音波重送検知が有効になっている。	<p>Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細設定ダイアログボックスの [エラー検知] タブで、[超音波で検知] にチェックを付けてください。 詳細設定ダイアログボックスの [その他] タブで、[継続モード] にチェックを付けてください。 <p>Mac</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細設定ダイアログボックスの [重送を検知する] にチェックを付けるか、検知方法を [長さで検知] に設定してください。 詳細設定ダイアログボックスの [継続モード] にチェックを付けてください。
-------------------	---

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

超音波重送検知が有効になっている。	スキャナーの設定メニューで一時的に重送検知を無効にしてください。(→ P.90)
-------------------	--

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

超音波重送検知が有効になっている。	アプリケーションのヘルプを参照してください。
-------------------	------------------------

< その他のアプリケーションでスキャン >

超音波重送検知が有効になっている。	<p>Windows</p> <ul style="list-style-type: none">• スキャナードライバーの設定画面で、[エラー検知] タブの [超音波で検知] にチェックを付けてください。• スキャナードライバーの設定画面で、[その他] タブの [継続モード] にチェックを付けてください。 <p>Mac</p> <ul style="list-style-type: none">• スキャナードライバーの設定画面で、[重送を検知する] にチェックを付けるか、検知方法を [長さで検知] に設定してください。• スキャナードライバーの設定画面で、[詳細設定] ダイアログボックスの [継続モード] にチェックを付けてください。 <p>または、スキャナーの設定メニューで一時的に重送検知機能を無効にしてください。(→ P.90)</p>
-------------------	---

ソフトウェア・スキャナードライバーのトラブル

■ ページが抜ける (足りない)。

原稿が重送している。	「 原稿が重送する。 」(→ P.151) を参照してください。
------------	--

< CaptureOnTouch でスキャン >

白紙スキップ機能が有効になっている。	詳細設定ダイアログボックスで [読み取り面] が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除 (スキップ) されることがあります。白紙スキップのしやすさの値を小さくしてください。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。 または、詳細設定ダイアログボックスで [読み取り面] を [白紙をスキップする] 以外にしてください。
--------------------	---

< CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン >

白紙スキップ機能が有効になっている。	CaptureOnTouch Lite Web 機能の [読取面] が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除 (スキップ) されることがあります。[読取面] を [白紙をスキップする] 以外に設定してください。 ジョブが白紙をスキップする設定になっている場合は、ジョブの設定を変更してください。(→ P.47、P.121)
--------------------	---

< Mopria 対応デバイスでスキャン >

原稿が重なって搬送されている。	原稿をさばいてセットしなおしてください。
-----------------	----------------------

< その他のアプリケーションでスキャン >

白紙スキップ機能が有効になっている。	スキャナードライバーの設定画面で、[読み取り面] が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除 (スキップ) されることがあります。白紙スキップのしやすさの値を小さくしてください。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。 または、スキャナードライバーの設定画面で [読み取り面] を [白紙をスキップする] 以外にしてください。
--------------------	---

■ セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない。

< CaptureOnTouch でスキャン >

白紙スキップ機能が有効になっている。	詳細設定ダイアログボックスで [読み取り面] が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除 (スキップ) されることがあります。白紙スキップのしやすさの値を小さくしてください。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。 または、詳細設定ダイアログボックスで [読み取り面] を [白紙をスキップする] 以外にしてください。
バッチ区切りの区切り用紙が破棄されている。	CaptureOnTouch の [バッチ区切りの設定] で、[区切り用紙] を [破棄する] に設定している場合は、[現在のドキュメントに含める] か [新規ドキュメントに含める] に設定してください。

< CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン >

白紙スキップ機能が有効になっている。	CaptureOnTouch Lite Web 機能の [読取面] が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除 (スキップ) されることがあります。[読取面] を [白紙をスキップする] 以外に設定してください。 ジョブが白紙をスキップする設定になっている場合は、ジョブの設定を変更してください。(→ P.47、P.121)
--------------------	---

< Mopria 対応デバイスでスキャン >

スキャン中にネットワーク接続が切断されている。	スキャン中にネットワーク接続が切断されていないか確認し、再度スキャンしてください。
-------------------------	---

< その他のアプリケーションでスキャン >

原稿の追加を待機している。	スキャナードライバーの設定画面で、[給紙オプション] を [パネルで給紙] または [自動給紙] に設定していると、アプリケーションによっては、タッチパネルの [ストップ] をタップしてスキャン動作が終了するまで、スキャン画像が表示されないことがあります。
白紙スキップ機能が有効になっている。	スキャナードライバーの設定画面で、[読み取り面] の設定が [白紙をスキップする] に設定されていて、読み取った全ての原稿が白紙と判定されると、スキャン画像が出力されません。 白紙スキップのしやすさの値を小さくする、もしくは、[読み取り面] を [白紙をスキップする] 以外の設定にしてください。

■ スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

<CaptureOnTouch でスキャン>

コンピューターのメモリーが不足している。	コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。 <ul style="list-style-type: none">• [カラーモード] を [カラー] にする• [用紙サイズ] で大きな用紙サイズ (リーガルなど) を指定する。または [最大サイズ] にする• [解像度] で高い解像度 (600dpi など) を指定する スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更 (たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど) してからスキャンをやり直してください。また、[モアレ除去] や [裏写り / 地色除去] をオンにしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。
----------------------	--

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

スキャンした画像データによって、メモリーが不足している。	スキャナーのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、一度にスキャンする原稿を減らす、もしくは、スキャン条件を変更 (たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど) してから、スキャンをやり直してください。
------------------------------	--

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

スキャンした画像データによって、メモリーが不足している。	一度にスキャンする原稿を減らして再度スキャンしてください。または、解像度を小さくしてスキャンしてください。
------------------------------	---

<その他のアプリケーションでスキャン>

スキャンした画像データによって、メモリーが不足している。	スキャナードライバーの設定を見直すか、アプリケーションのヘルプを参照してください。
------------------------------	---

■ スキャナードライバーで設定したとおりにスキャンされない。

<CaptureOnTouch でスキャン>

CaptureOnTouch の設定が優先されている。	CaptureOnTouch のヘルプの「トラブル Q & A」を参照ください。CaptureOnTouch で登録したスキャンモードパネルを使用してスキャンした場合、スキャナードライバーの設定よりも CaptureOnTouch の設定が優先されます。スキャンモードパネルの設定を変更するか、スキャン条件に合わせて新しいスキャンモードパネルを作成してください。
-----------------------------	---

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

Mopria 対応アプリケーションの問い合わせ先にお問い合わせください。

<その他のアプリケーションでスキャン>

<p>スキャナードライバーの設定よりも、優先されている設定がある。</p>	<p>Windows</p> <p>Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで [初期値から設定を変更できないようにする] が有効になっていると、常に初期値でスキャンされます。ドライバー設定ツールの設定を確認してください。</p> <p>スキャナーの設定メニューで一時的に重送検知を無効にする、または一時的にパスポートモードにする設定がされている場合は、これらの設定が優先されます。スキャナーの設定メニューの設定を確認してください。(→ P.90、P.90)</p> <p>アプリケーションによっては、スキャナードライバーで行った設定を変更してスキャンすることがあります。アプリケーションのヘルプを参照してください。</p>
---------------------------------------	--

■ スキャンに時間がかかる。

<p>他のアプリケーションソフトとコンピューターのリソースが競合している。</p>	<p>他のアプリケーションソフトによってシステムのメモリーが不足したり、ストレージへのアクセスが増加したりすると、スキャン速度が遅くなる場合があります。このようなソフトを終了してからスキャンしてください。</p>
<p>ウィルス対策ソフトウェアなどが監視している。</p>	<p>ウィルス対策ソフトウェアなどによって一時ファイルやメモリーへのアクセスが監視されると、スキャン速度が遅くなる場合があります。この場合には、ウィルス対策ソフトウェアを終了するか、監視対象から外してください。</p>
<p>コンピューターのストレージの空き容量が不足している。</p>	<p>コンピューターのストレージの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル(一時的にスキャンデータを保存したファイル)が作成できません。ストレージ上のデータを整理して空き容量を確保してください。</p>
<p>長尺モードでスキャンしている。</p>	<p>スキャン中、タッチパネルに長尺モードでスキャン中と表示されている場合は、長尺モードを解除してください。(→ P.60)</p>

<USB 接続>

<p>コンピューターの USB ポートが高速な規格に対応していない。</p>	<p>コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 や USB3.2 Gen1x1 などの高速な規格に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。</p>
<p>UEBケーブルがUSB3.2 Gen1x1に対応していない。</p>	<p>USB3.2 Gen1x1に対応していない市販のUSBケーブルを使用している場合は、付属のUSBケーブル(USB3.2 Gen1x1対応)に換えてください。</p>
<p>USBハブがUSB3.2 Gen1x1に対応していない。</p>	<p>USB3.2 Gen1x1に対応していないUSBハブを経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USBハブを取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。</p>

< 有線 LAN 接続 >

ネットワークに大きな負荷がかかっている。	ネットワークトラフィックの状況を確認してください。ネットワークに大きな負荷がかかると、処理に時間がかかることがあります。一定時間待ってから、接続し直してください。状況が改善しない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
低速なケーブルや通信装置が使われている。	LAN ケーブルやコンピューターの LAN ポート、ハブやルーターなどの通信装置を、より高速に通信できるものに変更すると、速度が改善する可能性があります。

< Wi-Fi 接続 >

ネットワークに大きな負荷がかかっている。	ネットワークトラフィックの状況を確認してください。ネットワークに大きな負荷がかかると、処理に時間がかかることがあります。一定時間待ってから、接続し直してください。状況が改善しない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
低速なアクセスポイントやケーブル、通信装置が使われている。	アクセスポイントやルーター、ハブ、LAN ケーブル、コンピューターの Wi-Fi カードやアダプターなどの通信装置をより高速に通信できるものに変更したり、アクセスポイントとの接続をより高速な通信規格に変更したりすると、速度が改善する可能性があります。
電波が干渉している。	スキャナーおよびアクセスポイントを、電波の干渉が発生するような機器（電子レンジやコードレス電話など）や無線機器から離してください。（→ P.12）
スキャナーとアクセスポイントの間の電波が弱い。	<ul style="list-style-type: none">スキャナーをアクセスポイントに近づけてください。スキャナーおよびアクセスポイントを、電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）から離してください。スキャナーの向きを変えてください。電波の状態が良好でも、ノイズなどの電波障害の影響により、特定の周波数帯または特定の無線チャンネルで通信が不安定になることがあります。必要に応じて、アクセスポイントで無線チャンネルの値を変更してください。詳細は、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

< CaptureOnTouch でスキャン >

CaptureOnTouch のヘルプの「トラブル Q & A」を参照ください。

< CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン >

ネットワークに大きな負荷がかかっている。	ネットワークトラフィックの状況を確認してください。ネットワークに大きな負荷がかかると、処理に時間がかかることがあります。一定時間待ってから、接続し直してください。状況が改善しない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
----------------------	--

< その他のアプリケーションでスキャン >

アプリケーションのヘルプを参照してください。

■ 保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない。

アプリケーションソフトが圧縮された TIFF ファイルに対応していない。	TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。
--------------------------------------	--

<CaptureOnTouch でスキャン>

アプリケーションソフトが圧縮された TIFF ファイルに対応していない。	CaptureOnTouch のヘルプの「TIFF ファイルを設定する」を参照してください。
--------------------------------------	--

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

ZIP ファイルを解凍できない。	CaptureOnTouch Lite Web 機能は、スキャンした画像を ZIP ファイルにしてデバイスに保存します。画像を取り出すためには、ZIP ファイルを展開してください。
アプリケーションソフトがマルチページ TIFF に対応していない。	スキャン画像をマルチページ TIFF ファイルとして保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

Mopria 対応アプリケーションの問い合わせ先にお問い合わせください。

<その他のアプリケーションでスキャン>

アプリケーションソフトがマルチページ TIFF に対応していない。	スキャン画像をマルチページ TIFF ファイルとして保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。
-----------------------------------	--

■ 複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

<CaptureOnTouch でスキャン>

複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できないファイル形式で保存しようとしている。	CaptureOnTouch のヘルプの「トラブル Q & A」を参照ください。 CaptureOnTouch で保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を 1 つのファイルに保存できるものとできないものがあります。 保存できる形式：TIFF、PDF 保存できない形式：JPEG、PNG、BMP
---	---

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できないファイル形式で保存しようとしている。	保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を 1 つのファイルに保存できるものとできないものがあります。 保存できる形式：TIFF、PDF 保存できない形式：JPEG、PNG、BMP
---	---

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

Mopria 対応アプリケーションの問い合わせ先にお問い合わせください。

<その他のアプリケーションでスキャン>

アプリケーションのヘルプを参照してください。


■ CaptureOnTouch の UI 画面が乱れる。

<CaptureOnTouch でスキャン>

登録しているスキャンモードパネルや、出力先パネル、お気に入りパネルの数が多い。	登録しているスキャンモードパネルや、出力先パネル、お気に入りパネルの数が多いと、お使いのコンピュータによっては、UI 画面が乱れたりすることがあります。使用していないパネルを削除してください。
---	--

■ スキャナーに登録したジョブが表示されない。

<Wi-Fi 接続>

Wi-Fi 接続の設定がされていない。	タッチパネルの上部に表示される接続状態が  になっていたら、Wi-Fi 接続の設定をしてください。(→ P.97、P.103)
---------------------	--

スキャン品質のトラブル

■ サイズ検知や斜行補正に失敗する。

<CaptureOnTouch でスキャン>

原稿の縁がまっすぐでない。	ミシン目で切り取った縁がギザギザしている原稿や、縁が斜めに切られている原稿、縁が曲がっている原稿では、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。 [スキャンモード] の [用紙サイズ] を A4 や Letter などの定型サイズにしてください。または [画像の傾きを自動で補正する] を [OFF] にしてください。
原稿の縁が黒い。	縁が黒い原稿では、サイズ検知や斜行補正に失敗したり、原稿の端部が書けたりすることがあります。 [スキャンモード] の [用紙サイズ] を A4 や Letter などの定型サイズにしてください。または [画像の傾きを自動で補正する] を [OFF] にしてください。

<p>詳細設定ダイアログボックスで【原稿の種類】を【キャリアシート】に設定した状態で、縁が黒い原稿をキャリアシートに入れずそのままセットしてスキャンしている。</p>	<p>詳細設定ダイアログボックスで【原稿の種類】を【キャリアシート】に設定していると、縁が黒い原稿をキャリアシートに入れずそのままセットしてスキャンした場合に、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。</p> <p>詳細設定ダイアログボックスで【用紙サイズ】を A4 や Letter などの定型サイズやカスタム用紙サイズにしてください。または【傾きを自動で補正する】(Windows) / 【斜行補正する】(macOS) のチェックを外してください。または【原稿の種類】を【普通紙】に設定してください。</p>
---	---

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

<p>原稿の縁がまっすぐでない。</p>	<p>マシン目で切り取った縁がギザギザしている原稿や、縁が斜めに切られている原稿、縁が曲がっている原稿では、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。</p> <p>また、【用紙サイズ】で【自動】以外の定型サイズを選択してください。</p>
<p>原稿の縁が黒い。</p>	<p>マシン目で切り取った縁がギザギザしている原稿や、縁が斜めに切られている原稿、縁が曲がっている原稿では、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。</p> <p>また、【用紙サイズ】で【自動】以外の定型サイズを選択してください。</p>

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

Mopria 対応アプリケーションの問い合わせ先にお問い合わせください。

<その他のアプリケーションでスキャン>

<p>原稿の縁がまっすぐでない。</p>	<p>マシン目で切り取った縁がギザギザしている原稿や、縁が斜めに切られている原稿、縁が曲がっている原稿では、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。</p> <p>スキャナードライバーの設定画面で、【用紙サイズ】を A4 や Letter などの定型サイズやカスタム用紙サイズにしてください。または【傾きを自動で補正する】(Windows) / 【斜行補正する】(macOS) のチェックを外してください。</p>
<p>原稿の縁が黒い。</p>	<p>縁が黒い原稿では、サイズ検知や斜行補正に失敗したり、原稿の端部が書けたりすることがあります。</p> <p>スキャナードライバーの設定画面で、【用紙サイズ】を A4 や Letter などの定型サイズやカスタム用紙サイズにしてください。または【傾きを自動で補正する】(Windows) / 【斜行補正する】(macOS) のチェックを外してください。</p>
<p>スキャナードライバーの【原稿の種類】を【キャリアシート】に設定した状態で、縁が黒い原稿をキャリアシートに入れずそのままセットしてスキャンしている。</p>	<p>スキャナードライバーの設定画面で、【原稿の種類】を【キャリアシート】に設定していると、縁が黒い原稿をキャリアシートに入れずそのままセットしてスキャンした場合に、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。</p> <p>スキャナードライバーの設定画面で、【用紙サイズ】を A4 や Letter などの定型サイズやカスタム用紙サイズにしてください。または【傾きを自動で補正する】(Windows) / 【斜行補正する】(macOS) または【原稿の種類】を【普通紙】に設定してください。</p>

■ スキャン画像に白線 / すじが発生する。

読み取りガラスやローラーが汚れている。	読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。
---------------------	--

■ スキャンした文字や画像がぼやける。

<CaptureOnTouch でスキャン>

圧縮率が高い設定になっている。	JPEG、PDF の設定で、画質を優先する設定にしてください。
スキャンする解像度が低い。	【解像度】を上げてください。

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

画質の設定が低い。	【画質】を上げてください。(→ P.40、P.126)
スキャンする解像度が低い。	【解像度】を上げてください。(→ P.39、P.122)
モアレが発生している。	【解像度】の設定を変えることでモアレが改善することがあります。【解像度】を別の値に変更してください。(→ P.39、P.122)

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

スキャンする解像度が低い。	解像度を上げてください。
---------------	--------------

<その他のアプリケーションでスキャン>

ノイズ軽減機能が強い、またはエッジ強調機能がソフトになっている。	スキャナードライバーの設定画面で、【ノイズ軽減】のチェックを外すか、軽減レベルを弱くしてください。または【エッジ強調】を【シャープ】側にしてください。または【解像度】を上げてください。
----------------------------------	--

■ スキャンした画像に濃淡のムラが出る。

<CaptureOnTouch でスキャン>

ドット印刷（網点）がモアレ（網目状の陰影）になる。	→【モアレ（網目状の陰影）が現れる。】(P.161)
用紙や印刷のムラがスキャン画像に現れる。	詳細設定ダイアログボックスの【ノイズ軽減】を有効にするか、軽減レベルを上げてください。または、【背景スムージング】を有効にしてください。

< その他のアプリケーションでスキャン >

ドット印刷（網点）がモアレ（網目状の陰影）になる。	→ 「モアレ（網目状の陰影）が現れる。」 (P.161)
用紙や印刷のムラがスキャン画像に現れる。	スキャナードライバーの設定画面で、[ノイズ軽減] を有効にするか、軽減レベルを上げてください。または、[背景スムージング] を有効にしてください。

■ 原稿の裏面が写る。

< CaptureOnTouch でスキャン >

詳細設定ダイアログボックスで [裏写り / 地色除去] を有効にしてください。

または [明るさ] や [コントラスト] の設定を変更してください。

詳細設定ダイアログボックスの [カラーモード] で [アクティブスレッシュホールド] や [アドバンスドテキストエンハンスメント] (Windows のみ)、[アドバンスドテキストエンハンスメント II] が選択されていると、かすかな裏写りが強調される場合があります。そのような場合にはカラーモードを変更してください。

< Mopria 対応デバイスでスキャン >

アプリケーションのヘルプを参照してください。

< その他のアプリケーションでスキャン >

スキャナードライバーの設定画面で、[裏写り / 地色除去] を有効にしてください。または [明るさ] や [コントラスト] の設定を変更してください。

スキャナードライバーの設定画面の [カラーモード] で [アクティブスレッシュホールド] や [アドバンスドテキストエンハンスメント] (Windows のみ)、[アドバンスドテキストエンハンスメント II] が選択されていると、かすかな裏写りが強調される場合があります。その場合はカラーモードを変更してください。

■ モアレ（網目状の陰影）が現れる。

< CaptureOnTouch でスキャン >

詳細設定ダイアログボックスの [モアレ除去] で [高速モアレ除去] もしくは [高画質モアレ除去] を選択してください。

解像度の設定を変えることでもモアレが改善することがあります。解像度を別の値に変更してください。

< CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン >

別の方法でスキャンしてください。

< Mopria 対応デバイスでスキャン >

アプリケーションのヘルプを参照してください。

< その他のアプリケーションでスキャン >

スキャナードライバーの設定画面の [モアレ除去] で [高速モアレ除去] もしくは [高画質モアレ除去] を選択してください。

解像度の設定を変えることでもモアレが改善することがあります。解像度を別の値に変更してください。

■ 文字が正しく認識されない。

<CaptureOnTouch でスキャン>

原稿の文字が薄い、または背景と色が近い。	詳細設定ダイアログボックスの [カラーモード] で、[アクティブスレッシュホールド]、もしくは [アドバンスドテキストエンハンスメント] (Windows のみ)、[アドバンスドテキストエンハンスメント II] を選択してください。もしくは文字がくっきりするように、明るさやコントラストの設定を変更してください。
文字の近くに罫線がある。	詳細設定ダイアログボックスの [カラードロップアウト] の設定を変更し、罫線がドロップアウトするようにしてください。
文字の線が細い。	詳細設定ダイアログボックスの [文字 / 線の太さ補正] を太くする方に変更してください。
文字の線がぼやけている。	詳細設定ダイアログボックスの [ノイズ軽減] をオフにするか、軽減レベルを弱くしてください。または [エッジ強調] を [シャープ] 側にしてください。
文字が大きすぎる、または小さすぎる。	文字が大きすぎる場合は [解像度] を下げ、文字が小さすぎる場合は [解像度] を上げてください。

<CaptureOnTouch Lite Web でスキャン / 本体でジョブを選んでスキャン>

別の方法でスキャンしてください。

<Mopria 対応デバイスでスキャン>

アプリケーションのヘルプを参照してください。

<その他のアプリケーションでスキャン>

アプリケーションのヘルプを参照してください。

■ バーコードや二次元コードが正しく認識されない。

バーコードや二次元コードの印刷が薄い。	Windows Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで [バーコード検知用画像のコントラストを上げる] を有効にしてください。
スキャン画像の解像度が低い、もしくはバーコードや二次元コードの印刷が小さい。	Windows Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで [バーコード検知用画像を 300dpi 以上にする] を有効にしてください。

Web メニューのトラブル

■ Web メニューにアクセスできない。

スキャナーの IP アドレスが設定されていない。	IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。[IP アドレスを自動的に取得する] が有効の場合は、同一ネットワーク上に DHCP サーバーが存在するか確認してください。(→ P.93)
ウェブブラウザでローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない。	ローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを使用しないよう設定します。 Windows (1) [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システム ツール] - [コントロール パネル] をクリックします。 (2) [ネットワークとインターネット] をクリックします。 (3) [インターネット オプション] をクリックします。 (4) [接続] タブの [LAN の設定] をクリックします。 (5) [プロキシ サーバー] でローカルアドレスへの接続時にプロキシサーバーを使用しない設定にします。 Mac (1) アップルメニューで [システム環境設定] を選択します。 (2) [ネットワーク] をクリックします。 (3) [詳細] をクリックします。 (4) [プロキシ] をクリックします。 (5) [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。
スキャナーのタイムゾーンと時刻が正しく設定されていない。	スキャナーのタイムゾーンと時刻が正しく設定されていないと、通信が正常に行えなくなる場合があります。タイムゾーンと時刻が正しく設定されているか確認してください。(→ P.70、P.77)

■ https 通信で接続したときに「有効期限が切れている」と表示される。

SSL サーバー証明書の有効期限が切れている。	適切な有効期限の証明書をインストールしてください。(→ P.113) 証明書の有効期限内にメッセージが表示される場合は、スキャナーの時刻が正しく設定されているか確認してください。(→ P.77)
-------------------------	--

■ https 通信で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません」と表示される。

証明書とスキャナーの共通ネームが異なる。	<ul style="list-style-type: none">自己署名証明書の作成時や更新時、CSR の作成時に共通ネームで記述したスキャナーの IP アドレスWeb メニューの起動時にウェブブラウザに入力した IP アドレス が異なる場合に起こります。 自己署名証明書をお使いの場合は、証明書を更新し、インストールしてください。(→ P.113) CA 署名証明書をお使いの場合は、使用したいスキャナー用に証明書を取得し、インストールしてください。(→ P.113)
----------------------	--

■ https 通信で接続したときに「接続がプライベートではありません」と表示される。

適切な SSL サーバー証明書が無い状態で、Web メニューを表示しようとしている。	適切な SSL サーバー証明書がスキャナーにインストールされていない状態で https 通信を使用しようとすると、このような警告画面が表示されます。 一般ユーザーの方 管理者にお問い合わせください。 または、スキャナーのタッチパネルの QR コードから Web メニューを表示してください。(→ P.38) ただしこの場合は http 接続になります。 管理者の方 Web メニューに適切な SSL サーバー証明書がインストールされていません。 「SSL サーバー証明書をインストールする (Web メニューのみ)」(→ P.113) を参照してインストールしてください。
--	--

■ 管理者でログインできない。

管理者パスワードを忘れた。	工場出荷状態に戻す (→ P.84) と、管理者パスワードを工場出荷状態に戻すことができます。
---------------	---

よくある質問

ここでは、お問い合わせの多い質問と、その回答をご紹介します。

CaptureOnTouch の質問

CaptureOnTouch についての質問と回答をご紹介します。
詳細は CaptureOnTouch のヘルプを参照してください。

Q1. スキャン画像はどこに保存されますか？また、保存先を変更することはできますか？

A1. 3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で設定した出力先に保存されます。いずれについても任意のフォルダーに変更できます。

Q2. スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

A2. スキャンモードパネルの編集ボタンをクリックし、表示されるスキャンモード編集ダイアログでスキャン設定ができます。

Q3. 複数のページを1つのファイルに保存したり、複数のページを1ファイルずつ保存したりできますか？

A3. スキャン画像のファイル形式が BMP、JPEG、PNG の場合は、スキャン画像は常に1ページごとに1ファイルとなります。スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「[複数ページのスキャン画像を1つのファイルに保存できない。](#)」(→ P.157) も参照してください。

Q4. スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

A4. [環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブの [バックアップ / リストア] で設定内容をバックアップしたり復元したりできます。

Q5. スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？

A5. スキャン画像のファイル名は、3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] での設定に従います。この画面は出力先パネルの編集ボタンをクリックすると表示されます。この画面にある、[詳細設定] ボタンをクリックすると表示される次の3つの項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

[ファイル名の設定] ダイアログボックスの [ファイル名] には、ファイル名の設定の例が表示されます。

Q6. スキャンしたデータを印刷したい。

A6. 3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で [印刷する] を選択します。
本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

Q7. フォルダー以外に保存したい。

A7. CaptureOnTouch では、[フォルダーに保存する] 以外の保存先は、プラグインとして提供しています。
プラグインをインストールすることによって、スキャン画像を印刷したりメール添付したり、さまざまなクラウドサービスを利用して共有することができます。
プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。
インストールしているプラグインによって、選択できる出力先は異なります。

- Q8. スキャンしたデータをメールに添付させたい（またはメール送信したい）。**
- A8. 3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で [メールに添付する] を選択します。
本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

スキャナードライバーの質問

スキャナードライバーについての質問と回答をご紹介します。詳細はスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

- Q1. A4 (Letter) より大きい原稿をスキャンするにはどうすればよいですか？**
- A1. (1) 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。
(2) 原稿の中心に折り目をしっかりつけて 2 つに折ります。折った原稿の端がきれいに揃うように折ってください。
(3) 原稿を、折り目を右に向け、上端を下にしてスキャナーにセットします。
(4) スキャナードライバーの設定画面で、[用紙サイズ] は実際にスキャンする用紙サイズの半分のサイズに設定してください。[読み取り面] は [半折り] を選択してスキャンします。
- Q2. 原稿の両面を 1 枚の画像に結合して出力するにはどうすればよいですか？**
- A2. スキャナードライバーの設定画面で、[読み取り面] を [半折り] にしてスキャンします。結合の位置や方向を変えるには、[半折り] の設定を変更してください。
- Q3. 白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？**
- A3. スキャナードライバーの設定画面で、[読み取り面] を [白紙をスキップする] にしてスキャンします。

Q4. カードをスキャンするにはどうすればよいですか？

- A4. カードを横向きにしてスキャナーにセットします。カードにエンボスがある場合には、分離切替レバーを非分離に切り替えます。
スキャナードライバーの設定画面で、[用紙サイズ] をカードと同じサイズまたは [原稿のサイズに合わせる] にします。

Windows

スキャナードライバーの設定画面で、[エラー検知] タブの [超音波で検知] を無効にしてスキャンします。

Mac

スキャナードライバーの設定画面で、[重送を検知する] のチェックを外すか、検知方法を [長さで検知] に設定してスキャンします。

- Q5. サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？**
- A5. 排紙トレイに角度が付くように引き出してください。
スキャナードライバーの設定画面で、[用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] にしてスキャンします。
- Q6. 用紙サイズの一覧にない原稿をスキャンするにはどうすればよいですか？**
- A6. スキャナードライバーの設定画面で、[用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] にしてスキャンします。または、[用紙サイズ] にスキャンする原稿と同じサイズを登録してスキャンします。
- Q7. 名刺をスキャンするにはどうすればよいですか？**
- A7. 名刺を縦向きにしてスキャナーにセットします。
スキャナードライバーの設定画面で、[用紙サイズ] を名刺と同じサイズ、または [原稿のサイズに合わせる] にします。また名刺の印刷の向きに応じて、[画像回転] を設定してスキャンします。
- Q8. 写真と文書が混在している原稿をスキャンするにはどうすればよいですか？**
- A8. スキャナードライバーの設定画面の [ユーザー設定] (Windows) / [お気に入り設定] (macOS) で [写真入り文書] を選択するか、[原稿の種類] で [写真入り文書] を選択してスキャンします。

Q9. パスポートをスキャンするにはどうすればよいですか？

- A9. (1) 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。
(2) パスポートをキャリアシート（パスポート用）に入れ、キャリアシートの綴じしろを先端に、スキャンする面を裏にしてスキャナーにセットします。
(3) スキャナードライバーの設定画面の [ユーザー設定] (Windows) / [お気に入り設定] (macOS) で [パスポート] を選択するか、[原稿の種類] でパスポートを選択してスキャンします。

キャリアシートやパスポートの状態によっては、紙詰まりになったり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。その場合は以下の設定を行ってください。

- (1) スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] の設定を大きな用紙サイズ (A4 など) に指定してスキャンしてください。
(2) スキャナードライバーの設定画面で [解像度] を 300dpi 以下に設定してください。
(3) ローラー清掃を行ってください。

スキャナー本体の質問

Q1. 設定を初期化したい。

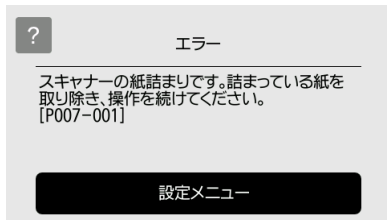
- A1. Web メニューの場合は、[管理者設定] - [システム管理] で [初期化] をクリックします。
スキャナーの設定メニューの場合は、[デバイス設定] - [初期化] で初期化します。
初期化では、ファームウェアのバージョンは工場出荷状態には戻りません。

Q2. 工場出荷時の設定に戻りたい。

- A2. 工場出荷状態に戻す (→ P.84) と、設定が初期化されるだけでなく、ファームウェアのバージョンも工場出荷状態に戻ります。

紙詰まりの処理

原稿をスキャン中に紙詰まりを検知すると、タッチパネルに以下のエラーコードを表示してスキャン処理を中断します。



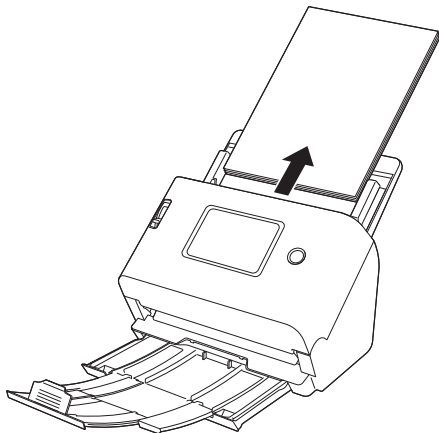
以下の手順に従って処理します。



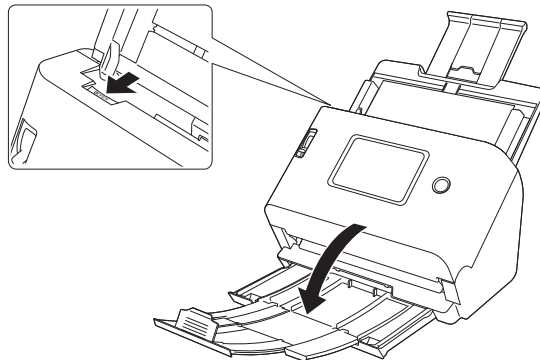
注意

詰まった紙を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

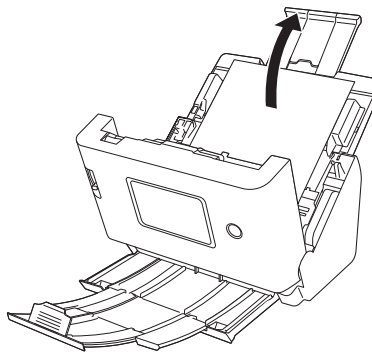
1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



2 OPEN レバーを引いて、前ユニットを手前に開きます。



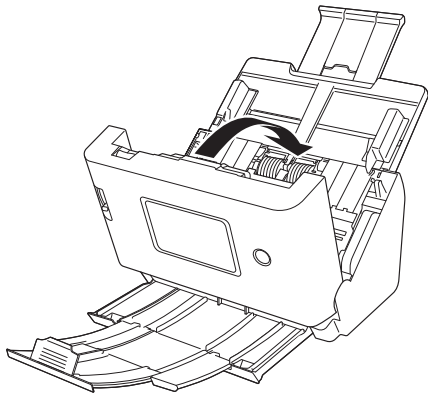
3 詰まった原稿を取り除きます。




重要

原稿は無理に引っ張らず、慎重に取り除いてください。万一、原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

-
- 4** 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

 **ヒント**

スキャナードライバーの設定画面で【継続モード】（または【継続モードを使用する】）にチェックを付けると、紙詰まりで停止した場合でも、原稿を取り除いたあと、搬送中に停止した原稿からスキャンを継続することができます。この場合、搬送中に停止した原稿の画像は保存されていないことがありますので、記録されている最後の原稿を確認してから継続してください。

エラーメッセージ

タッチパネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています。対処方法に合わせて処理を行ってください。

エラーメッセージ	現象	対処
スキャナーカバーが開いています。[COXX-XXX]	前ユニットが開いています。	前ユニットを閉じてください。
スキャナーの紙詰まりです。詰まっている紙を取り除き、操作を続けてください。[POXX-XXX]	スキャン時に紙が詰まりました。	前ユニットを開いて、詰まっている原稿を取り除いてください。原稿によっては紙詰まりが起りやすい場合があります。エラーを繰り返す場合は、スキャン設定をパスポートモードや非分離モードに変更してください。
原稿が重送しました。 原稿とスキャンした画像を確認してスキャンをやり直してください。[DOXX-XXX]	スキャン時に紙が重送しました。	前ユニットを開いて、重送した原稿を取り除いてください。スキャンした画像を確認し、スキャンをやり直してください。エラーを繰り返す場合は、原稿をさばいてください。
スキャナーはデバイスに接続されていません。 USBケーブルが正しく接続されていることを確認してください。	USB 接続されていない状態で、スキャンしようとしています。	本機とコンピューターが正しくUSB接続されていることを確認してください。解決しない場合は、「困ったときには」(→ P.143) も参照してください。
ネットワークに接続されていないため、本機能は利用できません。接続状況を確認してください。	ネットワークに接続されていない状態で、ネットワーク経由でスキャンしようとしています。	本機がネットワークに接続されていることを確認してください。解決しない場合は、「困ったときには」(→ P.143) も参照してください。
スキャナーがネットワークに接続されていないため、COT Lite Web を利用できません。ネットワーク設定を行ってください。	ネットワークに接続されていない状態で、CaptureOnTouch Lite Web 機能を使用しようとしています。	CaptureOnTouch Lite Web 機能を使用するためには、本機がネットワークに接続されている必要があります。ネットワークの設定を確認してください。
保存場所を確認できません。 パスが正しいか、またはユーザー名、パスワードに誤りがないかを確認してください。	スキャン画像の送信に失敗しました。	送信先やユーザー名、パスワードを正しく設定してください。
ファイル送信先の認証に失敗しました。送信先の設定を確認してください。	送信先の認証設定が間違っています。	送信先が正しいかどうかを確認してください。
ファイル送信先の容量が不足しています。送信先の設定を確認してください。	送信先の空き容量が不足しています。	送信先の容量を確認し、必要であれば送信先を変更してください。
COT Admin を利用するために、スキャナーをネットワークに接続してください。[1000]	ネットワークに接続されていない状態で、COT Admin を有効化しました。	COT Admin を使用するにはネットワーク接続が必要です。スキャナーが正しくネットワークに接続されていることを確認してください。 COT Admin を利用しない場合は COT Admin を無効にしてください。(→ P.117)

エラーメッセージ	現象	対処
COT Admin サーバーへの接続に失敗しました。管理者に問い合わせてください。[XXXX]	COT Admin サーバーへの接続に失敗しました。	COT Admin を利用する場合は COT Admin サーバーを設定する必要があります。COT Admin サーバーが正しく設定されているかどうかをシステム担当者に問い合わせてください。 COT Admin を利用しない場合は、COT Admin を無効にしてください。(→P.117)
スキャナーを良好な状態で使用するために、ローラーの交換を推奨します。交換後は、カウンターのリセットを必ず行ってください。	スキャンした枚数が、ローラー使用枚数を超過しました。	ローラーを交換してください。(→P.139, P.140)
スキャナー内部の時刻が正しくありません。このまま動作を続けるとネットワーク通信が行えなくなります。もう一度、時刻を設定してください。	スキャナーの内部時計がリセットされました。	約 2 日間、スキャナーの電源プラグをコンセントから抜いたままにすると、スキャナーの内部時計がリセットされます。再度、日付・時刻の設定を行ってください。 NTP 機能が有効な状態で本エラーが表示された場合は、スキャナーが NTP サーバーと正しく同期できていません。ネットワークの接続状況を確認してください。
証明書の有効期限外の時刻が設定されました。入力した値が間違っていたら設定をやり直してください。値が正しければ証明書の初期化を行ってください。	本機の時刻が、サーバー証明書の有効期限外に設定されています。	本機の時刻を正しく設定してください。 または、スキャナーに登録したサーバー証明書の有効期限を確認し、適切な有効期限の証明書に変更してください。証明書を変更するには、管理者パスワードが必要です。
ハードウェアの異常を検知しました。[EOXX-XXX]	スキャナーの内部エラーです。	電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示される場合には、エラーメッセージを控えてシステム担当者に連絡してください。
ハードウェアの異常を検知しました。[SOXX-XXX]	スキャナーの内部エラーです。	電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示される場合には、エラーメッセージを控えてシステム担当者に連絡してください。UI カスタマイズ SDK を利用している場合は、SDK の不具合の可能性もあります。SDK のソースを見直してください。
ネットワークへの接続に失敗しました。	Wi-Fi 設定時に、ネットワーク接続に失敗しました。	SSID とセキュリティキーが正しく設定されているかどうかを確認してください。何度も同じエラーが表示される場合は、接続方法を変更してください。
接続がタイムアウトしました。操作をやり直してください。	WPS (Wi-Fi Protected Setup) の設定時に、ルーターのボタンを押し忘れるなどして、タイムアウトしました。	もう一度、操作をやり直してください。

エラーメッセージ	現象	対処
WPS 実行中のアクセスポイントを2つ以上検出しました。しばらく経ってから、もう一度接続しなおしてください。	WPS の設定時に、同じ方法で Wi-Fi 設定を行おうとしている複数のルーターが検出されました。	しばらく待ってから、もう一度操作を行ってください。
接続先が指定されていません。Wi-Fi 設定を行ってください。	SSID が設定されていない状態で、スキャナーのネットワーク接続方法を有線 LAN 接続から Wi-Fi 接続に切り替えようとした。	パネルの表示に従って Wi-Fi 設定を行ってください。
802.1x 認証が有効のため、本機能は利用できません。別の設定方式を選択してください。	802.1x 認証が有効の状態で、Wi-Fi 設定の [WPS を使う] または [Wireless Connection Tool を使う] を行おうとした。	802.1x 認証が有効の場合、Wi-Fi 設定は [一覧から選択] または [手動設定] で行ってください。 (→ P.103)
すべての接続方法を無効化することはできません。	[機能制限] 画面にて、接続方法の制限を行った際、[USB] [有線 LAN] [Wi-Fi] すべての接続方法をオフにする設定が行われました。	すべての接続方法をオフにすることはできないため、機能制限を行う接続方法をもう一度見直してください。(→ P.86)
前回接続した Wi-Fi アクセスポイントとの通信で問題が発生しました。Wi-Fi を使用するには、再起動が必要です。	直前まで接続していたアクセスポイントに接続できなくなりました。	スキャナーを再起動してください。接続したいアクセスポイントとの通信をリトライすることができます。 状況が改善しない場合は、アクセスポイントが正しく動作していない可能性があります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。

ソフトウェアをアンインストールする

スキャナーが正常に動作しないようなときは、ソフトウェアを再インストールすることにより解決することがあります。ソフトウェアを再インストールするときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてから再インストールを行ってください。

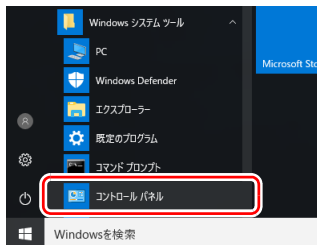
本項では ISIS/TWAIN ドライバーの手順を例に説明します。それぞれの手順に置き換えてお読みください。

Windows

重要

ソフトウェアをアンインストールするときは、必ず Administrator 権限のアカウントで Windows にログインしてください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システム ツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

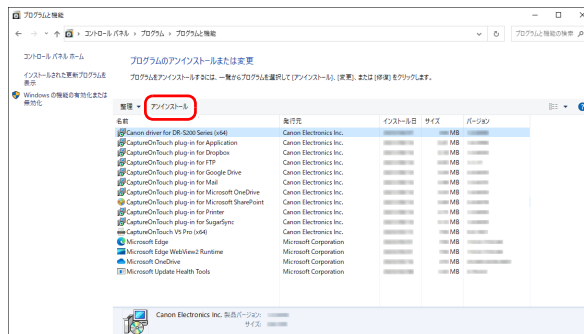


コントロールパネルが表示されます。

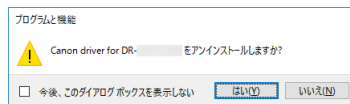
- 2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。



- 3 プログラムの一覧から削除するアプリケーションを選択し、[アンインストール] をクリックします。



ファイル削除の確認画面が表示されます。



4 [はい] ボタンをクリックしてアンインストールを実行します。

Mac

macOS 用ドライバーには、アンインストーラーはありません。アンインストールするには、下記のファイルを Finder などで削除してください。
/Library/Image Capture/TWAIN Data Sources/DRS350NW

保証とアフターサービス

■ 保証登録について

保証登録サイト(<https://canon.jp/support/support-info/biz-product/user-resigt>)にて保証登録ができます。保証登録をしておくと、以下のようなサービス(情報)をお受け取りにすることができます。

- お買い上げ日から1年間の無償保証および「保証書」電子発行(ウェブサイト上での閲覧および印刷)

* 消耗品(フィードローラー、リタードローラー、分離パッドなど)については、保証期間内であっても保証の対象とはなりません。

- 登録機器の「機器情報」の確認、および保証期間の確認

- キヤノンサービスバック(キヤノン製品パッケージ型保守サービス。以下、CSP)をご購入のお客さまの「お客さま登録」および更新
ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客さまがご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。

保証登録の際は、本製品に付属されている「保証登録のお願い」の内容を併せてご確認ください。

※ 保証登録のお願いページ URL

<<https://canon.jp/support/support-info/biz-product/user-resigt>>

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記の修理受付窓口へご相談ください。

■ 修理を依頼される前に

『ユーザーマニュアル』(本書)の「トラブルシューティング」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容(できるだけ詳しく)

■ 本製品を修理のために送付するときのお願い

本製品の修理を依頼するときは、下記の修理受付窓口にご連絡の上、引取修理を依頼するか、持参もしくは送付修理品受付センターに送付いただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかり固定していただくようお願いいたします。

■ 補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理依頼

■ 引取修理

修理をご依頼いただく際は、引取修理サービス(らくらく修理便)をお申込みください。本製品の引取時に、本保証書を本製品とともに同梱してください。なお、無償保証期間中であっても引取修理サービスご利用料金はお客様のご負担となります。ご利用料金には「往復の配送料金」「梱包用資材費」「梱包手数料」が含まれます。

上記対応が困難な場合であって、保証期間内に表記の販売店または弊社に本製品を持参または送付いただく場合は、本製品の引取時に、保証書を提出してください。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、諸事情により訪問修理をご希望される場合は、別途訪問料金を申し受けます。

<お客様相談センター>

0570-08-0072

■ 持込修理窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。

* 修理のお問い合わせ・お申し込みについては下記 QR コードからもご確認いただけます。



お願い: 本機のお取り扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

• サービスセンター銀座

東京都中央区銀座3-9-7 トレランス銀座ビルディング 2F
03-3542-1815

-
- サービスセンター大阪
大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 1F
06-7739-2300

■ 送付修理窓口

以下の修理品受付センターでは、郵送・宅配による修理品のお取扱いを致しております。

郵送または宅配の際には、必要項目をご記入いただいた『修理依頼書』または、『修理依頼書』の必須項目と同じ内容をご記入いただいたメモを修理品依頼品に添付いただき、無償保証期間内の場合は、保証書を同封してください。配達記録の残る書留か小包（ゆうパック）、または宅配でお送りいただくことをお勧めします。

- 関東 送付修理品受付センター
〒300-4102 茨城県土浦市本郷 20-29
TEL 043-211-9582
- 近畿 送付修理品受付センター
〒572-0075 大阪府寝屋川葛原 1-32-16
TEL 072-626-1313

2023年3月24日 上記の内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

■ お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記窓口にご相談ください。

お客様相談センター  **0570-08-0072**
全国共通電話番号

受付時間：＜平日＞ 9:00～17:00
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

- ・携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承願います。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4531 におかけください。
- ・お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<https://canon.jp/support/contact>) をご参照ください。

■ 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン(株)販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

■ キャノンホームページ <https://canon.jp>

- ・ <https://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバーのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ・ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ・ 通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナーをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナーの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キャノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキャノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キャノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キャノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キャノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キャノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)

■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキャノンの保守契約制度です。

キャノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

- ・ 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。
- ・ 消耗品およびキャノン指定の部品は対象外となります。

■ 購入時契約のおすすめ

ご愛用品を安心してお使いいただく為に、保守契約に加入をお勧めいたします。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キャノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキャノンマーケティングジャパン(株)までお願いします。

仕様

本体

形式	卓上型シートスルースキャナー
読み取り原稿サイズ	
普通紙	
サイズ	幅 : 50.8 ~ 216mm (2" ~ 8.5") 長さ : 54 ~ 356mm (2.1" ~ 14") (長尺モード時は最大 5,588mm (220"))
紙厚	分離給紙 : 27 ~ 209g/m ² (0.04 ~ 0.25mm) 非分離給紙 : 27 ~ 255g/m ² (0.04 ~ 0.3mm)
最大積載枚数	A4 サイズ以下の原稿 : 60 枚 (80g/m ²) A4 サイズを超える原稿 : 40 枚 (80g/m ²) 上記どちらの場合も高さ 6mm を超えないこと
名刺	
サイズ	幅 : 50 ~ 55mm (2" ~ 2.2") 長さ : 85 ~ 91mm (3.3" ~ 3.6")
紙厚	128 ~ 255g/m ² (0.15 ~ 0.3mm)
挿入方向	縦送りのみ
カード	
サイズ	86mm (3.37") × 54mm (2.12") (ISO/JIS 規格準拠)
カード厚	1.4mm (0.055") 以下
挿入方向	横送りのみ
エンボス付き	可能
最大積載枚数	3 枚 (エンボスなし)、1 枚 (エンボス付き)
パスポート	
サイズ	88mm (3.464") × 125mm (4.921") (ISO 規格準拠) スキャン時はパスポートを開き、別売りのキャリアシート (パスポート用) に入れて搬送のこと
紙厚	4mm (0.157") 以下 (キャリアシート込み)
読み取りセンサー	CIS
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	白黒、誤差拡散、グレースケール、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメント II、アクティブスレッシュホールド、カラー
光学解像度	最大 600dpi
出力解像度	100dpi/150dpi/200dpi/240dpi/300dpi/400dpi/ 600dpi/1200dpi

読み取り速度

(条件 : CPU Core i7 3.0GHz、実装メモリー 16GB、原稿サイズ A4)

グレースケール	片面	200dpi	50 枚 / 分
		300dpi	50 枚 / 分
		両面	200dpi 100 面 / 分 300dpi 100 面 / 分
カラー	片面	200dpi	50 枚 / 分
		300dpi	40 枚 / 分
	両面	200dpi	100 面 / 分
		300dpi	80 面 / 分
インターフェイス	USB 3.2 Gen1x1/USB2.0 IEEE802.11a/b/g/n/ac、10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T		
その他の機能	半折りスキャン、重送検知無視機能		
外形寸法	幅 291 (11.5") × 奥行 267 (10.5") × 高さ 242 (9.5")mm (給紙トレイを取り付け、排紙トレイを収納した状態) 幅 291 (11.5") × 奥行 600 (23.7") × 高さ 378 (14.9") mm (給紙トレイを取り付け、排紙トレイを引き出した状態)		
質量 (AC アダプターを除く)	約 3.4kg		
電源 (AC アダプター使用)	DC24V 0.9A		
消費電力	動作時 : 23W 以下		
	スリープモード : 1.8W		
使用環境	電源 OFF 時 : 0.1W 以下		
	温度 : 10 °C ~ 35 °C		
	湿度 : 20% (RH) ~ 80% (RH)		

AC アダプター (100 ~ 240V 型)

型番	6G3-0267 (24V)
入力	AC100 ~ 240V 50/60Hz 1.06 ~ 0.6A
出力	DC24V 2.0A
質量	約 0.3kg

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

交換部品

交換ローラーキット（商品コード：5595C001）

搬送ローラー（給紙ローラー、分離ローラー）の交換キットです。

- 交換方法については、「[消耗品の交換](#)」（→P.137）を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オプション

キャリアシート（パスポート用）（商品コード：0697C002）

パスポートのスキャン時に使用するキャリアシートです。

キャリアシート（A4）（商品コード：0697C001）

キャリアシート（LEGAL）（商品コード：0697C005）

フラットベッドスキャナーユニット 102（商品コード：2152Cxxx）

フラットベッドスキャナーユニット 202（商品コード：5031Cxxx）

DR スキャナーと組み合わせて使用するフラットベッドスキャナーユニットです。コンピューターに本機とフラットベッドスキャナーユニットを接続することで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

フラットベッドスキャナーユニットについて

Windows

本機は、オプションのフラットベッドスキャナーユニットと組み合わせて使用できます。

動作環境

フラットベッドスキャナーユニットの必要システム要件に準じます。

使用にあたり、フラットベッドスキャナーユニットのスキャナードライバーのインストールが必要です。

CaptureOnTouch での使用について

スタートボタンへの割り当て機能について

フラットベッドスキャナーユニットを接続しているときは、CaptureOnTouch の「お気に入りスキャン」を、フラットベッドスキャナーユニットのスタートボタンに割り当てることができます。

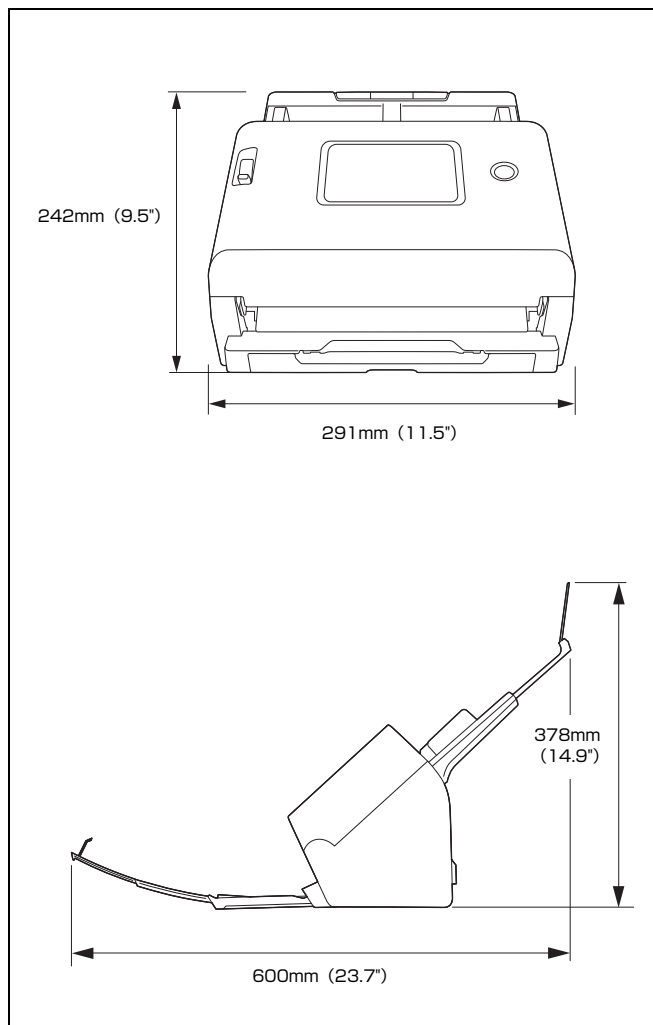
スタートボタンによる再起動の制限

CaptureOnTouch の常駐を無効に設定した場合、CaptureOnTouch を終了した状態でフラットベッドスキャナーユニットのスタートボタンを押して CaptureOnTouch を再起動することはできません。

スキャナードライバーの設定に関する留意事項

本機の機能がフラットベッドスキャナーユニットの設定ダイアログボックスで選択できないときは、ダイアログボックス上の「オプション」をクリックして本機のスキャナードライバーを開き、使用する機能を設定してください。

外形寸法図



規制について

■ 国際エネルギースタープログラムについて



このプログラムは日本向けのものです。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



007-AH026

本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができます。

本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましても、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- 紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便切手、印紙、その他の金券
- 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- 公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書

- 権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Microsoft Edge および Microsoft Teams は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Mac、macOS および Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Slack は、Slack Technologies, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Chrome、Chrome OS、および Android は、Google LLC の登録商標または商標です。
- Mopria® は、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標かつサービスマークです。許可無く使用することは固く禁じられております。
- Firefox は、Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ISIS は、Open Text の米国における商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび Wi-Fi Protected Setup ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2 と Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の商標です。
- 設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setup を意味しています。
- iDRS™ SDK 15 Windows 32 - 64 bit technology by Image Recognition Integrated Systems S.A.
Copyright 1987 - 2019, I.R.I.S. S.A. All rights reserved.
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

索引

あ		
アンインストール	173
お		
お手入れ	135
か		
カード		
セットのしかた	30
カウンター	74
紙詰まり	168
き		
キャリアシート	33, 179
給紙ローラー	137, 139
け		
原稿	26
カード	30
セットのしかた	28
半折り	32
し		
重送検知	60
ジョブ		
スキャナー本体	55
有線 LAN 接続されたコンピューター	54
USB 接続されたコンピューター	53, 54
Wi-Fi 接続されたコンピューター	54
せ		
設定メニュー	62
一覧	67
た		
タッチパネル	21
ち		
長尺モード	60
て		
電源	24
と		
動作環境	7
は		
パスポート	34, 179
半折り	32
ひ		
非分離給紙	30
ふ		
フラットベッドスキャナーユニット	179
フラットベッドスキャナーユニット 102	179
フラットベッドスキャナーユニット 202	179
分離ローラー	137, 140
ま		
前ユニット	138
よ		
読み取りガラス	136
清掃	135
ろ		
ローラー	136
交換	137
清掃	135
C		
Canon imageFORMULA ドライバー設定ツール	141
CaptureOnTouch		
3ステップスキャン	45
お気に入りスキャン	47
起動	42
再起動	43
終了	42
CaptureOnTouch Lite Web		
スキャンする	39
COT Admin	117
M		
Mopria	59
W		
Web メニュー	38, 62
一覧	66
ジョブの登録	121
Wi-Fi 設定	103

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER